

大阪府体育連合の あゆみ



創立 70 周年記念誌

■大阪府体育連合創立 70 周年記念式典



府旗、国旗、連合旗



受付風景



会長あいさつ



感謝状贈呈（知事感謝状）



受賞者代表謝辞



優勝旗寄贈

■第70回大阪府総合体育大会総合開会式



女子総合・男女総合・男子総合優勝旗



開会宣言（中村委員長）



優勝旗返還



選手宣誓



抽選会風景



抽選会風景

■第 69 回大阪府総合体育大会総合開会式



府旗、国旗、連合旗



受付風景



国歌斉唱



開会宣言 西野大会実行委員長



田中会長あいさつ



功労者表彰

■第 69 回大阪府総合体育大会総合開会式



代表者授与



優秀指導者表彰



選手宣誓



抽選会風景

■第 69 回大阪府総合体育大会総合閉会式



男女総合の部 表彰式



大会優勝旗

■第 69 回大阪府総合体育大会中央大会



バレーボール一般男子試合風景



バレーボール一般男子閉会式



バレーボール一般女子開会式



バレーボール一般女子試合風景



硬式野球 2 部試合風景



ソフトボール女子 2 部表彰式



ソフトボール男子 2 部試合風景



テニス開会式

■第 69 回大阪府総合体育大会中央大会



バドミントン表彰式



サッカー表彰式



剣道試合風景



弓道開会式

■第 66 回大阪府市町村対抗駅伝競走大会（服部緑地陸上競技場）



選手宣誓



スタート風景



レース風景



表彰式

ごあいさつ

大阪府体育連合 会長

田 中 誠 太



大阪府体育連合が昭和 22 年 5 月に結成されて以来、今年で 70 周年を迎えることができますことは、この上ない喜びでございます。

この間、決して平坦な道のりではありませんでしたが、今日のような確固たる組織にまで発展できたのは府及び市町村の行政担当の皆様方、並びに役員各位の御理解・御協力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、スポーツが、健康に保持増進するために、生活の中で極めて重要な役割を果たしていることは、言うまでもありません。生涯にわたり豊かなスポーツライフを継続するために、当連合としましては、市町村体育団体との連絡協調を図りながら、府民スポーツの普及・振興に今後も寄与し続けていきたい所存です。

まだまだ課題が山積みとなっておりますが、この 70 周年を機に私たちに課せられた任務を再点検しながら、今後の活動のより一層の活性化をめざし、心を新たに臨んでまいります。

どうか皆様には、大阪府総合体育大会や大阪府市町村対抗駅伝競走大会の運営を通じて地域活動に参画いただき、人々が共感、ふれあう機会を作り出す等、地域の活性化・再生にご尽力いただきますようお願いいたしております。

おわりに、本連合創立 70 周年記念事業に尽力された関係の皆様には深く敬意を表しますとともに、皆様の今後のますますのご活躍を祈念いたしましてごあいさつとさせていただきます。

祝 辞

大 阪 府 知 事

松 井 一 郎



大阪府体育連合創立 70 周年、誠におめでとうございます。

貴連合におかれましては、昭和 22 年 5 月に郡市体育連合として発足されて以来、今日まで 70 年もの長きにわたり、大阪府総合体育大会や大阪府市町村対抗駅伝大会を開催され、各市町村相互の親睦と府民の生涯スポーツの振興に大きく貢献してこられました。

これもひとえに、創立以来、歴代の会長をはじめとして関係の皆様が熱意あふれる献身的な御尽力のお蔭であり、ここに改めまして、深く敬意と感謝の意を表する次第でございます。

スポーツの果たす役割は、非常に大きいものがあります。幅広い年齢層の人々の健康・体力づくりに役に立つことは言うに及ばず、青少年の健全育成や高齢者にとっての生きがいづくりとなり、地域の活性化にもつながります。

大阪府といたしましては、大阪府スポーツ推進計画を策定し、大阪スポーツ王国の創造を目標に、だれもが「する」「みる」「ささえる」スポーツに参加でき、スポーツを通じて健康で明るく活力に満ちた大阪となるよう、都市魅力の創造と発信に努めているところで

す。

貴連合の皆様におかれましては、今後とも引き続き、スポーツを通じた活力ある健全な社会の形成に御貢献いただきますようお願い申し上げます。

結びに、貴連合が、連合創立 70 周年を契機として更なる飛躍を図られますよう期待するとともに、次なる 80 周年、90 周年への大きなステップとなりますことを心より祈念いたしましてお祝いのことばといたします。

祝 辞

大阪府議会議長

今 井 豊



大阪府体育連合創立 70 周年、誠におめでとうございます。

大阪府議会を代表いたしまして、心よりお祝い申し上げます。

貴連合は、昭和 22 年 5 月、大阪都市体育連合として創立以来、70 年の長きにわたり、府内各市町村の体育団体との緊密な連携のもと、総合体育大会や駅伝競走大会の開催をはじめ、様々な活動を通じて、市町村相互の親睦と府民スポーツの振興に多大な貢献を果たしてこられました。

これもひとえに、歴代の会長をはじめ、関係の皆様方の献身的な活動の賜物であり、あらためて敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げる次第です。

近年、ライフスタイルの多様化や少子高齢化、都市化や高度情報化の進展などを背景として、スポーツを取り巻く環境は変化を続けておりますが、スポーツの振興が果たす役割は、府民の心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進に寄与するだけでなく、地域社会の再生、地域経済の活性化など、多面にわたり重要であります。

2019 年のラグビーワールドカップ、2020 年の東京オリンピック競技大会並びにパラリンピック競技大会、2021 年のワールドマスターズゲームズなど、国際レベルのスポーツイベントの日本開催が決定し、これを機として、府民のスポーツに寄せる関心は、ますます高まるでしょう。

貴連合におかれましては、今後とも引き続き、競技者の育成はもとより、年齢、性別、障がいの有無に関係なく、誰もが、それぞれのライフステージでスポーツに親しんでいただけの環境づくりに、ご尽力いただきますようお願い申し上げます。

私ども大阪府議会といたしましても、府民スポーツの振興に全力で取り組んでまいり所存でございますので、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴連合の今後益々のご発展と、関係の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

大阪府教育委員会教育長

向 井 正 博



大阪府体育連合が、このたび、創立 70 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴連合は、昭和 22 年 5 月、大阪郡市体育連合の名称で、府内の郡市を統括する唯一のスポーツ団体として誕生され、現在に至るまで、たゆみなく、着実に歩み続けてこられました。

今日では、府内 42 市町村の体育団体をまとめ、大阪府総合体育大会をはじめ大阪府市町村対抗駅伝大会を開催する本府スポーツ界の中核的組織にまで発展されました。このたび、記念すべき創立 70 周年を迎えられますことは誠に意義深く、歴代の会長をはじめとする役員の皆様や、各市町村関係各位の並々ならぬ御努力に深く敬意を表する次第です。

近年、子どもの体力の低下や少子化、高齢社会の到来等、スポーツを取り巻く環境は大きく変化をしております。大阪府教育委員会といたしましては、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを送れる資質や能力の育成をめざして、子どもたちが楽しく運動する機会を増やす取組みを進めているところでございます。

今後も学校と地域社会全体が連携・協働し、地域のスポーツ活動により、子どもたちが積極的にスポーツに参加できる環境が整いますよう努めてまいりますので、貴連合におかれましても、今後とも府民のスポーツ振興に一層の御尽力を賜りますことをお願い申し上げます。

結びに、70 周年を機とした貴連合の更なる飛躍と、関係の皆様のみずみずの御健勝と御活躍をお祈りし、お祝いのことばといたします。



目 次

あ い さ つ	大阪府体育連合会長	田中 誠太	1
祝 辞	大阪府知事	松井 一郎	2
	大阪府議会議長	今井 豊	3
	大阪府教育委員会教育長	向井 正博	4
70年のあゆみ			6
加盟団体概要			21
歴 代 役 員			64
被表彰者一覧			65
大阪府総合体育大会優勝市町村一覧			87
駅伝大会の歴史・成績			95
青年大会の歴史・成績			106
大阪府体育連合規約			107
表 彰 要 領			110
大阪府総合体育大会実行委員会規約			111
大阪府総合体育大会実施要項			113

70年のあゆみ

昭和 21 年 ▶ 第 1 回国民体育大会が京阪神で開催される（11 月～11 月 3 日）

昭和 22 年 /第 1 回国民体育大会の開催後、大阪府教育委員会保健体育課長 岩野次郎氏の提唱で、
泉北、泉南地区を中心に、大阪郡市体育連合の結成準備

5 月/大阪郡市体育連合創立 初代会長に毛利一郎氏（岸和田市長）が就任

役員は、会長 1 名 副会長 2 名 理事長 1 名 副理事長 1 名 理事若干名 監事 2 名
幹事若干名で構成し、加盟金を 1 団体（1 郡市）当たり 1,000 円と決定

8 月/第 1 回大阪郡市対抗体育大会（以下「郡市大会」）の開催（於：南海・中モズ競技場）

【陸上競技（男・女）、すもう、軟式野球及びソフトボール（女子）の 4 種目（5 種別）】

▲第 2 回国民体育大会が金沢市を中心に、また復活した全日本選手権大会が八幡市で開催
されるなど、競技会の地方開催が始まる

昭和 23 年 8 月/第 2 回郡市大会の開催

▶ 第 14 回オリンピック大会がロンドンで開催される（参加 59 か国）

▶ “フジヤマのとびうお” 古橋広之進、400、800、1500m 自由形で世界記録を樹立する

昭和 24 年 8 月/第 3 回郡市大会の開催

▶ 陸上競技で、スターティングブロックがはじめて使用される

昭和 25 年 /第 4 回郡市大会の開催

【柔道、バレーボール（男子）、軟式庭球（男・女）卓球（男・女）を加え、
8 種目（11 種別）】

▶ 巨人の藤本英雄、プロ野球初の完全試合を記録（青森）

昭和 26 年 3 月/第 1 回大阪府下郡市青年駅伝競技大会（以下「郡市駅伝」）の開催

【泉佐野市～大和川大橋間】

8 月/第 5 回郡市大会の開催

大阪市が初参加 総合優勝を独占したが、翌年から不参加

▶ 第 1 回アジア大会がニューデリーで開催される ▶ 日本のオリンピック正式復帰決定

昭和 27 年 1 月/第 2 回郡市駅伝の開催

9 月/第 6 回郡市大会の開催 [バレーボールに女子の部を加え、8 種目（12 種別）]

▶ 第 15 回オリンピック大会がヘルシンキで開催され、戦後初出場した日本がレスリング
で、石井庄八が金メダルを獲得 ▶ 東京青山にボウリング場が開場される

昭和 28 年 2 月/第 3 回郡市駅伝の開催

4 月/第 2 代会長に、久野晴雄氏（堺体協会長）が就任

8 月/第 7 回郡市大会の開催

▶ ヒラリーとテンシンがエベレスト山頂を征服

昭和 29 年 2 月/第 4 回郡市駅伝の開催

9 月/第 8 回郡市大会の開催

降雨のため、軟式野球、ソフトボール、バレーボール及び軟式庭球は中止

この年から、全国青年大会大阪府代表選手選考会を兼ねた大阪府青年大会を併催

(昭和 29 年度～47 年度) 陸上競技 (男・女)、卓球 (男・女)、バレーボール (男・女) 及びすもうの 4 種目 (7 種別) を実施

▶ 日本で初の世界選手権、世界スピードスケート選手権大会が札幌で開催される

▶ 力道山がシャープ兄弟に挑戦 空手チョップが人気になる

昭和 30 年 2 月/第 5 回郡市駅伝の開催

9 月/第 9 回郡市大会の開催

▶ 人間ノーチラス、平泳の古川勝が、世界新 8 と活躍

昭和 31 年 2 月/第 6 回郡市駅伝の開催

9 月/第 10 回郡市大会の開催

▶ 第 16 回オリンピックがメルボルンで開催 レスリング 体操 水泳に 4 個の金

▶ 第 7 回冬季オリンピックで、スキーマの猪谷千春が日本人初のメダル獲得 (銀)

昭和 32 年 2 月/第 7 回郡市駅伝の開催

8 月/第 11 回郡市大会の開催 [剣道を加え、9 種目 (13 種別)]

▶ 第 3 回ノンプロ野球に熊谷組優勝 (於デトロイト)

昭和 33 年 2 月/第 8 回郡市駅伝の開催

8 月/第 12 回郡市大会の開催

▶ オールブラックス来日 9 戦全勝

▶ 東京で初の I O C 総会が開催される ▶ 初代若乃花横綱昇進、大相撲年 6 場所制となる

昭和 34 年 2 月/第 9 回郡市駅伝の開催

9 月/第 13 回郡市大会の開催

▶ 第 25 回世界卓球選手権で日本チームが 6 種目に優勝

昭和 35 年 2 月/第 10 回郡市大会の開催

5 月/規約一部改正 (理事の選出を 7 地区から各 1 名、学識経験者から 3 名以内とする

また、加盟金を 1 団体 (1 郡市) 当たり 4,000 円 (30 都市) に改める

昭和 35 年度予算 収入 150,000 円、支出 (大会費) 92,000 円

9 月/第 14 回郡市大会の開催

▶ 第 17 回オリンピックがローマで開催され、日本男子体操チームが金メダルを獲得 また、マラソンで、エチオピア アベベ裸足の優勝

70年のあゆみ

昭和 36 年 2 月/第 11 回都市駅伝の開催

9 月/第 15 回都市大会（中止：第 2 室戸台風のため）

竣工した服部緑地陸上競技場で開催予定であった。なお、青年大会は 10 月 1 日に実施

- ▶ 日紡貝塚女子バレーボールチームがヨーロッパ遠征で 22 連勝し、以来「東洋の魔女」とよばれる
 - ▶ マラソンのアベベ・ビキラが来日し、毎日マラソンで優勝
 - ▶ 「スポーツ振興法」が制定される
-

昭和 37 年 2 月/第 12 回郡市駅伝の開催

4 月/第 3 代会長に 岡本義雄氏（貝塚市長）が就任

規約一部改正（加盟金を、1 団体(郡市)当たり 6,000 円に改める）

昭和 37 年度予算収入 192,000 円（32 郡市） 支出（大会費） 160,000 円

9 月/第 16 回郡市大会の開催[於 服部緑地競技場他]

（このころから参加チームが増加し、会場・日程等運営が困難になりはじめる）

- ▶ モスクワで開催された世界バレーボール大会で、日本女子チームが 7 戦全勝で優勝
 - ▶ 国鉄スワローズ・金田正一投手、奪三振 3,514 の世界新記録達成
-

昭和 38 年 2 月/第 13 回郡市駅伝の開催

9 月/第 17 回郡市大会の開催

- ▶ 軽井沢で世界スピードスケート選手権大会が開催される
-

昭和 39 年 2 月/第 14 回郡市駅伝の開催

8 月/第 18 回郡市大会の開催[水泳をオープン競技として加え、9 種目（13 種別）1 オープン]

- ▶ 飯島秀雄が陸上 100m で 10 秒 1 を記録し、29 年ぶりに日本記録を更新する
 - ▶ 第 18 回オリンピックが東京で開催され、女子バレーボールをはじめ、金 16、銀 5、銅 8 の大活躍
-

昭和 40 年 2 月/第 15 回郡市駅伝の開催

9 月/第 19 回郡市大会の開催

- ▶ サッカーに日本リーグが結成される
-

昭和 41 年 2 月/第 16 回郡市駅伝の開催

4 月/功労者表彰要項の制定

規約一部改正（加盟団体を各郡市単位に総轄された体育総合団体に改める 副会長若干名とし、副理事長職を廃止 また、理事を加盟団体から 10 名選出することに改める）

昭和 41 年度収入予算 251,077 円（うち加盟金 192,000 円、大阪体育連盟からの強化費 40,000 円）

7 月/郡市大会実行委員会運営要項を制定

大会予算 収入 680,000 円（府分担金 500,000 円、体育連合分担金 180,000 円）

支出 郡市大会費 580,000 円、駅伝大会費 180,000 円

▶はスポーツ界トピックス

昭和 41 年 8 月/第 20 回記念都市大会の開催[水泳（男・女）を加え 10 種目（15 種目別）]

開会式で 7 氏に表彰状、20 氏に感謝状を贈呈

- ▶ 世界ウェイトリフティング選手権大会で、三宅義信が 5 連勝を達成する
- ▶ 「東洋の魔女」日紡貝塚の連勝記録、258 でストップ（8/6 対ヤシカ戦）

昭和 42 年 2 月/第 17 回郡市駅伝の開催[これまでの一般公道から、長居陸上競技場ランプウェイ及び周回コースの 24.1 K で実施]

2 月/東大阪市が誕生（布施、牧岡及び河内 3 市合併） 4 月から加盟

5 月/規約一部改正（加盟団体の負担金の額を、評議員会の議を経て、別に定めることに改める 負担金を郡・市の規模により定める）

10,000 円 4 団体、9,000 円の 9 団体、8,000 円 9 団体、7,000 円 11 団体、計 33 団体 270,000 円

9 月/第 21 回郡市大会の開催（バドミントン（男・女）をオープン競技として加え、10 種目（15 種別）1 オープン）

- ▶ ユニバーシアード大会が東京で開催される（参加 34 か国）

昭和 43 年 2 月/第 18 回郡市駅伝の開催

9 月/第 22 回郡市大会の開催 [バドミントン（男・女）を加え、また、バスケットボール（男・女）をオープン競技として加え、11 種目（17 種別）1 オープン]

大会予算 郡市大会 650,000 円、駅伝大会 100,000 円

- ▶ 第 19 回オリンピックがメキシコで開催される 日本は 11 種目で金メダルを獲得
- ▶ アメリカのビーモンが、走巾跳で 8 m90 の大記録を樹立

昭和 44 年 2 月/第 19 回郡市駅伝の開催

8 月/第 23 回郡市大会の開催[サッカーをオープン競技として加え、

また水泳（男・女）をオープン競技に移行し、10 種目（15 種別）3 オープン]

※軟式野球、ソフトボール・バレーボールは、降雨のため中止

- ▶ 鈴木恵一、世界スピードスケート 500m で 3 連勝
- ▶ 柔道の篠卷正利 世界選手権大会（メキシコ）で、ルスカを破り 8 年ぶりにオランダから無差別級のタイトルを奪回する
- ▶ 大阪体育連盟改称し財団法人大阪体育協会に、その設立資金とし、1 団体 1,200 円（32 団体）を特別負担する（5 月）

昭和 45 年 2 月/第 20 回郡市駅伝の開催

4 月/第 4 代会長に、山村富造氏（枚方市長）が就任

（会長、副会長及び理事長を、3 ブロックで選出 また、理事選出を 7 地区から各 1 名、大規模市（堺市、東大阪市及び豊中市）から各 1 名とする旨申し合わせ）

加盟団体負担金総額を 489,000 円に改め、うち 30% を均等割、70% を人口割として算定する

70年のあゆみ

昭和 45 年 8 月/第 24 回郡市大会の開催（バスケットボール（男・女）及びサッカー（男）を加え、またすもうをオープン競技に移行し、11 種目（17 種別）2 オープン）

この大会から軟式野球で地区予選会を実施し、7 地区代表チームによる開催とする
また、開会式の基準を策定

- ▶ 国際剣道連盟が発足し、第 1 回世界剣道選手権を日本武道館で開催 日本が台湾を 4 勝 1 分けて破り優勝

昭和 46 年 2 月/第 21 回郡市駅伝の開催

8 月/第 25 回郡市大会の開催

- ▶ デ杯東洋ゾーンで、日本 50 年ぶりにオーストラリアを破る
- ▶ 大相撲、横綱大鵬引退（通算 32 回優勝）

昭和 47 年 2 月/第 22 回郡市駅伝の開催

4 月/第 5 代会長に中沢米太郎氏（岸和田市長）が就任

この年から、副会長を 3 ブロックから選出

8 月/第 26 回郡市大会の開催[本大会からオープン競技の水泳を廃止し、11 種目（17 種別）1 オープン]

11 月/理事会で、郡市大会の 3 ブロック開催案を検討

- ▶ 第 11 回冬季オリンピックが札幌で開催され、70m 級ジャンプで「日の丸飛行隊」笠谷、金野、青地 3 人がメダルを独占 また、ミュンヘンで開催の第 20 回オリンピックでは、「ムーンサルト」の男子体操の 4 連勝をはじめ、水泳の田口教信、青木まゆみ、男子バレーボールなどで金メダルを獲得

昭和 48 年 2 月/第 23 回郡市駅伝の開催

3 月/「大阪郡市体育連合のあゆみ」発刊

4 月/郡市大会を、地区大会と中央大会による構成とする また、青年大会が府青年団協議会の自主事業となり、都市大会から分離

加盟団体負担金総額 1,000,000 円に改め、均等割を 325,000 円（市 10,000 円、町村 5,000 円）

人口割を 675,000 円とする

これに伴い、大会予算を、中央大会費 700,000 円 地区大会費 445,000 円とする。

大阪郡市対抗総合体育大会実行委員会規約を制定

8 月/第 27 回郡市大会の開催[本大会からオープン競技のすもうを廃止し、11 種目（17 種別）]（3 ブロック持回りによるはじめての開催 中ブロックが担当）

なお、陸上競技にジュニアの部を創設（オープン種別）

10 月/都民大会の実務視察のため、東京都へ 3 名を派遣

- ▶ 第 1 回世界水泳選手権大会が、ベオグラードで開催
日本シンクロナイズドスイミングチームが 3 種目で銅メダルを獲得

昭和 49 年 2 月/第 24 回郡市駅伝の開催

4 月/第 6 代会長に、井上一成氏（摂津市長）が就任

専門委員会を設け、名称・組織・負担金・規約等についての検討をはじめ

8 月/第 28 回郡市大会の開催

南ブロックが担当 初めて室内（大浜体育館）で開会式を実施

本大会から、軟式野球に担当市の中央大会出場を認めるとともに、総合成績決定に当たり、参加点制度を導入する

12 月/万博公園施設の見学会を実施

▶ 第 7 回アジア大会がテヘランで開催 中国が参加

昭和 50 年 2 月/第 25 回郡市駅伝の開催

4 月/規約一部改正

（名称を、大阪府体育連合 と改称する 加盟団体を、各市町村単位に統合された体育団体に改める 評議会を、各市町村から 1 名選出する）

加盟団体負担金総額を 1,500,000 円とし、規模別 750,000 円（30 万人以上の市 25,000 円、30 万人未満の市 20,000 円、町村 10,000 円）、人口割 750,000 円とする
大会名称の変更

大阪郡市対抗体育大会を大阪府総合体育大会（以下「府総体」）に、大阪郡市対抗駅伝競走大会を大阪府市町村対抗駅伝競走大会（以下「駅伝」）に改称する

これに伴い実行委員会規約を一部改正

6 月/大阪-上海友好家庭婦人バレーボール交歓会の開催

翁 品芳団長以下 選手 20 名が来阪

6 月 12 日 南大阪大会（堺市立大浜体育館）

6 月 14 日 北大阪大会（豊中市豊島体育館）

6 月 16 日 中大阪大会（大阪府立体育会館）

8 月/第 29 回府総体の開催（北ブロックが担当）

この大会から、種目担当市に当該種目中央大会への出場権枠を設定

大会予算府総体 1,950,000 円 駅伝 100,000 円

▶ 全英オープンテニス女子ダブルスで、沢松和子 アン清村組が優勝

昭和 51 年 2 月/第 26 回駅伝の開催

4 月/大阪府体育連合 30 周年記念事業実行委員会を設置

（記念誌、表彰、経理、事業及び総務として分担）

表彰費 320,000 円 記念誌費 300,000 円 ポスター費 250,000 円

記念品・前夜祭費 300,000 円他 総額 1,275,000 円の特別予算を計上

8 月/第 30 回記念府総体の開催

長居公園施設や大阪府立体育会館などを中心に実施

大会予算府総体 2,400,000 円 駅伝 150,000 円

参加チーム数制限の緩和（卓球、軟式庭球及びバドミントンは、市町村単位 1 チーム、

70年のあゆみ

ソフトボール、バスケットボールは、1地区2チームまでとする)

開会式にて 14名に表彰状 65名に感謝状を贈呈

大阪府体育連合 30周年記念誌を発行 (600部発行し、各市町村に10冊配付)

▶ 第21回オリンピックがモンテリオールで開催 水泳のエンダー (東ドイツ) 体操の
コマネチ (ルーマニア) が大活躍

.....

昭和 52 年 2 月 / 第 27 回 駅伝 の 開催

8 月 / 第 31 回 府 総 体 の 開催 (中ブロック担当)

▶ 世界卓球選手権で、河野満がナックルボールを武器に8年ぶりに優勝

.....

昭和 53 年 2 月 / 第 28 回 駅伝 の 開催

4 月 / 大会 予算 総 額 を 3,900,000 円 に 改 定 (分 担 金 : 府 1,350,000 円、連 合 1,200,000 円、
(財) 大 阪 体 育 協 会 1,350,000 円) 中 央 大 会 1,200,000 円、地 区 大 会 1,200,000 円、
駅 伝 300,000 円、事 務 局 費 1,200,000 円 と し て 計 上

8 月 / 大 阪 府 体 育 連 合 旗 の 制 定 発 表 (19 日) (堺 ロ マ ン 宮 殿 に て 第 32 回 大 会 前 夜 祭 と 併 催)
25 名 37 点 の 応 募 作 品 の 中 か ら、赤 沢 美 郎 氏 (豊 中)、山 村 純 三 氏 (貝 塚) の 2 優 秀 作 品
を (株) グ ラ フ ィ ッ ク ケ イ 山 田 寛 子 氏 の 協 力 を 得 て 政 策 (特 大 旗 2 流、大 旗 15 流、
小 旗 3 流)

8 月 / 第 32 回 府 総 体 の 開催 (南ブロック担当)

▶ 世界体操選手権がストラスブールで開催 日本男子チームが、18年間連続優勝の
大記録を樹立 ▶ 山下泰裕が、世界学生選手権、嘉納治五郎杯大会に優勝

.....

昭和 54 年 2 月 / 第 29 回 駅伝 の 開催

6 月 / 慶 弔 内 規 を 制 定

8 月 / 第 33 回 総 体 の 開 会 (北ブロック担当)

(本大会から、ソフトボール (男) テニス (男・女) 及び弓道を加え、またハンドボール
(男・女) を オープン 競 技 と し て 採 用 13 種 目 (21 種 別) 1 オープン 参 加 チーム が 7
チ ャ ー ム に 満 た ない と き は、オ ー プ ン 競 技 と し、総 合 成 績 決 定 の 得 点 に は 計 上 し ない こ と と
す る 第 1 回 戦 で 同 一 地 区 が 対 戦 し ない よ う に 抽 選 方 式 を 改 め る 柔 道 競 技、段 別 個 人 戦
に よ る 実 施 に 改 正)

▶ ウィーンで開催された世界フィギアスケート選手権大会で、渡辺絵美が日本人初の
銅メダルを獲得 ▶ 瀬古利彦 (早大) が、福岡マラソンに2連勝

.....

昭和 55 年 2 月 / 第 30 回 駅伝 の 開催

記念大会として、第2部 (個人 6.3K マラソン) を実施 参加 40 名

8 月 / 第 34 回 総 体 の 開 会 (中ブロック担当)

大会 予算 総 額 を 4,100,000 円 に 改 定 (中 央 大 会 1,250,000 円 地 区 大 会 1,300,000 円
駅 伝 250,000 円 事 務 局 費 1,300,000 円 と し て 計 上)
こ の 大 会 か ら 参 加 章 が 廃 止 と な る

大阪府市長会から、ソフトボール（男）及び弓道の優勝旗寄贈

▶ 第 22 回モスクワオリンピックに不参加の方針を決定

▶ 水泳日本選手権で、秋田県川尻小学校の長崎宏子が 200m 平泳で優勝

昭和 56 年 2 月/第 31 回駅伝の開催

8 月/第 35 回府総体の開催（南ブロック担当）

大会予算総額 4,172,000 円に改定（中央大会 1,250,000 円 地区大会 1,300,000 円

駅伝 250,000 円 事務局費 1,372,000 円として計上）

大阪府市長会から、テニス（男・女）の優勝旗寄贈

▶（財）日本体育協会が、いわゆる「冠大会」の開催を認める

▲釜本邦茂 200 得点を達成

昭和 57 年 2 月/第 32 回駅伝の開催（ジュニアの部を創設）

[長居競技場ランプウェイ廃止によりコース一部変更]

4 月/第 7 代会長に、井上信也氏（摂津市長）が就任

市長会から会長を、町村長会から副会長を迎える

加盟団体負担金総額を 2,140,000 円に改める

大会予算総額 4,900,000 円に改定（中央大会 1,400,000 円 地区大会 1,700,000 円

駅伝 300,000 円 事務局費 1,500,000 円として計上）

8 月/第 36 回府総体の開催（北ブロック担当）

[弓道に個人戦第 3 位までの表彰を開始 なお、本大会からハンドボールを廃止し、

13 種目（21 種別）]

陸上競技（男・女）、剣道及び駅伝の優勝旗を新調

▶ 第 9 回アジア大会インドで開催 日本金メダル 57 獲得 中国の 61 について 2 位となる

昭和 58 年 2 月/第 33 回駅伝の開催

4 月/大会予算総額 4,900,000 円（連合 1,900,000 円 府 2,000,000 円 （財）大阪体育協会

1,000,000 円）として計上 支出内訳 中央大会 1,400,000 円 地区大会 1,700,000 円

駅伝 400,000 円 事務局費 1,400,000 円に改定

功労者表彰被表彰者の年齢を、大会当日男子 40 歳 女子 30 歳以上とする旨決定

8 月/第 37 回府総体の開催（中ブロック担当）

▶ 高校横綱久嶋啓太が、アマ横綱に

▶ 世界スケートスプリント選手権で黒岩彰が日本人初の総合優勝（ヘルシンキ、2/7）

昭和 59 年 2 月/第 34 回駅伝の開催

4 月/規約一部改正 学識経験者理事を、3 名以内から 5 名以内に改める

大会予算総額 中央大会 1,400,000 円 地区大会 1,700,000 円 駅伝 450,000 円

事務局費 1,450,000 円に改定

8 月/第 38 回府総体の開催（南ブロック担当）

▶ 第 14 回サラエボ冬季オリンピックの開催 北沢欣浩（法大）が、スピードスケート

70年のあゆみ

500mに銀メダル、黒岩彰敗れる

▶ 第23回オリンピックがロサンゼルスで開催 中国が32年ぶりに参加

金メダル15個と大活躍 日本は柔道の山下、斉藤、体操の具志堅、射撃の蒲池など
金10、銀8、銅14のメダルを獲得

昭和60年2月/第35回駅伝の開催

8月/第39回府総体の開催（北ブロック担当）

大会予算総額5,000,000円（中央大会1,400,000円 地区大会1,700,000円
駅伝450,000円 事務局費1,450,000円に改定）

▶ ユニバーシアード大会が神戸で開催 女子マラソンで深尾真美が優勝

▶ プロ野球阪神タイガースが21年ぶりにセリーグ優勝 日本シリーズも制し、
「トラフィーバー」が社会現象に

昭和61年2月/第40回記念式典について検討

2月/第36回駅伝の開催

5月/記念事業実行員会準備会発足

式典：中ブロック 表彰：北ブロック 記念誌：南ブロックでそれぞれ担当することを
決定 記念事業予算3,590,000円を計上

8月/創立40周年記念式典の挙行（30日、なにわ会館）

連合功労者表彰20名 感謝状192名（知事41、府教育委員会74 連合会長77）

8月/第40回府総体の開催（中ブロック担当）

10月/総体及び駅伝に関する調査を実施

▶ 第10回アジア大会ソウルで開催 韓国が大活躍、日本はメダル獲得数で第3位に後退

▶ 自転車の世界選手権大会 プロスプリントで中野浩一10連覇（9/1）

▶ 第1回世界ゲートボール選手権大会開催（札幌）

昭和62年2月/第37回駅伝の開催

9月/第41回府総体の開催（南ブロック担当）

[開催種別の拡充 ソフトボール（壮年男子）、バレーボール（家庭婦人）及び卓球
（壮年男子及び家庭婦人）を加え、13種目（25種別）]

大会予算6,000,000円（中央大会1,745,000円 地区大会1,945,000円

駅伝620,000円 事務局費1,690,000円を計上）

▶ プロ野球広島の衣笠祥雄選手、連続2,131試合出場の世界記録樹立（6/15）

▶ F1イギリスグランプリで中嶋悟が日本人初の4位入賞（7/12）

昭和63年2月/第38回駅伝の開催

9月/第42回府総体の開催（北ブロック担当）[開催種別の拡充 軟式野球（壮年男子）及び
ソフトボール（家庭婦人）を加え、13種目（27種別）]

11月/第8代会長に、森本稔氏（四條畷市長）が就任

▶はスポーツ界トピックス

- ▶第15回冬季オリンピック(カルガリー)で、橋本聖子がスピードスケートの全5種に入賞(2/13) ▶日本初の屋根つき球場「東京ドーム」完成(3/11) ▶第24回オリンピック(ソウル)が開催され、水泳の鈴木大地ら金メダル4個を獲得(9/17)

平成元年2月/第39回駅伝の開催

9月/第43回府総体の開催(中ブロック担当)

台風17号の影響により、13種目中10種目が全面又は一部中止となり、総合成績を決定せず

- ▶パリで行われたフィギアスケート世界選手権大会で、伊藤みどりが日本人初の優勝(3/14)

- ▶柔道世界選手権大会で、小川直也が95kg級と無差別級を制覇(ベオグラード10/15)

平成2年2月/第40回駅伝の開催(一般女子の部を創設し、3種別)

9月/第44回府総体の開催(南ブロック担当)

- ▶近鉄の新人野茂英雄投手、沢村賞受賞 その他新人賞MVPなど8冠を獲得(10/22)

平成3年2月/第41回駅伝の開催

9月/第45回府総体の開催(北ブロック担当)[開催種別の拡充 バドミントン(壮年男子及び家庭婦人)を加え、13種目(29種別)]

- ▶1998年冬季オリンピックの開催地が長野に決定(6/16)

平成4年2月/第42回駅伝の開催

9月/第46回府総体の開催(中ブロック担当)[開催種別名称等の一部改正 軟式庭球→ソフトテニス、壮年男子の部→男子2部、家庭婦人の部→女子2部にそれぞれ改める]

- ▶第16回冬季オリンピックアルベールビル大会で、ノルディック複合団体の札幌大会の70m級ジャンプ以来20年ぶりの金メダル(2/8)

- ▶第25回オリンピックバルセロナ大会開催 柔道の古賀らがメダル獲得

平成5年2月/第43回駅伝の開催

9月/第47回府総体の開催(南ブロック担当)

大会予算7,157,000円(中央大会2,220,000円 地区大会2,470,000円 駅伝777,000円 事務局費1,690,000円を計上)

- ▶第11回全国都道府県対抗女子駅伝で大阪が初優勝(1/17)

- ▶大相撲で、外国人初の横綱曙誕生(第64代)(1/27) ▶サッカーJリーグ開幕(5/15)

平成6年2月/第44回駅伝の開催

9月/第48回府総体の開催(北ブロック担当)

大会予算7,257,000円(中央大会2,220,000円 地区大会2,467,000円 駅伝777,000円 事務局費1,793,000円を計上)

- ▶プロ野球イチロー選手(オリックス)史上初のシーズン200本安打達成(9/20)

70年のあゆみ

- ▶ 関西社会人ラグビーで、神戸製鉄の72連勝ならず（対ワールド戦 11/27）
- ▶ 第52回国民体育大会夏・秋季大会の大阪府開催が決定（7/5）

平成7年2月/第45回駅伝の開催

9月/第49回府総体の開催（中ブロック担当）

[開催種目時期等一部変更 陸上競技の開催を駅伝と同一日程に改めるとともに、競技種目をトラック競技（1500m～5000m）に改める。また同種目において、ジュニアをA・B・Cに細分化し、参加対象を拡大]

大会予算 7,757,000 円（中央大会 2,220,000 円 地区大会 2,467,000 円

駅伝 1,027,000 円 事務局費 2,043,000 円を計上）

- ▶ 日本人2人目の大リーガー野茂英雄投手（ドジャース）が、大リーグの新人王に（11/10）
- ▶ 柔ちゃんこと田村亮子選手、世界柔道選手権大会で2連覇、通算73連勝（千葉 幕張 10/1）

平成8年2月/第46回駅伝・第49回府総体（陸上）の開催（駅伝にジュニア女子の部を創設し、4種別）

6月/50周年記念事業実行委員会を設置

式典委員会（南ブロック）、表彰委員会（中ブロック）、記念誌委員会（北ブロック）及び総務委員会で構成。

記念事業予算 4,040,000 円を計上

8月/創立50周年記念式典の挙行（21日、ホテルアウイーナ大阪）

連合功労者表彰 28名、感謝状 394名（知事 70、府教育委員会 104、連合会 220）

9月/第50回府総体の開催（南ブロック担当）

大会予算 7,757,000 円（中央大会 2,220,000 円 地区大会 2,867,000 円 駅伝 627,000 円 事務局費 2,043,000 円を計上）

- ▶ テニスのフェドカップ（東京）で、伊達公子選手が世界ランキング1位のグラフを破る（4/28）
- ▶ 2002年のワールドカップサッカーが日本と韓国の共同開催に決定（5/31）
- ▶ 第26回オリンピックアトランタ大会で、有森裕子選手（マラソン）が前回バルセロナの銀に続き、銅メダル獲得（7/28）

平成9年2月/第47回駅伝・第50回府総体（陸上）の開催

- ▶ 第52回国民体育大会冬季大会アイスホッケー（成年男子）で、大阪府が東京以西のチームとして初優勝

6月/第51回府総体の開催は、なみはや国体開催のため、中央大会を実施せず。

大会予算 2,807,000 円（中央大会 0円、地区大会 1,554,000 円、駅伝 627,000 円、事務局費 626,000 円を計上）

平成10年2月/第48回駅伝の開催

9月/第52回府総体の開催

▶はスポーツ界トピックス

大会予算 7,757,000 円(中央大会 2,220,000 円、地区大会 2,867,000 円、駅伝大会 627,000 円、事務局費 2,043,000 円を計上)

▶ 冬季長野オリンピック開催、500mショートトラックで西谷岳文が優勝、金5、銀1、銅4獲得

平成 11 年 2 月/第 49 回駅伝の開催

9 月/第 53 回府総体の開催

大会予算 6,757,000 円(中央大会 1,830,000 円、地区大会 2,867,000 円、駅伝大会 520,000 円、事務局費 1,540,000 円を計上)

平成 12 年 2 月/第 50 回駅伝の開催

9 月/第 54 回府総体の開催

大会予算 7,200,000 円(中央大会 1,900,000 円、地区大会 3,300,000 円、駅伝大会 550,000 円、事務局費 1,450,000 円を計上)

▶ シドニーオリンピック開催、女子マラソンで高橋尚子選手が優勝、金5、銀8、銅5獲得

平成 13 年 2 月/第 51 回駅伝の開催

9 月/第 55 回府総体の開催

大会予算 7,300,000 円(中央大会 1,960,000 円、地区大会 3,440,000 円、駅伝大会 550,000 円、事務局費 1,350,000 円を計上)

平成 14 年 9 月/第 56 回府総体の開催

第 9 代会長に、寺田為三氏(高石市長)が就任

大会予算 7,100,000 円(中央大会 1,960,000 円、地区大会 3,440,000 円、駅伝大会 550,000 円、事務局費 1,150,000 円を計上)

▶ 冬季ソルトレイクシティオリンピック開催、里谷多英選手が銅メダル獲得

平成 15 年 2 月/第 52 回駅伝の開催

5 月/第 10 代会長に、山本末男氏(茨木市長)が就任

9 月/第 57 回府総体の開催

大会予算 7,201,000 円(中央大会 1,839,000 円、地区大会 3,440,000 円、駅伝大会 769,000 円、事務局費 1,143,000 円を計上)

▶ 阪神タイガースがリーグ優勝(星野仙一監督)

平成 16 年 2 月/第 53 回駅伝の開催

5 月/第 11 代会長に、中司宏氏(枚方市長)が就任

9 月/第 58 回府総体の開催

大会予算 7,001,000 円(中央大会 1,756,000 円、地区大会 3,337,000 円、駅伝大会 652,000 円、事務局費 1,246,000 円を計上)

70年のあゆみ

- ▶ アテネオリンピック開催、野口みずき選手（マラソン）が優勝、金 16、銀 9、銅 12 を獲得

平成 17 年 2 月/第 54 回駅伝の開催

9 月/第 59 回府総体の開催

大会予算 6,801,000 円（中央大会 1,756,000 円、地区大会 3,337,000 円、駅伝大会 452,000 円、事務局費 1,246,000 円を計上）

- ▶ 阪神タイガースがリーグ優勝（岡田彰布監督）
- ▶ ガンバ大阪が J リーグ年間優勝（西田朗監督）

平成 18 年 2 月/第 55 回駅伝の開催

8 月/創立 60 周年記念式典の挙行（28 日、ホテルアウィーナ大阪）連合功労者表彰 31 名、優秀指導者表彰 17 名、感謝状 394 名（知事 35、府教育委員会 70、連合会 86）

第 60 回府総体の開催

大会予算 6,751,000 円（中央大会 1,756,000 円、地区大会 3,337,000 円、駅伝大会 402,000 円、事務局費 1,246,000 円、総体準備費 10,000 円を計上）

- ▶ 冬季トリノオリンピック開催、フィギュアスケートで荒川静香選手が金メダル獲得
- ▶ ワールドベースボールクラシックで王貞治監督率いる日本チームが世界一に

平成 19 年 2 月/第 56 回駅伝の開催

8 月/第 61 回府総体の開催

大会予算 6,801,000 円（中央大会 1,809,000 円、地区大会 3,440,000 円、駅伝大会 402,000 円、事務局費 1,140,000 円、総体準備費 10,000 円を計上）

平成 20 年 2 月/第 57 回駅伝の開催

5 月/第 12 代会長に、倉田薫氏（池田市市長）が就任

8 月/第 62 回府総体の開催

大会予算 5,100,500 円（中央大会 1,571,000 円、地区大会 2,583,000 円、駅伝大会 301,500 円、事務局費 635,000 円、総体準備費 10,000 円を計上）

- ▶ 北京オリンピック開催、競泳の北島康介選手が男子 100m・200m 平泳ぎで優勝、2 大会連続 2 冠達成、金 9、銀 6、銅 10 を獲得

平成 21 年 2 月/第 58 回駅伝の開催

8 月/第 63 回府総体の開催

大会予算 6,367,000 円（中央大会 1,800,000 円、地区大会 3,440,000 円、駅伝大会 300,000 円、事務局費 817,000 円、総体準備費 10,000 円を計上）

- ▶ ワールドベースボールクラシックで原辰徳監督率いる日本チームが世界一になり、2 連覇を果たす

平成 22 年 2 月/第 59 回駅伝の開催

8 月/第 64 回府総体の開催

大会予算 6,288,000 円(中央大会 1,790,000 円、地区大会 3,440,000 円、駅伝大会 300,000 円、事務局費 748,000 円、総体準備費 10,000 円を計上)

平成 23 年 2 月/第 60 回駅伝の開催

5 月/第 13 代会長に、向井通彦氏(泉南市長)が就任

8 月/第 65 回府総体の開催

9 月/府総体ゴルフ競技に関する調査を実施

11 月/府総体種目別優勝旗、優勝杯の破損状況に関する調査を実施

大会予算 6,288,000 円(中央大会 1,808,000 円、地区大会 3,440,000 円、駅伝大会 300,000 円、事務局費 730,000 円、総体準備費 10,000 円を計上)

▶ F I F A 女子ワールドカップで日本(なでしこ J A P A N)が優勝

平成 24 年 2 月/第 61 回駅伝の開催

8 月/第 66 回府総体の開催

大会予算 6,288,000 円(中央大会 1,800,000 円、地区大会 3,440,000 円、駅伝大会 350,000 円、事務局費 688,000 円、総体準備費 10,000 円を計上)

▶ ロンドンオリンピック開催、レスリング女子フリースタイル 63 kg 級の伊調馨と 55 kg 級の吉田沙保里が共にオリンピック 3 連覇達成、金 7、銀 14、銅 17 を獲得

平成 25 年 2 月/第 62 回駅伝の開催

5 月/第 12 代会長に、森山一正氏(摂津市長)が就任

8 月/第 67 回府総体の開催

大会予算 6,211,700 円(中央大会 1,720,000 円、地区大会 3,440,000 円、駅伝大会 300,000 円、事務局費 701,700 円、総体準備費 50,000 円を計上)

▶ 2020 年五輪の東京開催(56 年ぶり)が決定

平成 26 年 2 月/第 63 回駅伝の開催

8 月/第 68 回府総体の開催

大会予算 6,082,500 円(中央大会 1,680,000 円、地区大会 3,440,000 円、駅伝大会 250,000 円、事務局費 712,500 円を計上)

▶ 冬季ソチオリンピック開催、フィギュアスケート男子シングルで羽生結弦選手が金メダル獲得、金 1、銀 4、銅 3 を獲得

平成 27 年 2 月/第 64 回駅伝の開催

5 月/第 13 代会長に、田中誠太氏(八尾市長)が就任

8 月/第 69 回府総体の開催

大会予算 6,139,500 円(中央大会 1,670,000 円、地区大会 3,440,000 円、駅伝大会 300,000 円、事務局費 729,500 円を計上)

70年のあゆみ

- ▶ 世界体操競技選手権大会で内村航平選手が個人総合で優勝し、6連覇を達成
-

平成 28 年 2 月 / 第 65 回駅伝の開催

8 月 / 創立 70 周年記念式典の挙行（3 日、ホテルアウイーナ大阪）連合功労者表彰 23 名、
優秀指導者表彰 16 名、感謝状 176 名（知事 33、府教育委員会 60、連合会 83）

大阪府市長会から、府総体男女総合・男子総合・女子総合の優勝旗寄贈

第 70 回府総体の開催

- ▶ リオオリンピック開催、レスリング女子フリースタイル 58 キロ級の伊調馨が、女子個人種目での全競技通じて史上初の 4 連覇達成。金 12、銀 8、銅 21 の史上最多の計 41 個を獲得。
-



加盟团体概要

豊中市体育連盟

所在地 豊中市服部西町4-13-2
武道館ひびき内
TEL 090-3873-4215

創 立

昭和24年6月4日

加盟団体数

29団体

会 員 数

約22,000人

役 員 名

会 長	桑村 三十三	副会長	北野 信義	副会長	藤田 満子
副会長	富田 安廣	副会長	永瀬 政子	理事長	古久保美智恵
副理事長	松原 重雄	副理事長	柿本 哲夫	副理事長	加藤 忍
副理事長	森田 美千代				

沿 革

豊中市体育連盟は、昭和24年6月に野球連盟をはじめ硬式テニス、軟式テニス（現ソフトテニス）、陸上競技の4競技団体と小学校・中学校・市役所・豊中警察署・豊中市商工会議所・豊中市青年会議所の6職域団体が部組織で加盟して発足し、大阪郡市体育連合に加盟した。現在では、競技スポーツ・生涯スポーツの推進を図るため、豊中市レクリエーション協会を統合（平成24年）して29団体となり、会員数は少子化による影響もあるが約22,000余名を数えており、それでも府下有数の体育団体に位置づけられている。活動を行う公共体育施設についても、昭和46年の豊島体育館をはじめ順次整備が進められ体育館4館・温水プール2館・武道館1館・高校野球の予選会が行える野球場・天然芝のサッカー・ラグビー場・テニスコート・少年野球場等が整備されてきた。これら施設を活用し体育連盟では、市から委託を受けて各種市民大会や種目別の指導者養成を実施するとともに、各団体の種目別大会を実施し、

その組織強化や選手育成を図ってきた。その結果、豊中で育った選手が指導者として後進の指導に当たり、またそれが引き継がれている。その成果は大阪府総合体育大会において、常に上位に位置し、平成26年には2度目の完全優勝を収めている。

豊中市体育連盟として、競技団体は競技力の向上を目指し、統合したレクリエーション団体はだれでも親しめるスポーツの普及に努め、個々人の要望に適したスポーツが楽しめる環境づくりに努めてまいります。



種目別加盟団体

野球／ソフトテニス／テニス／陸上競技／バレーボール／柔道／剣道／卓球／バスケットボール／サッカー／バドミントン／日本拳法／ハンドボール／空手道／少林寺拳法／ソフトボール／弓道／合気道／ラグビー／少年野球／少年バレーボール／水泳／グラウンド・ゴルフ／フィットネス／女性バドミントン／フォークダンス／民踊／ハイキング／フリーテニス

池田市体育連盟

所在地 池田市城南 1-1-1

TEL 072-754-6480

創 立

昭和 29 年 6 月 21 日

加盟団体数

19 団体

会 員 数

約 6,000 名

役 員 名

会 長 塩山 登 副 会 長 杉本 章夫 副 会 長 古田 刺男
理 事 長 松村 一三 副 理 事 長 古澤 頼秋

沿 革

池田市体育連盟は、昭和 29 年 6 月、柔道、卓球、野球、剣道、軟式庭球、硬式庭球、マラソンの 7 団体により創立された。31 年にはバレーボール協会が加盟、38 年市民体育館の竣工、東洋の魔女(日紡貝塚)によるバレーボール公式練習開催、39 年バスケットボール協会、スキー協会、バドミントン協会、41 年ハンドボール協会、47 年サッカー協会、49 年ソフトボール協会、51 年少林寺拳法協会、52 年水泳協会、61 年体操協会、平成 5 年ラグビーフットボール協会、22 年空手道連盟と 12 団体が加盟し現在 19 協会より構成されている。多くの先輩、指導者、関係団体の皆様のご苦勞と努力の積み重ねにより、市民の健康と、生涯スポーツの普及をめざして事業を展開し、『ひろげよう 人の和スポーツで』のスローガンの元、平成 26 年 6 月満 60 才という大きな喜びの節目を迎えることが出来た。

市民の健康づくり、地域コミュニティづくりの一環として大きく関わりを持つ体育連盟、その役割も大変重要である。市制 15 周年記念の大会と

して実施された市民総合体育大会も今年度で 64 回目を迎え、また、53 回目の市民レクリエーション大会も約 13,600 人の参加で盛大に実施されている。小学 2 年～中学生を対象とするジュニアスポーツクラブ(バスケットボール、バドミントン、ハンドボール、バレーボール) 事業では、子どもたちが真剣に汗を流している。

本市は、39 年に優良団体として「文部大臣賞受賞」、43 年には「体力づくり優秀組織日本一」として内閣総理大臣賞を受賞、大阪府教育委員会からも「優良団体表彰」等を受けている。



平成 27 年 3 月 池田市体育連盟結成 60 周年記念事業

種目別加盟団体

剣道／サッカー／柔道／スキー／卓球／ソフトテニス／軟式野球／バスケットボール／バドミントン／バレーボール／陸上競技／テニス／ソフトボール／水泳／少林寺拳法／体操／ハンドボール／ラグビーフットボール／空手道
※水泳、少林寺拳法、ラグビーフットボールは休会中

箕面市体育連盟

所在地 箕面市新稲3丁目12番1号

箕面市立武道館内

TEL 072-721-1236

創 立 昭和30年4月

加盟団体数 20団体

役員名

会 長 大野 壽一 副会長 小島 敏彦 副会長 中西 由伸 理事長 切通 弘

会 員 数 約6,700名

沿 革

昭和30年4月「箕面レクリエーションクラブ」として発足し、昭和33年に「箕面市体育レクリエーション協会」に改組。平成3年5月に「箕面市体育連盟」と改称。現在20協会が加盟し、市民スポーツの振興と市民の健康づくりなどの活動を行なっています。平成15年には新事務所を開設し、NPO団体となりました。

体育功労団体として昭和38年に大阪府教育委員会表彰を、昭和43年に文部大臣表彰を、昭和41年に総理府の“体力づくりの指定都市”に3年連続で指定され、昭和47年に文部大臣より“体力づくり優秀組織賞”を受賞。

事業は、昭和32年の第1回市民体育祭は現在春季・秋季市民総合体育大会として、昭和43年の第1回スポーツカーニバルは現在体育の日の全市的行事として、昭和44年に始まった市民マラソン大会は平成21年より豊能町と共催で箕面森町妙見山麓マラソン大会に変更し現在約1,200人が参加する冬の恒例行事となっています。

平成18年からスポーツ施設への指定管理者制度が導入され平成23年ミズノグループが10年間の指定管理者を受託。春・秋の市民大会、ジュニアソフトボール大会、スポーツのつどい、スポーツ教室など箕面市及び指定管理者からの受託事業を実施しています。

体育施設も平成8年スカイアリーナが竣工し、平成9年常陸宮・同妃両殿下をお迎えし、第52回国民体育大会柔道競技会が開催されました。平成27年11月に「創立60周年記念式典」を開催。盛大なうちにも60年という歴史の重さをかみしめ、さらなる努力を誓い合いました。



箕面市体育連盟 60周年記念式典

種目別加盟団体

軟式野球／ソフトボール／バレーボール／卓球／剣道／居合道／柔道／ソフトテニス／テニス／空手道／合気道／バドミントン／日本拳法／サッカー／太極拳／ゲートボール／ペタンク／バスケットボール／グラウンドゴルフ／ダーツ

能勢町体育連盟

所在地 大阪府豊能郡能勢町宿野29番地

能勢町教育委員会 生涯教育課内

TEL 072-734-2452

創立 加盟団体数 役員名

昭和32年7月20日

8団体

会員数 約500名

連盟長 中村 信行 副連盟長 仲 正彦 副連盟長 須見 昭彦
副連盟長 岡田 康司 副連盟長 子安 一朗 理事長 清水 鉄也

沿革

能勢町は、歌垣村、田尻村、西能勢村、東郷村が合併してできており、本年、町制施行60周年を迎えた。能勢町体育連盟も歌垣支部、田尻支部、西能勢支部、東郷支部の4つの支部から構成されている。主催事業としては、主に次の3事業を開催し、町民の健康の維持・増進及び地域コミュニティの強化を努めている。

●町民ゴルフ大会

6月に町内のゴルフ場にて開催し、毎年140名前後のゴルフ愛好者が参加している。

●区対抗ソフトボール大会

8月に町内6会場にて実施、毎年約20チームが参加

●能勢高原マラソン大会

10月に府立能勢高等学校を起点としたコースで、例年町内外より約300名の参加がある。



(高原マラソンの様子)

主催事業の他に、共催、後援事業として子どもから高齢者まで誰もが手軽にできる生涯スポーツの普及促進を図るため、ラジオ体操

講習会やウォーキング交流会など他団体の事業に積極的に協力参加している。また、本年、町制施行60周年記念事業として実施された「NHK特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」に後援団体として参画し、参加の呼びかけ協力等を行った。



(ラジオ体操の様子：参加者1,500名)

現在、能勢町体育連盟に下記8つの団体が加盟しており、個々活動している

●能勢町野球協会：8チーム加盟 春季・秋季トーナメント大会、リーグ戦

●能勢町バレーボール協会：7チーム加盟 年4回の町内大会ほか

●能勢町剣道協会：少年少女剣道大会・昇給審査会ほか

●能勢町テニス協会：町テニス大会ほか

●能勢町卓球協会：町民卓球大会、ジュニア卓球大会ほか

●能勢町ゲートボール協会：春季・夏季・秋季・冬季町ゲートボール大会ほか

●能勢町ゴルフ協会：親睦ゴルフ大会ほか

種目別加盟団体

野球/バレーボール/剣道/テニス/卓球/ゲートボール/グラウンドゴルフ/ゴルフ

豊能町体育連盟

所在地 大阪府豊能郡豊能町光風台 5-1-2
TEL 072-738-4628

創 立 昭和 52 年 5 月 21 日

加盟団体数 10 団体

会 員 数 約 690 名

役 員 名

連盟長 新 松敏 副連盟長 木寺 喜義 理事長 守屋 賀美子

沿 革

昭和 31 年、旧東能勢村と旧吉川村が合併、その後旧東能勢村体育連盟と旧吉川村体育連盟の二つの組織のまま地域活動を行っていた。昭和 48 年より組織統合を図るための準備が進められ、昭和 52 年 5 月 21 日、町制施行を機に豊能町体育連盟に改称し現在に至る。

平成 8 年度に豊能町立スポーツセンター「シートス」が開館されたことにより、他市町村選手を迎えた交流大会等が積極的に開催され、町内競

技者の技術向上に寄与し、また、平成 21 年度から行政区を超えた世代間・地域交流を目的とした箕面市と豊能町の共催事業「箕面市・豊能町 箕面森町妙見山麓マラソン大会」(来年 3 月で 9 回目)では実行委員として積極的に参画し生涯スポーツの普及及び振興に努めている。



第 7 回 箕面市・豊能町 箕面森町妙見山麓マラソン大会

種目別加盟団体

ソフトボール／テニス／バレーボール／バドミントン／野球／卓球／剣道／ゲートボール／陸上競技／
スポンジボールテニス

公益社団法人吹田市体育協会

所在地 吹田市寿町1丁目1番1号

TEL 06-6381-9011

創 立 昭和 23 年 6 月 1 日

加盟団体数 36 団体

会 員 数 約 1,300 名 (役員)

役 員 名

【社団社員数 74 名】

会 長	立田 宏	副 会 長	永田 昌範	副 会 長	村山 英昭
専 務 理 事	下岡 正美	副 専 務 理 事	石井 忠臣	副 専 務 理 事	前川 秀昭
副 専 務 理 事	森中 美紀	特定非営利活動法人吹田市体育協会会長	信田 邦彦		

沿 革

吹田市体育協会は、68年間にわたり競技力向上と市民のスポーツ振興に寄与してまいりました。市民スポーツ大会の充実に一貫して取り組み、吹田市より受託している吹田市長杯（旗）大会は、今日では31種目74種別大会を開催し、参加者数は3万7千人を数えるに至っています。さらに、スポーツ振興に不可欠な指導員の育成では、現在までに1,492名の吹田市公認スポーツ指導員を養成し、市民の競技力向上に大きな役割を果たしています。

また、吹田市体育施設の指定管理事業にも、積極的に参画し、幅広い活動を展開しています。

体育協会の活動の幅が広がったことから、わたしたちは、誰もが納得する『市民の公共財としての体育協会』に発展していく必要があると考え、組織の信頼性をより一層高め、市民のスポーツ振興に対し一層の責任を担うために、組織の在り方を検討し、本年、公益社団法人吹田市体育協会の認定を受けました。

- 昭和 23 年 吹田市体育連盟発足
- 昭和 25 年 吹田市体育協会に改称
- 平成 18 年 3 月 NPO 認証
特定非営利活動法人吹田市体育協会設立
- 平成 27 年 11 月
一般社団法人吹田市体育協会設立

- 平成 28 年 3 月 公益社団法人認定
- * 指定管理事業の公益社団への移管は議会承認が必要な為、現時点では特定非営利活動法人・公益社団法人が併存する形となります。



平成 28 年度市長杯旗争奪体育大会総合開会式

種目別加盟団体

水泳／野球／陸上競技／柔道／卓球／ソフトテニス／バレーボール／剣道／スキー／山岳／
バドミントン／ソフトボール／日本拳法／空手道／バスケットボール／サッカー／
ウェイトトレーニング／少林寺拳法／テニス／スポーツ少年団／レスリング／ラグビー／合気道／
ボウリング／弓道／トライアスロン／ヨガ／ボールルームダンス／なぎなた／ゲートボール／
アーチェリー／インディアカ／太極拳／フォークダンス／ゴルフ／グラウンドゴルフ

高槻市スポーツ団体協議会

所在地 高槻市野見町2-33

TEL 072-673-7140

創 立
加盟団体数
役員名

平成 25 年 4 月 1 日

30 団体

会 員 数

約 30,000 名

会 長 乾 博 副 会 長 合 田 睦 枝 副 会 長 中 川 巖 祐
副 会 長 野 村 政 彦 常 任 理 事 柳 瀬 高 廣

沿 革

高槻市スポーツ団体協議会は、平成 25 年 4 月 1 日に、高槻市内の各種スポーツ団体 30 団体が参加して結成された。

高槻市においては、昭和 25 年に 6 団体からなる高槻市体育連盟が発足、53 年に財団法人高槻市体育協会となった。その間、参加団体は 25 団体にまで増え、同協会はそれらの自主的な統括組織として積極的な活動を展開してきた。長年、高槻市民のスポーツ振興や健康づくりに大きな役割を果たしてきた同協会であったが、諸般の事情により、平成 22 年 8 月に解散することとなった。

その後も、それぞれのスポーツ団体は、個別に市と連携しながら意欲的に活動していたが、平成 23 年にスポーツ基本法が施行されたことによりスポーツの新たな時代を迎えることとなり、市民が幸福で豊かな生活を営む上でスポーツが果たす役割の重要性がより高まっていた。そのような状況の中で、市民のスポーツ振興を更に発展させるため、スポーツレクリエーション団体も含めた全 30 団体が一致団結して、本協議会の設立に至ったところである。

本協議会の事業としては、加盟団体が主催する大会や教室の開催のほか、市民スポーツ祭、クロスカントリー大会、小学生を対象としたスポーツ体験教室などの大規模な事業を展開している。

今後も、生涯スポーツの普及及び競技力の向上を図り、もって、市民のスポーツ振興に寄与することを目的として、加盟団体相互の連携と協調の下、継続的な活動に真摯に取り組んでいく。



小学生を対象とした合同スポーツ体験教室

種目別加盟団体

合気道／居合道／インディアカ／空手道／弓道／グラウンドゴルフ／剣道／ゲートボール／
ゴルフ／サッカー／少林寺拳法／柔道／水泳／スキー／スポーツ少年団／ソフトテニス／
ソフトボール／卓球／テニス／トランポリン／日本拳法／バスケットボール／バドミントン／
バレーボール／ペタンク／野球／ラグビーフットボール／陸上競技／レスリング／
スポーツレクリエーション

NPO法人 茨木市体育協会

所在地 茨木市小川町2-1

(茨木市立市民体育館内)

TEL 072-621-8202

創 立

昭和26年4月1日

加盟団体数

32 団体

会 員 数

32,000 名

役 員 数

会 長	羽東 孝	副 会 長	長田 佳久	副 会 長	岡崎 守夫
理 事 長	高尾 末男	副 理 事 長	森脇 護	副 理 事 長	笹川 隆司
副 理 事 長	田村 真克	事 務 局 長	木村 修		

沿 革

茨木市体育協会は、昭和23年(1948)の茨木市制施行後、昭和26年(1951)に軟式野球・バレーボール・ソフトテニス・卓球の4団体で茨木市体育連盟が結成され、昭和39年(1964)バドミントン連盟が新たに加盟して、茨木市体育協会と名称を変更して歴史が始まった。

当初は都市対抗への出場が中心であったが、昭和42年(1967)に、体育協会加盟5団体が参加して、第1回茨木市体育協会杯争奪総合体育大会・総合開会式を中央公園で開催しました。

茨木市制施行20周年の昭和43年(1968)に、若園運動広場・中条市民プール開設。30周年には、茨木市民体育館が開設され、体育施設の拡充に伴い、各スポーツの組織化も進み、新しい段階に入り「スポーツでつくろう、私達の健康と連帯」を全市民的な目標とし、行政・協会が一体となってスポーツ振興に努力した結果、現在では32団体、3万人をこす協会へと成長した。

平成9年(1997)の国体では、水球・ソフトボール・レスリングの3種目を開催した。

一方、スポーツを通じた国際交流にも努力し、

アメリカのミネアポリス、中国の安慶、香川県内海町とも交流し、国際親善の面でも寄与してきた。

平成19年(2007)に、体育協会の活動基盤の確立を図るため、NPO法人を取得した。

平成22年(2010)には、茨木市体育協会創立60周年を記念して、市民体育館及び中央グラウンドで、市民向け各種競技の体験教室等を開催し、記念式典開催と記念誌を作成した。

平成28年(2016)は、NPO法人取得して10周年と第50回茨木市体育協会杯争奪総合体育大会・総合開会式を迎える記念すべき年であります。



祝賀会でのバトントワリング協会の演技

種目別加盟団体

野球／バレーボール／ソフトテニス／卓球／バドミントン／ソフトボール／水泳／サッカー／陸上競技／バスケットボール／テニス／剣道／空手／ラグビー／柔道／少林寺拳法／日本拳法／居合道／合気道／弓道／ゲートボール／ハイキング／相撲／レスリング／グランドゴルフ／なぎなた／インディアカ／ゴルフ／ウオークラリー／バトントワリング／ソフトバレーボール／スポーツ少年団(24団)

摂津市体育協会

所在地 摂津市三島一丁目1番1号
摂津市文化スポーツ課内
TEL 06-6383-1111

創 立 昭和44年4月1日

加盟団体数 18団体

会 員 数 約4,500名

役 員 名

会 長 久間 秀一 副会長 木村 竜一 副会長 前田 千明 副会長 小田 美佐子

沿 革

昭和44年3月、摂津市が誕生してまだ約2年6ヶ月。生まれたばかりのまさに「これからのまちづくり」に懸命になっていた時期、市民のスポーツ活動の中核となるべき組織づくりの必要性に迫られていた。当時市に登録されていた4連盟1,500人で、各連盟の役員総意で新しいまち、摂津市にふさわしい体育協会が発足した。翌昭和45年10月に「第1回摂津市体育協会杯争奪総合体育大会」開催の運びとなり、同大会は年々盛況のうちに行われている。また、協会は現在18連盟、加盟者は4,500名と10年前から若干縮小したものの活発に活動している。

現在の事業としては、毎年5月には市長杯総合スポーツ大会、10月には体育協会杯総合体育大会を行い、各連盟独自事業として連盟杯等の大会を行っている。また、大

会とは別に底辺の拡大を図るため、各連盟が独自にスポーツ教室を行っており、スポーツ愛好者が気軽にスポーツを楽しむことができるよう努力している。その他にもスポーツ文化の発展のため、プロスポーツチームと連携しスポーツ教室を開催するなど、スポーツ人口の拡大に努めている。



第49回摂津市長杯総合スポーツ大会開会式

種目別加盟団体

軟式野球／ソフトボール／男子バレーボール／女子バレーボール／ソフトテニス／テニス／卓球／バドミントン／サッカー／バスケットボール／空手道／少林寺拳法／水泳／陸上競技／日本拳法／グラウンドゴルフ／ゴルフ／還暦野球

特定非営利活動法人島本町体育協会

所在地 三島郡島本町広瀬3-5-13(やなぎや内)

連絡先 三島郡島本町桜井2-11-22

(町立体育館内)

TEL 075-962-1331

創 立 昭和46年3月27日

加盟団体数 15団体

会 員 数 約2,000名

役 員 名

会 長 蛭原 映二 副会長 藤目 政宏 副会長 中越 康夫
理 事 長 大杉 堅一 副理事長 松原 美代賀

沿 革

島本町体育協会は、元々、野球、卓球、バレーボール、軟式庭球等の同好会的な組織を統合して昭和36年6月、体育連盟が設立された。町行政より指導並びに補助金を受けて運営されていた当時は、社会福祉的要素の強い団体であったが、社会体育のさらなる向上を目指すために発展的に改組し、昭和46年3月、体育協会として発足した。町民のだれもが気軽にスポーツを楽しめるよう、門戸を広げてきた結果、発足当時の加盟団体は6連盟でしたが、現在では15団体となっている。

加盟団体の競技以外にも、スポーツ祭やスポーツレクリエーション祭といった町のスポーツイベント、また夏祭りや文化祭そして福祉大会といった催事にも積極的に参画している。

平成17年11月には、特定非営利活動(NPO)法人の認証を得、18年4月より町内各スポーツ施設の管理業務や各種スポーツ教室を町教育委員会より委託されている。

法人化した意義を見いだすために、平成18年にはDOスポーツ実行委員会を立ち上げ、町民から

の協賛金を受け児童対象のドッジボール大会を翌平成19年11月に開催した。以後、ドッジボール大会を続けていたが、より多くの方に参加していただくために、平成22年よりマラソン大会を実施している。平成26年に開催された節目の第5回大会では、申込者が1,200名を超え、スタッフや応援者を含めると約2,000名が参加するという町を代表するイベントとなった。今後も町民のさまざまなニーズに積極的にこたえ、町民だれもがスポーツを親しめるまちづくりをめざしていきたい。



多くのランナーでにぎわうしまもとミニマラソン大会

種目別加盟団体

野球／バレーボール／卓球／ソフトテニス／ソフトボール／テニス／バドミントン／剣道／
空手道／スリータッチボール／ダブルダッチ／ゴルフ／陸上競技／スポーツ少年団

守口市体育連盟

所在地 守口市大日東町 43-9

TEL 06-6907-3377

FAX 06-6907-3300

創 立

昭和 42 年 2 月 16 日

加盟団体数

19 団体

会 員 数

約 3,500 名

役 員 名

会 長 西田 薫

副 会 長 森田 憲一

理 事 長 浦垣 正

副 会 長 山下 雅章

副 会 長 百々 和宏

沿 革

1966 年に当時の守口市体育協会と守口市レクリエーション連合とが合併して、守口市体育連盟が設立されました。変遷を経て 51 周年となります。

そして現在、当連盟では約 3,500 名の会員、19 の競技団体で構成されています。

その多くの競技団体が生涯スポーツの地位を確立し、市域における健康増進に大きく寄与出来ているものと確信しています。

また最近では地域社会が殺伐としていく中、スポーツを通じ、市域・地域の交流促進や、それぞれの大会を通じ、自治体の枠を超え、活発な友好関係の構築にも積極的に取り組んでいるところであります。

合わせて、子ども達の学力テストの結果を分析しますと、運動能力の高い子ども達は学力も高いとの調査結果が出ており、子ども達に体育・スポーツに携わる機会を作る事で、学力アップにもつながっていくとの思いからも幅広く活動しようと考えています。

また、2020 年には東京でオリンピック・パラリンピックも開催される事が決定致しました。

将来的には当連盟からもオリンピック選手を輩出する事も大きな目標としてこれからも取り組んで参る所存です。

スポーツ・体育の大切さ、体を動かす事の重要性を伝え広めていく事に引き続きつとめて参ります。



第 65 回 守口市総合体育大会開会式

種目別加盟団体

陸上競技／軟式野球／バレーボール／ソフトテニス／卓球／柔道／剣道／ソフトボール／テニス／
バドミントン／少林寺拳法／インディアカ／クレール射撃／ウェイトリフティング／グラウンドゴルフ／太極拳／
サッカー／相撲／トランポリン

公益財団法人 枚方体育協会

所在地 枚方市渚西3-26-10
枚方市立渚市民体育館内
TEL 072-898-8181

創 立

昭和49年6月27日

加盟団体数

27団体

会 員 数

約 15,000名

役 員 名

会 長 西邨 定実 理 事 長 平井 清康 副 会 長 奥野 彦文
副 会 長 服部 寛治 副 会 長 宮本 弘

沿 革

枚方体育協会は、戦後間もない昭和22年、陸上競技・軟式野球・軟式庭球・卓球の4団体で“市民のためにスポーツを”というテーマで枚方市体育協会として設立。以来スポーツ人口も年々増加し、加盟団体も増え、より強固な組織の充実がさげられていた折、昭和45年に枚方市野外活動センターが開設され、枚方市より施設の管理、運営を受託することとなった。その後、王仁公園プールをはじめとする市内スポーツ施設が整備され、受託内容も大幅に増大し、枚方市、北大阪商工会議所の賛同を得るとともに大阪府教育委員会をはじめ関係機関のご理解とご指導をいただき、昭和49年6月に財団法人となり、平成22年7月に公益財団法人の認定を受けた。

法人設立当時、加盟団体は14団体であったが、市民のスポーツニーズが高まり年々種目も多様化する中で、法人設立42年が経過した現在は、27団体、約15,000名余りの登録者を擁する協会へと成長した。

その間、枚方市立総合スポーツセンター等、市

内の主要なスポーツ施設の管理運営をはじめ、春季・秋季総合体育大会等のスポーツ振興事業を枚方市から受託してきた。

また、「新春走ろうかい」-ひらかたハーフマラソン-をはじめ、総合型地域スポーツクラブである「ひらかたキングフィッシャーズスポーツクラブ」を平成16年に設立・運営や、健康スポーツ事業など各種主催事業を実施している。

この様な活動を通じて市民が気軽に生涯スポーツを楽しむことができる環境を提供し、スポーツ振興に寄与している。



新春走ろうかい-ひらかたハーフマラソン-

種目別加盟団体

陸上競技／軟式野球／ソフトテニス／卓球／柔道／バレーボール／スキー／野外活動／市民拳法／剣道／サッカー／水泳／ラグビー／テニス／少林寺拳法／ソフトボール／空手道／バドミントン／相撲／バスケットボール／カヌー／ゲートボール／弓道／スポーツチャンバラ／グラウンド・ゴルフ／ドッジボール／ソフトバレーボール

NPO法人寝屋川市スポーツ振興連盟

所在地 寝屋川市下木田町 16 番地 16 号

TEL 072-824-5858

創 立

昭和 34 年 4 月 1 日

加盟団体数

25 団体

会 員 数

約 10,000 名

役 員 名

会 長 谷川 義文 副会長 井上 徹 副会長 北野 義正
副会長 磯部 光三 理事長 池田 隆司 会 計 小野 雅代

沿 革

昭和 26 年、寝屋川市体育連盟は、市政施行と時を同じくして、大阪郡市体育連合に加盟、その第一歩を踏み出した。その年第 1 回市民体育祭を開催し、市民スポーツの振興が始まる。翌年市民の手で寝屋川市体育協会が設立され、34 年には名称も寝屋川市体育連盟に改めた。その後、平成 19 年に NPO 法人寝屋川市スポーツ振興連盟と組織を強化し発足した。この間に新たに 2 団体（ソフトバレーボール連盟・池の里クラブ）が加盟し、1 団体（スキー協会）が脱退し、現在 25 団体に至っている。

法人資格を取得するとともに、平成 20 年から市民体育館の指定管理者として市民体育館の管理・運営にあたっている。市民体育館において、寝屋川チャレンジ Cup や市民ハイキングなど市民対象の主催事業や市民ニーズに応える教室を開催するなど、市民のスポーツ振興に努めている。また、毎年 10 月にスポーツ振興連盟が中心となりエンジョイフェスタを開催したり、寝

屋川ハーフマラソンに 300 名以上の協力役員を派遣するなど市の行事に寄与している。

今後とも、市民体育大会 22 競技大会、各団体競技会・体育館杯等の開催を通じ競技スポーツの楽しさ、スポーツ技術の向上をはかるとともに市民スポーツ人口の拡大を目指している。さらに協会・連盟員を含む全ての人達の鋭意と意欲によって優秀選手の育成に努め、共に社会スポーツの発展に努めていく。



' 15 寝屋川チャンピオン Cup 兼体育館まつり

種目別加盟団体

軟式野球／ソフトボール／バドミントン／卓球／バレーボール／インディアカ／陸上競技／ソフトテニス／テニス／野外活動／剣道／柔道／空手道／少林寺拳法／民踊／ラグビーフットボール／サッカー／ゲートボール／グラウンド・ゴルフ／レスリング／バウンドテニス／バスケットボール／スポーツ少年団／ソフトバレーボール／池の里クラブ

大東市体育協会

所在地 大東市寺川1丁目20-20

TEL 072-871-9376

創 立 昭和41年10月5日

加盟団体数 17団体

会 員 数 約 4,144 名

役 員 名

会 長 秋山 悦子 副会長 辻岡 博 副会長 長瀬 敏雄 理事長 柿木 敬志

沿 革

大東市体育協会は、大東市民および地域のスポーツ振興を目指し、昭和41年10月に6連盟で発足しました。

今日まで、多少の競技団体の入れ替わりはありましたが、順調に加盟数を増やし、17団体を擁するまでに成長をしてきました。

昭和54年10月に市民待望の市民体育館が寺川に完成し、それと同時に市民のスポーツに対する関心が高まり、多くに市民が各種スポーツ競技に参加するようになりました。

平成8年には、市が国民体育大会バドミントン競技の会場となったことから、同体育館の大規模改修が行われ、これを契機に一段と市民のスポーツへの関心、取り組みが高まってまいりました。

この間、各連盟はそれぞれの競技種目の充実をはかることにより競技レベルを格段に飛躍してきました。同時に、それぞれの連盟が互いに連携を行い、スポーツ技術の向上、また青少年の健全育成など幅広く市民の福祉向上に貢献しております。

協会の主な事業は、市の受託事業として市民体

育大会、スポーツカーニバル、各種大会への選手派遣や連盟によるスポーツ教室の実施など市民スポーツの普及・推進に努めています。

協会は、本年50周年を迎えることから、記念式典を始め市との連携によるスポーツ教室の招致や実施など、数々のスポーツイベントを計画し、実施することになり、これを契機として一段と市民へのスポーツ啓発に努め、生涯スポーツのまちづくりを推進してまいります。



第61回市民体育大会総合開会式

種目別加盟団体

剣道／山岳／柔道／軟式野球／空手道／卓球／バレーボール／バドミントン／相撲／ソフトボール／ソフトテニス／テニス／ゲートボール／バスケットボール／グラウンド・ゴルフ／ソフトバレーボール／カローリング

門真市体育協会

所在地 枚方市香里ヶ丘 8-11-26

TEL 072-380-1048

創 立 昭和 23 年 4 月 1 日

加盟団体数 14 団体

会 員 数 約 4,000 名

役 員 名

会 長 岡本 富男 副会長 土屋 勝重 副会長 植田 一哉 理事長 岡田 正夫

沿 革

協会の結成当時は、スポーツ愛好者が集い種々の行事を実施していた。昭和 38 年に市制施行と同時に軟式野球・剣道・陸上競技の各連盟が発足し、昭和 39 年には協会主催で第 1 回市民体育祭が開催された。昭和 42 年には各種目連盟を統轄し、組織の改組を行い市民スポーツの技術向上と体位の向上を図る。昭和 61 年 3 月より一層の充実・向上を図るために規約の全面改正を行い、13 競技種目連盟傘下のもとに市民の体育、スポーツ活動を振興して、市民の体位体力の向上と親睦を図る。創立 30 周年記念「春一番」門真ハーフマラソン

(淀川河川敷公園周回コース)は市民の要望により協会主催事業として引き継がれたが、平成 20 年 15 回をもって終了した。平成 25 年には創立 50 周年記念第 50 回市民総合体育大会開会式と 50 周年記念式典を開催。また、第 50 回をもって長年親しまれてきた市民総合体育大会を終了し、平成 26 年より門真市体育協会総合競技大会を通年で開催している。最近では少子高齢化の影響などで会員数の減少傾向が認められるが、時代のニーズを踏まえた大会などを実施し市民の健康増進、青少年の健全育成に寄与していきたい。



門真市体育協会創立 50 周年記念式典 (H26. 3. 2)

種目別加盟団体

軟式野球／卓球／バレーボール／剣道／空手道／ソフトテニス／柔道／バドミントン／ソフトボール／サッカー／ゲートボール／インディアカ／グラウンドゴルフ／相撲

特定非営利活動法人四條畷市体育協会

所在地 四條畷市北出町3番1号
市民活動センター内
TEL 072-862-0651

創 立

平成 17 年 3 月 23 日

加盟団体数

17 団体

会 員 数

約 3,500 名

役 員 名

会 長	小寺 勝	副 会 長	木谷 誠一	副 会 長	橋本 修一
理 事 長	西山 稔	副 理 事 長	宮野 次夫		

沿 革

昭和 51 年に組織活動を効果的に進めるため、組織機構の改革と強化を図り、規約等を再検討し、体育協会が発足しました。

平成 17 年に体育協会創立 30 周年（四條畷市市制 35 年）を機に「特定非営利活動法人四條畷市体育協会」を設立しました。

市民のスポーツに対する多様なニーズに応え誰もが気楽にスポーツに親しめ、健康で活力ある充実した生活が送れるよう、場所の提供・指導者の育成・競技力の向上を図っています。

体育協会加盟各団体の活動の充実はもとより、市主催の行事に動員協力することで、体育協会の存在をアピールしています。昨年からは始めた「四條畷市マラソン大会」では、多くの協力員を体育協会から動員しました。平成 27 年度は、市制施行 45 周年で、多くのイベントが開催されましたが、第 2 回のマラソン大会は他市からも多くのランナーの参加で、大きなトラブルもなく、盛大に開催できました。

他に、「四條畷市総合公園人工芝運動場」がオープンし、2月 28 日に多くのゲストを迎えサッカー教室が開催され、たくさんの子どもたちが参加しました。

平成 27 年には、スポーツカーニバルを

実施し、だれでも競技に参加できる、カローリング・スポーツ吹矢・バドミントンのほか、ニュースポーツで汗を流していただきました。

今後も、行政と協働でスポーツを通じて、青少年の健全育成、市民の健康増進と生きがいづくりのための活動、スポーツに親しむことができるように市民に対して場所や情報の提供を関係機関と連携し活動を継続していきます。

また、市内スポーツ 3 団体（スポーツ推進委員会、体育振興協議会、体育協会）で、61 回続けてきた市民体育祭に協力し、市民の交流・親睦の場を、提供しています。

一方、北河内体育振興会との交流にも積極的に取り組み、各競技に選手を派遣するなど、スポーツ振興に貢献しています。



種目別加盟団体

剣道／軟式野球／卓球／バレーボール／ソフトボール／バドミントン／ソフトテニス／
空手道／ゲートボール／バスケットボール／サッカー／インディアカ／テニス／
グラウンドゴルフ／太極拳／スポーツ吹矢／ゴルフ

交野市体育協会

所在地 交野市私部2丁目29番1号
交野市立青年の家 内
TEL 072-892-7721

創 立 昭和48年5月19日

加盟団体数 26 団体

会 員 数 約 8,500 名

役 員 名

会 長 横尾 一彦 副会長 原 毅 副会長 増田 三郎
理事長 魚住 之宏 副理事長 和田 節代 副理事長 田中 英男

沿 革

現在人口約 78,000 人の交野市は「自然と人間の調和のあるまちづくり」を標榜して市政を推進しています。交野市体育協会はこのまちにスポーツ文化を広めることを目的に、昭和 48 年 5 月に加盟 7 団体、会員数 500 人足らずで設立しました。近年少子高齢社会の傾向が窺える中でも、現在加盟 26 団体、8,500 人を有する団体へと成長しました。

交野市体育協会は、交野市教育委員会生涯学習推進部社会教育課及び一般財団法人交野市体育文化協会と緊密な連携のもとに、各種スポーツ行事や施設利用の調整を行い、スポーツ事業の振興に努力しています。

交野市体育協会は創立以来スポーツイベント行事にも積極的に参画してまいりました。平成 9 年には大阪なみはや国体（少年男子ソフトボール競技、山岳登攀競技）、平成 18 年には（インターハイ女子ソフトボール全国大会）、平成 25 年にはインカレ女子ソフトボー

ル全国大会等を開催してまいりました。また平成 24 年よりは元阪神タイガースの赤星憲広氏とコラボし、第 1 回リング・オブ・レッド交野市チャリティーマラソン大会を開催し、本年で第 5 回目を迎えた処であります。

今後もスポーツリーダーの養成、サークル活動、スポーツ大会の支援、スポーツイベントの開催を促進し、市民の皆様の健康増進、青少年の健全育成に努める処であります。



リング・オブ・レッド交野市チャリティーマラソン

種目別加盟団体

軟式野球／バレーボール／剣道／少林寺拳法／バドミントン／サッカー／卓球／テニス／柔道／空手／ソフトボール／体操／硬式野球／合気道／相撲／インディアカ／ゲートボール／太極拳／弓技／グラウンド・ゴルフ／ラグビー／バウンドテニス／バスケットボール／ソフトテニス／古武道古傳居合術／ゴルフ

東大阪市体育連盟

所在地 東大阪市荒本北一丁目1番1号
東大阪市教育委員会 青少年スポーツ室
TEL 06-4309-3282 FAX 06-4309-3835

創 立

昭和42年2月1日

加盟団体数

19団体

会 員 数

約 20,000名

役 員 名

会 長	藤岡 治男	副 会 長	末藤 進	副 会 長	筒井 正克
副 会 長	木ノ本 忠義	理 事 長	西野 幸子	会 計	大村 伊戸江
専務理事	市口 偕三郎	専務理事	吉金 英明	専務理事	永井 裕章
専務理事	金治 延幸	監 事	西田 昭二	監 事	松澤 ふみ子
事務局長	古本 富也				

沿 革

東大阪市は、大阪府の中央部に位置し、西は大阪市に、南は八尾市に、北は大東市とそれぞれ隣接し、東は生駒山（海拔642.3m）を主峰とする生駒山地で奈良県（生駒市平群町）と境を接している。本市は、昭和42年2月1日に当時の布施市・河内市・枚岡市の3市が合併し、新しく東大阪市として発足した。現在の市域は、61.78km²、人口495,351人、世帯数234,640世帯（平成28年5月31日推計）となり、本市発足と同時に、当体育連盟も体育、スポーツを通じて市民体位の向上とスポーツ精神の啓培に努め明るい豊かな生活づくりに寄与することを目的として三市の体育団体が統合され発足した。現在19団体、会員も2万有余名を数え年々その活動についてもバドミントン・サッカー・ソフトボールの各競技をはじめ他の種目においても常に優秀な成績をおさめている。

また、平成16年に、花園中央公園に陸上競技施設（トライスタジアム）が、平成18年には野

球場（花園セントラルスタジアム）が完成し、既存の東大阪アリーナ、東体育館を拠点に各種目別大会やイベント事業はもとより、市教育委員会が実施する各種のスポーツ事業にも協力し、市民スポーツの普及・振興と健康体力の保持増進を図ることに貢献している。

東大阪市体育連盟は平成29年2月1日をもって創設50周年を迎える。



平成27年度東大阪市体育連盟研修会

種目別加盟団体

陸上競技／軟式野球／ソフトテニス／卓球／剣道／柔道／空手道／少林寺拳法／水泳／相撲／バドミントン／バスケットボール／ソフトボール／バレーボール／サッカー／テニス／なぎなた／リズム体操／ラグビーフットボール

八尾市体育連盟

所在地 八尾市本町1丁目1番1号

八尾市教育委員会教育総務部生涯学習スポーツ課内

TEL 072-924-3875

創 立

昭和30年4月1日

加盟団体数

28 団体

会 員 数

約 15,000 名

役 員 名

会 長	田中 順治	副 会 長	平田 正司	副 会 長	千田 文一
副 会 長	野田 秀樹	副 会 長	佐藤 茂	副 会 長	龍見 泰子
理 事 長	小川 忠昭	副 理 事 長	田村 繁	副 理 事 長	西谷 嘉津枝
会 計	西峯 義人	監 事	小川 幹之	監 事	川崎 徹

沿 革

昭和23年八尾市制発足と同時に、卓球、軟式庭球、軟式野球の各団体を中心となり、八尾市体育同好会が結成され、その後昭和30年に、前記同好会を発展解消し「卓球・軟式庭球・軟式野球・陸上競技・弓道・柔道・ソフトボール・青年会・中学校体育連盟」の9団体により八尾市体育連盟が発足された。連盟発足後は、市教育委員会主催の各種行事に積極的に協力し、本市の社会体育振興の中心的役割を果たしながら発展を続けてきた。

平成3年度からは、市教育委員会より市民体育大会とスポーツ教室事業を委託されている。これらの事業には多くの市民が参加され、本市の生涯スポーツ推進に大きく貢献している。

また、平成17年度には、加盟26協会により

50周年記念行事を盛大に開催するなど、確かな足跡を残してきた。

加盟協会数は、平成27年度末において、28協会となっている。

今後も市民の体力向上とスポーツ精神の啓発を図ることにより、本市において市民スポーツの推進を担う団体として益々の飛躍が期待されている。



平成28年度大阪府総合体育大会出場選手激励会

種目別加盟団体

弓道／柔道／ソフトボール／卓球／ソフトテニス／軟式野球／陸上競技／剣道／サイクリング／
野外活動／バスケットボール／空手道／バレーボール／体操／サッカー／ハンドボール／テニス／
少林寺拳法／バドミントン／合気道／ラグビーフットボール／ゲートボール／綱引／アーチェリー／
日本拳法／トランポリンレクササイズ／ダンス／グラウンド・ゴルフ

特定非営利活動法人柏原市体育協会

所在地 柏原市安堂町9番20号

TEL 072-973-3717

創 立

昭和33年4月

加盟団体数

16団体

会 員 数

約 4,000名

役 員 名

会 長	北井 一男	副会長	福塚 正二	理事長	青木 孝
副理事長	至田 勝亮	会 計	土肥 正美	会計監査	上田 龍男

沿 革

柏原市体育協会は、昭和33年4月に、加盟4競技種目により体育連盟として設立。昭和59年9月に名称を柏原市体育協会と改称結成された。昭和45年には、地域社会体育の普及と振興への功績に対し、文部大臣表彰を受賞した。創立30周年の昭和62年には、これを機に組織改革と強化が図られ、機関紙「体協だより」も充実させ、自主的な組織運営を強化発展させてきた。その後加盟競技種目も増え、現在は16団体で構成され、会員数約4,000名の規模で活動している。

平成22年4月より、特定非営利活動法人と

して再改組し、スポーツ関係団体相互の連携を更に図り、市民がより気軽にスポーツに取り組める環境を整え、健康で明るい社会づくりに寄与すべく活動している。

平成29年度には創立60周年の佳節を迎えようとしている。

この節目をまた新たな契機とし、生涯スポーツの普及・振興に関する事業を推進し、市民の健康増進とスポーツ活動を通して、大きな立場に立って青少年の健全育成や地域社会の活性化を図るべく、更なる活動の強化と発展を期するものである。



平成27年度スポーツフェスティバル in 柏原

種目別加盟団体

軟式野球／バレーボール／剣道／ソフトテニス／ソフトボール／卓球／テニス／サッカー／陸上／バドミントン／空手道／ゲートボール／合気道／ゴルフ／グラウンド・ゴルフ／パークゴルフ

富田林市体育協会

所在地 富田林市常盤町 11 番 18 号

TEL 0721 - 20 - 0390

創 立

昭和 26 年 4 月 1 日

加盟団体数

17 団体

会 員 数

3,200 名

役 員 名

会 長 西野 健 副 会 長 福井 悠二 副 会 長 秦 武紀
副 会 長 笹原 良貞 理 事 長 山田 逸雄

沿 革

昭和 25 年に本市が市制施行され、その翌年の昭和 26 年、当時の大阪郡市対抗体育大会に初参加し、それ以降体育組織の必要性が痛感され、スポーツ愛好家の努力と熱意で、現在の体育協会の前身である市体育連盟が 8 種目の運動部として発足した。

その後、種目別の連盟が結成され、昭和 54 年には加盟団体数が 7 団体となり、各種のスポーツに対するニーズに対応するため、規約改正を行い、市体育連盟を市体育協会と改め、組織の強化が図られた。

平成 13 年には、協会結成 50 周年記念行事を開催するなどスポーツ活動を通じて市民の体力の向上と健全なるスポーツ精神の高揚を図ることを目的とし、スポーツ活動を通じて市民に広く根づいた団体として、現在、17 団体、約 3,200

名を擁する体育協会として活躍している。

一方、種目別の技術の向上や協会組織の充実だけでなく、広く市民のスポーツ・レクリエーション活動の普及に努め、市民体育大会・市民マラソン大会をはじめ、平成 2 年から 22 年は、市内にある 16 の小学校区に地区の委員会を組織し、参加者約 4,600 名、競技出場者が延 7,000 人という、地域住民の手づくりによる 16 小学校区対抗「市民大運動会」の地域の組織づくりをはじめ、平成 24 年から 27 年には、プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦「富田林ドリームフェスティバル」の企画・運営等の中心的な役割を果たし、市民の健康・体力の向上と地域コミュニティ意識の高揚を図り、スポーツ・レクリエーションの普及振興に努めている。



平成 27 年度 第 63 回富田林市民体育大会「開会式」

種目別加盟団体

軟式野球／バレーボール／卓球／ソフトボール／バドミントン／ソフトテニス／テニス
ゲートボール／空手道／バスケットボール／合気道／トランポリン／柔道／サッカー
ラグビーフットボール／日本拳法／ゴルフ

特定非営利活動法人河内長野市総合スポーツ振興会

所在地 河内長野市大師町 25- 1

河内長野市立市民総合体育館

1 階事務室内

TEL 0721-62-8011

創 立 平成 19 年 4 月 1 日

加盟団体数 28 団体

会 員 数 約 6,500 名

役 員 名

理 事 長	吉 田 稔	副理事長	牧田久美子	副理事長	村 上 和定	常務理事	河野智登美
常務理事	島 田 忠	常務理事	田 井 達郎	常務理事	堤 裕 司	常務理事	山 室 義康
常務理事	吉 竹 英行	監 事	福 光 敏紀	監 事	西 端 一泰	相 談 役	高 橋 典治
顧 問	石 倉 保彦 (医師)			顧 問	北 岡 満 (弁護士)		

沿 革

本会は、自主的に総合スポーツ振興事業を展開するため、「競技スポーツ」と誰でもいつでも親しめる「生涯スポーツ」とを融合させた有機的な活動と、医学・栄養学が三位一体となった総合的なスポーツ組織として、従来個別に活動していた河内長野市体育協会（昭和 32 年設立）と河内長野市スポーツ・レクリエーション協会（平成元年設立）が一つとなり平成 19 年 4 月 1 日に河内長野市総合スポーツ振興会として設立し、平成 21 年 4 月 1 日に法人格も取得した。

本会は主体的な総合的スポーツ振興事業を展開する目的で、以下の項目を主事業としている。

- 1、市民の健康体力づくりを推進する。
- 2、スポーツ普及、振興と技能向上を図る。
- 3、スポーツ活動の安全性を高める支援、啓蒙活動をする。
- 4、行政等のスポーツ活動及び健康推進事業を受託する。等

主な事業として、市民スポーツ大会、大阪府総合体育大会選手派遣、各種講習会（指導者講習会、救急救命講習会等）、「健康の日」記念事業、小学生ロープジャンプ大会、講師派遣事業、介護予防推進事業など、老若男女が活発に活躍できる事業を展開している。



市制施行 60 周年記念事業

第 7 回河内長野市市民スポーツ大会総合開会式

種目別加盟団体

合気道／居合道／インディアカ／空手道／グラウンド・ゴルフ／軽スポーツ／ゲートボール／健康スポーツ／剣道／サッカー／柔道／少年軟式野球／少年野球団／少林寺拳法／水泳／スポーツ少年団／スポンジテニス／ソフトテニス／ソフトボール／卓球／テニス／軟式野球／バスケットボール／バドミントン／バトントワーリング／バレーボール／ペタンク／陸上競技

松原市体育協会

所在地 松原市田井城3丁目1番37号
松原市民体育館内
TEL 072-330-8370

設 立 昭和30年4月1日

加盟団体数 21団体

会 員 数 6,000人

役 員 名

会 長 平井 文徳 副会長 松岡 博隆 副会長 倉石 富夫

沿 革

昭和30年4月に野球部、卓球部、陸上部の発足により松原市体育連盟を設立。昭和31年4月に卓球連盟、同年7月に野球連盟、昭和33年4月にバレーボール連盟、同年7月に軟式庭球連盟、昭和35年1月に野外活動連盟、昭和37年4月にソフトボール連盟などが結成され、より充実を図るため、昭和38年4月に松原市体育協会と改称し同年第一回市民体育大会を開催するとともに、昭和42年2月に第一回市民歩こう大会を実施し、翌年以降は体育の日の記念事業の一環として同歩こう大会を秋に継続実施している。平成11年度には硬式テニス連盟を設立、また平成16年度からボ

ウリング連盟が加わり、現在21連盟・協会を傘下として本協会を運営。主な活動は、市の委託事業である市民総合体育大会と各種目スポーツ教室の企画運営、また、各連盟・協会自主事業としての大会及び練習会等の実施とともに市事業として松原マラソン大会、美化キャンペーン、大和側クリーン作戦等への協力参加や毎年秋に協会にて医師等の講演者を招いての安全講習会の実施などがあげられる。平成19年4月から第五代会長として平井文徳氏が就任し、6名の役員と42名の理事により本部運営を総括し、市民スポーツの更なる普及・発展に向け、鋭意取り組んでいる。



平成28年度 松原市民総合体育大会開会式【4月3日(日) 松原市民体育館】

種目別加盟団体

バレーボール/バドミントン/バスケットボール/卓球/ペタンク/ソフトテニス/軟式野球/柔道/剣道/空手道/ソフトボール/サッカー/なぎなた/硬式テニス/ゲートボール/グラウンド・ゴルフ/体操/オリエンテーリング/野外活動/スキー/ボウリング

羽曳野市体育協会

所在地 羽曳野市誉田4丁目1番1号

TEL 072-958-1111

創 立

昭和34年4月1日

加盟団体数

15 団体

会 員 数

約 4,000 名

役 員 名

会 長 狭間 美智雄

副 会 長 村山 孝美

副 会 長 葉山 昌男

沿 革

羽曳野市体育協会は、昭和34年に市制と同時に羽曳野市体育連盟として発足した。

当時、8つの団体と体育関係者が中心となり、スポーツ推進委員の協力のもとで作られた体育連盟は、市教育委員会と共催で各種大会・講習会・教室等を開催し、スポーツ振興に数多くの功績をおさめた。昭和33年より行われていた市民マラソン大会に併せて、昭和44年には、市民体育祭を開催、この2つは、年間の行事の柱として、現在も盛大に行われている。

昭和50年3月、市民体育館が完成し、同年4月社会体育課が誕生したことを鏡として、行事スポーツから日常的スポーツの普及への転換をはかり、テニス・卓球・バドミントン等の教室を開催し、グループ団体育成に努めた。

昭和51年に体育連盟から体育協会に名称を改名し、スポーツの普及及び団体の育成を図り、現在は、平成9年10月に竣工した総合スポーツセンター（はびきのコロセアム）や平成28年4月に竣工した中央スポーツ公園をスポーツの拠点としている。今後は市、教育委員会、スポーツ推進委員、

スポーツ少年団など各種団体とも連携して、競技スポーツ・レクリエーションスポーツを通じ、生涯スポーツの発展及び普及を図り、市民の健康づくり・体力づくりに努めている。

今後、各団体の自主的な活動がよりいっそう活発になり、市民のスポーツ全般に関心を持てるよう努めていく。



第47回市民体育祭

種目別加盟団体

軟式野球／ソフトボール／バドミントン／卓球／ソフトテニス／テニス／剣道／バレーボール／柔道／体操／陸上／サッカー／空手道／ウエイトリフティング／バスケットボール

藤井寺市体育協会

所在地 藤井寺市大井 1 丁目 2-20
藤井寺市立市民総合体育館内
TEL 0729-39-1141

創 立

昭和 55 年 4 月 1 日

加盟団体数

16 団体

会 員 数

約 3,600 名

役 員 名

会 長 仲矢 達 副会長 宮平 正道 副会長 楠本 多ミ子

沿 革

当協会も 3 年後の平成 31 年には、創立 40 周年を迎えることとなりました。

設立当時の加盟団体代表者も、ほとんど世代交代されました。

体育協会事業にも変化がみられ、市民運動会と市民マラソン大会が中止されました。

その後、市民の強い要望もあり、平成 26 年から内容を変更し、市民スポーツフェスティバル実行委員会主催により、市民マラソン大会が復活開催され、当協会におきましてもその企画運営に携わってまいりました。

平成 23 年より、厚生労働省が推進している「スマート・ライフ・プロジェクト」と時を同じくして、当協会事業の一環で「健康路線」をメインテーマとし、健康に関してのあらゆる角度からの啓発運動を展開してまいりました。

また、少子化、高齢化の進む中、この 10 年の間に会員の動向にも変化が表れてまい

りました。若年層の加盟数が伸び悩み、一つの団体が当協会からの脱退を余儀なくされ、他の団体でも会員数の減少、チーム数の減少等が深刻化してまいりました。

そんな中、健康寿命の伸びが反映し、元気な高齢者の活躍が目立つようになってまいりました。

今後の活動内容の一つとして、シニア世代の充実が課題となってきております。

今後ともスポーツの楽しさや、心身の健康のためのスポーツ普及の啓発運動を展開し、地域社会に貢献していきたいと願っております。



体育協会友好フロッカー大会

種目別加盟団体

サッカー／軟式野球／卓球／バドミントン／女子キックベースボール／ソフトボール／少年軟式野球／少年硬式野球／婦人体操／剣道薙刀／バレーボール／ゲートボール／テニス／ソフトテニス／グラウンドゴルフ／ウエイトトレーニング

大阪狭山市体育協会

所在地 大阪狭山市池之原 4 丁目 248
市立総合体育館内
TEL 072-365-5250

創 立

昭和 32 年 4 月 1 日

加盟団体数

20 団体

会 員 数

約 3,500 名

役 員 名

会 長 田畑 直次 副 会 長 高橋 和也 会 計 中絵図 明子
総 務 黒田 美佳 総 務 安藤 瞳

沿 革

大阪狭山市体育協会が設立されて、来年で 60 年を迎えます。市民が健康で文化的な生活を営むうえで、スポーツの果たす役割はととも重要です。加盟団体と相互の連携・調整を図り、市民にスポーツに親しむ機会を提供し、生涯スポーツ社会をめざしています。

現在、体育協会は、20 の加盟団体により構成されています。体育協会としての主な活動としましては、春に行われます「大阪狭山市民体育大会（市長杯大会）」の開会式、秋に行われます「市民体力測定」の実施、また、大阪狭山市教育委員会が主催で冬に行われます「市民マラソン大会」の協力など、年間を通して季節ごとに大きな事業があります。その合間に加盟団体では、市長杯大会、各団体主催の大会、サタデースポーツ、スポーツ体験教室の実施運営など、様々な活動形態、活動内容により取り組みを進めています。

大阪狭山市体育協会では、選手の育成と切り離して「いつでも」「どこでも」「だれでも」が気軽にできる生涯スポーツの振興をめざして行政と一体となって事業を推進していく所存でおります。



毎年恒例の「市民体育大会」総合開会式の模様

種目別加盟団体

軟式野球／卓球／ソフトボール／バレーボール／少年柔道／サッカー／少林寺拳法／テニス／バドミントン／ソフトテニス／剣道／少年野球／空手／バトントワリング／ゲートボール／バスケットボール／太極拳／インディアカ／グラウンド・ゴルフ／トランポリン

太子町体育連盟

所在地 大阪府南河内郡太子町大字山田 88 番地
太子町教育委員会事務局内
TEL 0721-98-5534

創 立

昭和 33 年 10 月 1 日

加盟団体数

15 団体

会 員 数

約 400 名

役 員 名

会 長 中谷 満 副会長 松田 浩一 副会長 植木 啓司

沿 革

太子町体育連盟は、昭和 33 年に発足し、59 年の歴史を持つスポーツ振興団体である。様々な側面から住民の健康・体力の保持と、スポーツの推進を図り、豊かな生活を営むために適切なスポーツ・レクリエーションイベントの企画、運営を行っている。

現在の太子町体育連盟は、15 のスポーツ団体と協力し、毎年 5 月・6 月にはこれらのスポーツ団体と高齢者のみのクラブ等も力を合わせ太子町スポーツ大会を盛り上げている。

また、秋に開催される、教育委員会主催のたいしスポーツ Day では教育委員会と連携し、地域のスポーツ人口増加の為に力を注いでいる。

さらに、本体育連盟では、以前よりスポーツクラブに属さない住民に対して様々なイベントを実施している。1 月 1 日の二上山元旦初登りに始まり、新春ジョギング大会、アイススケート教室、夏山登山等となっている。

中でも“二上山元旦初登り”は、本体育連盟の発足当時より行われ、初日の出を見るため、元旦の未明より多くの住民が山頂を目指し、山頂では、その年の干支の絵の焼印の入ったしゃもじを配布したり、抽選会が行われ、住民に親しみ深い行事として賑わいを見せている。



○太子町体育連盟 平成 28 年夏山登山より

種目別加盟団体

ソフトボール／テニス／ソフトテニス／バレーボール／体操（リズム・健康）／卓球／インディアカ／バスケットボール／剣道／ゲートボール／少年野球／ゴルフ

河南町体育協会

所在地 大阪府南河内郡河南町大字寺田 580
河南町立総合体育館内
TEL 0721-93-8866

創 立

昭和 44 年 9 月 6 日

加盟団体数

9 団体

会 員 数

約 900 名

役 員 名

会 長 植田 喜代一 副会長 岡本 勉 副会長 一ノ瀬 有喜子

沿 革

大阪府の東南部に位置する河南町は、面積 25.26 ㎢からなり、人口 16,191 人で、東は葛城山脈が連なり、奈良県御所市と境をなし南は千早赤阪村、西は富田林市、北は太子町に隣接している緑豊かな町である。スポーツの普及発展は、まず施設設備の整備が急務であるとの原点にたつて昭和 37 年より町立運動場をはじめとする社会体育施設の充実がなされた。これが足がかりとなって各種のスポーツ同好会が自主的に作られ、それが発展して町体育連盟結成の原動力となった。主な活動拠点は、平成 6 年 9 月に町立運動場の機能を別敷地に移転、夜間照明施設も備わった本格的な野球場と多目的運動場が整備された町立総合運動場、平成 7 年 9 月には、国体のフェンシング会場ともなった町立総合体育館ぷくぷくドーム、その他、町立テニスコート、町立グラウンド・ゴルフ場などがあり、スポーツ愛好者や勤労者のスポーツ活動の意欲を満たすことができるようになった。

現在は 9 つの連盟（軟式野球・卓球・バレーボール・ソフトボール・スキー・バドミントン・テニス・グラウンドゴルフ・バウンドテニス）からなり、昭和 63 年には体育連盟から体育協会へと名称を改め、会員数約 900 名で組織されている。本協会の特色として、町スポーツ推進委員と体協とが連携を取り合い、協調性をもって大会・講習会・

指導者研修会・各種教室などの企画・実施を行い、気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーションの振興に努めている。自然資源に恵まれている本町には、金剛生駒紀泉国定公園の峰々を縦走する「ダイヤモンドトレール」を活用した登山教室や、学期ごとに 1 回小学生を対象とした「スポーツ広場」を実施している。今後の方針として、本町の将来像「豊かな自然と文化」とともに創る笑顔あふれる元気なまちの実現へむけて地域に根ざした体育活動と子どもから高齢者まで幅広い層にわたる生涯スポーツを取り入れ、町民の体力づくりとスポーツ振興の発展に一層推進することを目標とする。



体育協会研修会

種目別加盟団体

軟式野球／卓球／バレーボール／ソフトボール／スキー／バドミントン／テニス／グラウンド・ゴルフ／バウンドテニス

千早赤阪村体育協会

所在地 大阪府南河内郡千早赤阪村大字東阪 255 番地の 1
千早赤阪村 B & G 海洋センター内
TEL 0721-72-7183

創 立 昭和 60 年 1 月 1 日

加盟団体数 12 団体

会 員 数 約 350 名

役 員 名

会 長 磯谷 範明 副会長 尾谷 行雄 副会長 安尾 健也
会 計 瀬戸 葉子 書 記 中野 義信

沿 革

千早赤阪村は、大阪府南東部の四季の彩りを鮮やかに映し出す金剛山のふもとに位置し、面積約 37 k m²、人口約 5,600 人の大阪府唯一の村である。

本村体育協会は昭和 32 年より千早赤阪村体育連盟として活動してきたが、各種スポーツ団体の活動が活発になり村民の体力向上とアマチュア精神の高揚を図り、スポーツの振興に寄与することを目的として昭和 60 年に千早赤阪村体育協会が設立された。

現在体育協会に加盟しているのは、空手道・ゴルフ・少年サッカー・少年ソフトボール・少林寺拳法・ソフトボール・体操・卓球・テニス・軟式野球・バスケットボール・バレーボールの 12 連盟(クラブ)で、会員数は約 350 名である。

平成 11 年には、体育功労賞を大阪府教育委員会から受賞、平成 17 年には、我が体育協会の地道な活動が国に認められ生涯スポーツ優良団体として文部科学大臣からの表彰を受けた。受賞を機に各連盟の活動も更に活発化の一途を歩むと期待している。

主な行事は、協会主催・後援の種目別大会、村民スポーツフェスティバル等を開催している。

近年ますます複雑・多様化する社会にあって、スポーツの果たす役割や重要性が認識される中、誰もが生涯を通じて、いつでも、どこでも気軽にスポーツに親しみ、健康で明るく活力に満ちた村民生活の実現に向け本村の体育協会は努力していくことが使命だと考えている。



村民スポーツフェスティバル玉入れ競技

種目別加盟団体

ソフトボール／軟式野球／バレーボール／テニス／ゴルフ／卓球／空手道／少林寺拳法／少年サッカー／少年ソフトボール／バスケットボール／体操(リズム体操・3B体操)

堺体育協会

所在地 堺市東区北野田 1077 アミナス北野田 3階
公益財団法人堺市教育スポーツ振興事業団内
TEL 072-294-6111

創 立 昭和 22 年 5 月 3 日

加盟団体数 30 団体

会 員 数 約 42,000 名

役 員 名

会 長 堀畑 好秀 副 会 長 登り山 正嗣 副会長 上野 十次郎

沿 革

堺体育協会は、堺市のスポーツ統括団体として市民を対象とするスポーツ諸団体相互の緊密な協調連絡を図り、スポーツを通じて競技力の向上とスポーツ精神を養うとともに、市民の健康づくりの推進と体力向上に寄与することを目的として昭和 22 年に結成された。

活動内容は、堺市種目別優勝大会（旧市民体育祭）や堺市民マラソンを主催するとともに、市立体育館で実施されているスポーツ教室や、市民のスポーツの祭典として昭和 50 年から毎年開催されている堺市民オリンピックの運営協力など、競技スポーツ・地域スポーツの振興に向けて取り組んできたところである。

本会の組織は、各種目別アマチュアスポーツ団体（正会員）と、本会の主旨に賛同・協力する団体（賛助会員）とで構成されている。

加盟団体は種目団体が 27 団体、スポーツ少年団などの組織団体が 3 団体、併せて 30 団体である。

堺市は平成 18 年 4 月に人口約 83 万人、全国で 15 番目の政令指定都市に移行し、設置された 7 区全てに市民のスポーツ・レクリエーションの拠点として市立体育館が整備された。また（仮

称）原池公園野球場整備事業（平成 31 年度完成予定）や大浜体育館建替（武道館併設）整備事業（平成 32 年度完成予定）など、幅広い市民ニーズに対応した事業展開が進められているところである。

堺体育協会においても、堺市のスポーツ統括団体としてより一層組織内の連携強化を図るとともに、競技・生涯スポーツの普及や指導者の養成など、様々なスポーツの普及振興をめざしている。



平成 27 年堺体育協会新年会

種目別加盟団体

陸上／卓球／ソフトテニス／ソフトボール／柔道／剣道／登山ハイキング／軟式野球／弓道／相撲／バレーボール／サッカー／バスケットボール／体操／ハンドボール／バドミントン／テニス／少林寺拳法／アーチェリー／なぎなた／空手道／太極拳／綱引／ビリヤード／ゲートボール／グラウンド・ゴルフ／ラグビー・フットボール／小学校体育連合／中学校体育連盟／スポーツ少年団

泉大津市体育協会

所在地 泉大津市東雲町9-12

生涯学習課内

TEL 0725-33-1131

創 立

昭和22年4月1日

加盟団体数

19団体

会 員 数

5,000名

役 員 名

会 長 高山 智正 副会長 長井 信太郎 副会長 柴谷 敬博
副会長 鈴木 光子 副会長 川端 正光 理事長 渡辺 一

沿 革

泉大津市体育協会は戦後の荒廃と混乱の真っ只中の昭和22年4月に創立されました。本市においては昭和10年代からスポーツの場が少ない中、草野球チームを始め、陸上競技、相撲等その時代背景を反映したスポーツが盛んになり、戦争で一時中断したものの終戦と共にスポーツ熱が再燃し、体育協会が結成されました。当初は、活動場所の確保に苦労しながら行政・体育協会・所属団体が一体となって社会体育の振興・促進が図られました。その後、経済情勢、生活様式、価値観等の変化に伴い生涯スポーツが叫ばれるようになるとスポーツニーズの多種多様化に対応するため、“市民の健康促進とスポーツ活動の殿堂”として市立総合体育館（昭和59年9月）が開設され、体育協会加盟団体の増加とともに体育協会事業が拡大、充実されました。一方、アウトドアスポーツの市民ニーズに対応するため、大阪府の協力を得て臨海部にサッカー、ソフトボール等のできる多目的広場（平成7）、テニスコート場（平成10年、14年）が整備され、所属連盟の活動の

場が広がりました。現在の体育協会加盟団体は19団体です。

また、体育協会本体の事業、スポーツ傷害等研修会の開催（平成15年度より）、機関紙「体協“泉大津”」の発刊等（平成17年）の事業を実施して組織の強化を図り、併せて主事業である秋季の市民体育祭の開催、大阪府体育連合主催の大阪府総合体育大会や大阪府市町村駅伝への役員、選手の派遣を通して本市の社会体育の振興発展に努力を続けています。



第69回市民体育祭 H27. 11. 8

種目別加盟団体

軟式野球／リトルシニア野球／卓球／フォークダンス／ソフトテニス／野球／空手／柔道／バレーボール／ソフトボール／剣道／サッカー／歩こう会／バスケットボール／バドミントン／ゲートボール／スポーツ少年団／テニス／グラウンドゴルフ

和泉市体育協会

所在地 和泉市府中町二丁目7番5号

和泉市教育委員会生涯学習部スポーツ振興課内

TEL 0725-41-1551

創 立 昭和 32 年 4 月 1 日

加盟団体数 19 団体

役員名

会 長 恵山 文孝 副会長 藤本 正義

会 計 佐倉 康彦 監 査 古井 浩平

会 員 数 10,890 人

副会長 立石 武弘 事務局長 古賀 政隆

監 査 仲野 正

沿 革

昭和 31 年 9 月 1 日、一町六ヶ村の合併により和泉市が誕生した。これを機に個別に活動していたスポーツ団を一つのまとまった組織に統一しようという動きが高まった。翌昭和 32 年 4 月 1 日、和泉市民を対象とする社会体育諸団体の緊密な協調連絡のもとに、正しいスポーツの普及振興を通して、体力の向上と市民相互の親睦を図り、併せてスポーツマンシップを養うことを目的として、和泉市体育連合が結成された。当初は、陸上競技連盟、軟式野球連盟及びバレーボール連盟の 3 団体による組織であったが、その後、軟式庭球連盟（現在ソフトテニス連盟）、バスケットボール連盟が加盟し、体育連合は順調に成長していった。昭和 39 年の東京オリンピックを契機に、全国的にスポーツ熱が高まり、卓球連盟、空手道連盟、柔道連盟、剣道連盟と次々に加盟した。昭和 51 年、待望の市民体育館が竣工し、これを機に各連盟の活動が一躍活気を呈してきた。

引き続き、ソフトボール連盟、バドミントン連盟、スキー連盟があいついで加盟した。昭和 57 年には、地域スポーツの振興と発展に顕著な役割を果たしたことが認められ、社会体育優良団体として文部大臣表彰を受けた。昭和 60 年には、ゲートボール連盟も加盟し、その後、硬式テニス連盟、サッカー連盟、少林寺拳法連盟太極拳連盟が加入し、さらには平成 19 年にグラウンドゴルフ連盟、平成 26 年にインディアカ連盟、キックベースボール連盟が加入し、ここに現在 19 の競技団体の加入を見るに至った。



和泉市体育協会創立 50 周年記念式典

種目別加盟団体

陸上競技／軟式野球／卓球／バレーボール／ソフトボール／ソフトテニス／柔道／空手道／バスケットボール／剣道／バドミントン／ゲートボール／テニス／サッカー／少林寺拳法／太極拳／グラウンドゴルフ／インディアカ／キックベースボール

高石市体育協会

所在地 高石市加茂4丁目1番1号
高石市教育委員会内
TEL 072-265-1001

創 立

昭和23年4月1日

加盟団体数

17団体

会 員 数

約3,500名

役 員 名

会 長 荒木 剛 副会長 権野 功至郎

副会長 小谷 恵美子 理事長 岸田 次郎

沿 革

高石市体育協会は現在17団体が加盟しており、年間90種目の各大会、講習会、教室等の事業が実施され、市民の体力の向上とスポーツ精神の高揚がはかられ年々、内容も充実してきました。

活動の拠点として、平成27年度に運営を開始した市立総合体育館をはじめ、高浜運動施設等においても各連盟の事業を行い、体育協会の自主運営・自主独立を目標にスポーツ団体の育成を図ってきました。今日、ライフスタイルの多様化によ

って、スポーツへの関心はますます高まっており、そのニーズに合わせた生涯スポーツの推進とふれあいの場の提供のため更なる活動を行ってまいりたいと考えています。

また、競技スポーツのみならず高齢者の方々がいつまでも健康で明るい生活が送れるよう、気軽にスポーツを楽しむことができる環境の提供に努め、活動的・積極的なスポーツ活動を展開し、より一層の発展を期してまいります。



第60回高石市民体育大会

種目別加盟団体

剣道／サッカー／庭球／ソフトテニス／バドミントン／ソフトボール／バレーボール／ゲートボール／空手道／柔道／陸上競技／軟式野球／卓球／水泳／キックベースボール／グラウンド・ゴルフ／少林寺拳法

忠岡町体育協会

所在地 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東 1-34-1

TEL 0725-22-1122

創 立

昭和 55 年 4 月 1 日

加盟団体数

14 団体

会 員 数

約 500 名

役 員 名

会 長 麻野 道男

副 会 長 武津 正仁

副 会 長 川口 晃司

沿 革

昭和 55 年 4 月に忠岡町体育協会が結成され、結成当時 12 連盟で、1,513 名であった。その活動の第一歩として、町主催であったスポーツ教室を体育協会主催で行い、現在は 10 団体が健康の増進と技術・体力の向上を図り初心者を対象にスポーツ教室を開設している。また、協会設立を機に競技スポーツから生涯スポーツも取り入れ、こども、女性、高齢者まで幅広い活動の和が広まっている。

現在、少子高齢化が急速に進むなか、スポーツを通じて健康づくり、生きがいづくりやルールの大切さを指導するよう体育協会に課せられた使命も益々重要になり、住民全体が「生活の中にスポーツを」「いつでも、だれでも、どこでも」を合言葉にひとりでも多くの住民がスポーツに親しむ機会が増えるよう頑張っています。

今後も地域住民のニーズに応じ、高度化、多様化、少子高齢化に対応できるよう各連盟とも地域に根ざしてスポーツの普及、振興に努め、スポーツを通じて様々な世代の人々とふれあい、心豊で

あたたかい地域づくりへとたゆまない努力をしていきたいと考えています。



忠岡町体育協会創立 20 周年記念式典

種目別加盟団体

バトミントン／テニス／空手道／健康体操／バレーボール／少林寺拳法／ゲートボール／
整美体操／サッカー／ソフトバレーボール／ソフトボール／卓球／剣道／バスケットボール

NPO法人岸和田市体育協会

所在地 岸和田市作才町1-7-15
岸和田市体育協会役員事務所
TEL 072-432-2456

創 立 昭和21年9月

加盟団体数 28団体

会 員 数 11,500名

役 員 名

会 長 室田 光重 副会長 渡邊 黎子 副会長 松端 孝元
副会長 濱崎 宣弘 副会長 齊喜 昭彦

沿 革

平成27年度、NPO法人岸和田市体育協会が創立70周年を迎え、歴史と伝統を築いてこられた諸先輩のご尽力に、敬意を表するとともに、今後の発展を祈念致しました。

戦後間もない昭和21年、荒廃した世相を少しでも“明るい元気なまちづくり”を願い「岸和田スポーツ文化人クラブ」が毛利一郎氏を中心にして、中川・中澤（後、市長）・木戸・森平・前川・中出・緒方・阪下の9名の方々に結成され、大阪府下でいち早く、本協会の前身として産声をあげたのです。

昭和22年、毛利一郎氏が市長に当選されたのを機に「岸和田スポーツ文化人クラブ」を岸和田市体育連盟に改名致しました。

昭和28年には16団体の加盟で、岸和田市体育協会に改名し、歴史と伝統を築いてまいりました。平成20年に特定非営利活動法人（NPO法人）の資格を取得し、現在はNPO法人岸和田市体育協会として、将来を見据え活動しているところでございます。

この10年、1団体退会、新加盟団体が3団体、休会団体が2団体、変わりゆく時代の中で、現在は28団体（休会2団体）で活動して

おります。

バブルがはじけ、失われた20年と言われて久しゅうございますが、取り巻く環境はまだ厳しいものがございます。

しかしながら、スポーツの大切さは申すまでもありません。“健康で明るく、活力ある心豊かな生活”を営むために欠かせないものです。少子高齢の時代に生涯スポーツのあり方をしっかり考え、一丸となって前進してまいりたいと存じます。



岸和田市体育協会 NPO 法人資格取得記念

種目別加盟団体

陸上競技／軟式野球／水泳／ソフトボール／ソフトテニス／柔道／剣道／卓球／山岳／
バレーボール／空手道／サッカー／居合道／ボディビル／弓道／バスケットボール／少林寺拳法／
バドミントン／アーチェリー／テニス／ハンドボール／クレール射撃／合気道／
ソフトバレーボール／トランポリン／グラウンドゴルフ
休会：相撲／スキー

貝塚市体育協会

所在地 貝塚市畠中1丁目17番1号
貝塚市教育委員会 スポーツ振興課内
TEL 072-433-7121

創 立
加盟団体数
役員名

昭和27年4月1日

19団体

会 員 数

約4,700名

会 長 宇野 榮郎 副会長 田畑 等 副会長 崑田 陽子 副会長 寺田 伸司

沿 革

昭和27年4月、陸上競技・すもう・軟式野球・柔道の4連盟をもって貝塚市体育協会を設立。その後各種スポーツ活動の高まる中、加盟団体が増え、現在体育協会は、陸上競技・軟式野球・柔道・卓球・剣道・ソフトテニス・バレーボール・スキー・ソフトボール・サッカー・少林寺拳法・空手道・バドミントン・トランポリン・硬式テニス・実践空手道・ハンドボール・グラウンド・ゴルフ・ゲートボールの16連盟3協会に拡大され、それぞれの活動を通じ市民の健康づくり、体力づくりの中核として大きな役割を果たしている。

また、第1回大阪府都市対抗体育大会から貝塚市として陸上競技大会等に参加し、活動を続けている大阪府総合体育大会の地区大会及び中央大会への選手団の派遣をはじめ、教育委員会との共催事業として毎年10月を市民体力づくり推進月間と定め、市民レクリエーション大会を開催。また、昭和51年度からは、教育委員会から委託を受けて、種目別の市民スポーツ大会を開催。それと並行して、各連盟独自のスポーツ大会、スポーツ教室、

各種講習会を実施し、行政と歩調を合わせながら市民スポーツの普及振興に努めている。さらには体育協会の育成団体として、スポーツ少年団(14種目24単位団)の指導育成により、後継者づくりにも取り組んでおり、広く市民各層にスポーツ活動の機会を提供し、自主運営・自主活動を基本としながら積極的なスポーツ活動を展開している。



貝塚市体育協会功労者表彰・懇親会

種目別加盟団体

陸上競技／軟式野球／柔道／卓球／剣道／ソフトテニス／バレーボール／スキー／ソフトボール／サッカー／少林寺拳法／空手道／バドミントン／トランポリン／硬式テニス／実践空手道／ハンドボール／グラウンド・ゴルフ／ゲートボール

泉佐野市体育協会

所在地 泉佐野市新安松1丁目1番22号

泉佐野市教育委員会教育部スポーツ推進課内

TEL 072-462-2000

創 立 加盟団体数 役員名

昭和24年4月1日

19団体

会 員 数 約 4,346名

会 長	西出 修	副 会 長	平本 公藏	副 会 長	清水 猛
理 事 長	西村 光代	副 理 事 長	大田 達也	副 理 事 長	檜葉 潤子
事 務 局 長	澤谷 廣三	会 計	戸谷 康彦		

沿 革

昭和23年4月の市制施行を契機に翌年4月、市内の体育・スポーツの諸団体が相互の親睦と緊密な連絡協調を図り、市民の体力向上と健全な精神を養うことを目的として「泉佐野市体育連合」を結成し、昭和41年4月に「泉佐野市体育協会」と名称を改めた。この間、昭和37年10月に国民体育大会（岡山国体）では「体育功労団体」として栄誉ある文部大臣表彰を受けている。平成9年のなみはや国体では体操（新体操）競技が市民総合体育館で開催された。平成21年6月には本協会の創立60周年記念式典を開催し、続いて大阪体育大学教授を講師に招いて「トレーニングとスポーツ科学」と題した講演会を行った。

各々の加盟団体による市民競技大会や各種スポーツ教室の開催などで組織の発展を図る一方、スポーツ施設の充実化を要求し、昭和41年11月に市民道場「心明館（現在はNPO法人泉佐野市中心明館武道協会に譲渡）」、昭和56年4月に「市民総合体育館」、平成3年4月には「長滝テニスコート」、平成8年5月にサッカー場として「大池グラ

ウンド」、平成9年7月には温水プールを完備した「健康増進センター」などが整備されてきた。

本体育協会では、隔年ごとに「いずみさの体協だより」を発行し、体育協会の活動を紹介することにより、興味のあるスポーツに気軽に参加できるよう、市内のスポーツの発展・向上に努めている。また、多くの市民の皆様が継続的にスポーツを楽しむ生涯スポーツ社会の構築とトップアスリート誕生のきっかけになればと、平成25年度より毎年体育の日に幼児から高齢者、障がいのある人すべての参加をめざして、『スポーツフェスタ泉佐野』を開催している。



第2回泉佐野スポーツフェスタ

種目別加盟団体

柔道／テニス／軟式野球／剣道／サッカー／卓球／ソフトボール／インディアカ／少林寺拳法／
トランポリン／弓道／バレーボール／陸上競技／バスケットボール／バドミントン／体操（新体操）／
リトル・シニア野球／ゲートボール／ソフトテニス

泉南市体育協会

所在地 泉南市樽井二丁目 26 番 1 号

TEL 072-482-1000

創 立 昭和 31 年 10 月 1 日

加盟団体数 19 団体

会 員 数 約 4,000 名

役 員 名

会 長 北岡 和明 副会長 藤田 逸 副会長 竹中 茂弘 副会長 城 知宏

沿 革

昭和 31 年に泉南町となり、同年 10 月 1 日泉南町体育連盟が創設され、連盟員 350 名を中心に町民の体育振興に尽力した。昭和 45 年 7 月市制施行と共に泉南市体育協会に改称し、翌年第 1 回泉南市総合体育大会を開催して現在に至り、今年で 60 周年を迎える。

昭和 53 年には市民体育館が建設され、ここを拠点として各種スポーツのグループが活発な活動を展開し、各競技協会の育成・発展に拍車がかかり加盟団体数も増え、市内スポーツの発展、向上

に努めた。その後、市民祭体育大会や昭和 60 年には第 1 回ミニマラソン大会を開催し、今では泉南市りんくうマラソン大会としてグレードアップを図り継続している。

現在、体育協会傘下の加盟団体は 18 競技協会とスポーツ少年団の 19 団体となり約 4,000 名の会員を抱えている。今後、組織の強化・育成、競技力向上はもちろん、市民全体の生涯スポーツの振興のため努力していきたいと考えている。



第 31 回泉南市りんくうマラソン大会 参加者約 1,000 名 H27.11.3

種目別加盟団体

バトミントン／サッカー／バレーボール／柔道／野球／卓球／ソフトテニス／陸上競技／剣道／ソフトボール／相撲／ゲートボール／テニス／トランポリン／少林寺拳法／グラウンドゴルフ／スポーツチャンバラ／合気道／スポーツ少年団

阪南市体育協会

所在地 大阪府阪南市尾崎町 35 番地 - 1
 阪南市教育委員会事務局
 生涯学習部生涯学習推進室内
 TEL 072-471-5678

創 立 昭和 47 年 10 月

加盟団体数 21 団体

会 員 数 約 2,000 名

役 員 名

会 長	秋 山 満	副 会 長	平 田 修	副 会 長	阪 井 順 幸
副 会 長	吉 岡 憲 一	総 務 部 長	永 田 恵	事 業 部 長	睦 谷 一 馬
事 業 副 部 長	根 来 慎 一	指 定 管 理 部 長	岡 井 正 明	指 定 管 理 副 部 長	酒 谷 芳 博
広 報 部 長	井 原 正 裕	書 記	長 谷 川 清	会 計	土 井 崇 義
会 計 監 査	角 野 信 和	会 計 監 査	竹 中 宏 子		

沿 革

本市のスポーツ振興と発展に寄与することを目的に創立した体育協会は 43 年目を迎え、21 連盟、約 2,000 名の会員を有している。

主な年間行事としては、市総合体育大会・健康マラソン大会等の開催や府総合体育大会泉南地区・中央大会への選手派遣及び泉州国際市民マラソン大会への運営協力などがある。特に、毎年 9 月本協会独自事業である「スポーツフェスタ」は、市内事業所や店舗の協賛を得て開催しており、市民にスポーツの楽しさ、人と人との交流の大切さが実感できるイベントとして定着している。3 月には「体協だより」を全戸配布して、本協会の活動状況や各連盟が参加した大会等の成績を紹介している。また、平成 21 年度から市内社会体育施設の指定管理者制度の導入に伴い、管理事業者の一員として参画し、一部組織の見直しを行い、幼児から高齢者を対象に前期・後期「体育教室」を運営し、多くの参加を得ている。

阪南市は、「健康」で「幸せ」なまち阪南の実現をめざし、「健幸マイレージ」や「健幸ポイントプロジェクト」事業を実施し、健康づくりへの積極的な参加を促している。本協会としても、少子高齢化が進展する中、市民のスポーツに対する多様なニーズを的確に把握し、スポーツ関連団体や行政等と連携しながら、競技スポーツはもとより、生涯スポーツの普及・振興に努めていきたいと考えている。



第 23 回 阪南市健康マラソン大会

種目別加盟団体

軟式野球／ソフトボール／ソフトテニス／テニス／バレーボール／卓球／陸上競技／少林寺拳法／少年野球／スキー／剣道／空手道／バドミントン／サッカー／水泳／ゲートボール／体操／トランポリン／居合道／バスケットボール／グラウンドゴルフ

熊取町体育協会

所在地 大阪府泉南郡熊取町久保5丁目3番1号
熊取町立総合体育館内
TEL 072-453-5428

創 立 昭和48年4月1日

加盟団体数 17団体

会 員 数 2,116名

役 員 名

会 長 副 会 長 樋口 修治 副 会 長 岸本 邦彦
会 計 泉 秀雄 会 計 監 査 藤原 卓司 会 計 監 査 丸山 顕介

沿 革

熊取町は、大阪府の南部に位置し、大阪都心部より約35kmの距離にあって、東は貝塚市、西は泉佐野市に接し、東西4.8km面積1,724haの「木の葉」に似た形状である。町域は、緩傾斜地が多く、丘陵地、段地を中心としたなだらかな地形で、気候は瀬戸内海気候で雨量が少なく、古くから灌漑用溜池が多いところである。また、近年は、大都市近郊型住宅都市として発展し、新興の住宅地や古くからの住宅地や建物が共存しており、人口が増加してきた中、町民の余暇の活用としてのスポーツに関する意欲、欲求が成熟しつつある。

さて、熊取町体育協会は、昭和48年4月1日に、陸上・軟式野球・バレーボール・卓球・サッカー・スキー・剣道・猟友会・野べら会の9団体で熊取町体育連盟として発足した。

その後、昭和52年7月19日に名称を体育協会と改める。体育協会は、各連盟団体相互の緊密な連絡協調をもって、町民の体力の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、熊取町のスポーツ振興発展に寄与することを目的としている。

体育協会としての年間の事業としては、住民を対象とした秋の歩こう会、町制施行40周年事業として始めたくまどりロードレースや泉州国際市民マラソンへの協力、町民総合体育大会の運営、大阪府総合体育大会への参加、町事業への協力(平成20年度においては、2008FIGトランポリンワールドカップシリーズ大阪大会への協力)等の幅広い活動を行っている。

加盟各連盟(協会)においても、連盟(協会)内外の大会の主催、主担をつとめ、また町外での大会への参加等活発に活動しており、現在17のスポーツ団体が加盟しスポーツの振興発展に寄与している。



町民総合体育大会 (H27. 9. 13)

種目別加盟団体

陸上競技／軟式野球／卓球／バレーボール／剣道／バドミントン／少林寺拳法／ソフトボール／テニス／ソフトテニス／バスケットボール／グラウンドゴルフ／サッカー／水泳／トランポリン／ペタンク／ノルディック・ウォーク

田尻町体育協会

所在地 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺 1120- 2
田尻町教育委員会事務局社会教育課内
TEL 072-466-0030

創 立 加盟団体数 役員名

昭和 39 年 8 月 21 日

13 団体

会 員 数 約 300 名

会 長 立野 幸一

副会長兼事務局長 山田 和明

副 会 長 今井 厚郎

副 会 長 中島 芙美子

沿 革

当協会は、関西国際空港の対岸にある人口 9,000 人足らずの小さな町「田尻町」にありながらも活発に活動する団体。昭和 38 年に東京オリンピックの聖火ランナー受け入れのために組織され、初代会長水野平和氏をはじめ、17 名の有志により翌 39 年に現在の協会組織に改め、正式に発足し、平成 26 年には創立 50 周年を迎えた。

スポーツ人口の増加や学校施設の開放等に伴い、野球、スキー、テニス等各種競技連盟が結成されて協会に加盟する形で発展。昭和 51 年頃からは充実期に入り、技術向上をめざした各種大会の開催や対外試合への参加、スポーツ人口拡大を目指した各種教室の開催や体力向上を目指したラジオ体操の開催など、町民の心身の健康増進に寄与し、各種スポーツ競技の宣伝、指導、奨励を実践してきた。

また、行政や地域とも連携し、青少年健全育成活動や地域安全活動にも積極的に参画している。特に泉州国際市民マラソンにおいては、スポーツ団体として経験を生かし、良好なマラソン運営に

20 年以上に渡り協力している。

長年の当協会の取り組みに対し、平成 20 年には文部科学大臣から荣誉ある生涯スポーツ優良団体表彰を受賞することとなった。

今後も日本一と自負する団結力とアットホームでもって、地域のスポーツ振興・体力向上・健康増進を提唱し、子どもから高齢者まで「こころ」と「からだ」の健康づくりに大きく貢献していきたい。



田尻町体育協会スキー連盟スキースクール

種目別加盟団体

ソフトボール／軟式野球／卓球／硬式テニス／ソフトテニス／バトミントン／スキー／レクリエーション／トランポリン／スポーツ少年団／ゲートボール／水泳／ボクシング

岬町体育協会

所在地 大阪府泉南郡岬町多奈川谷川 1905 番地の 22

TEL 072-492-2715

創 立

昭和 42 年 8 月 1 日

加盟団体数

13 団体

会 員 数

約 400 名

役 員 名

会 長 辻口 幸人 副 会 長 井澤 晃 副 会 長 茂野 真知子
副 会 長 和田 勝幸 理 事 長 杉谷 友久

沿 革

昭和 41 年に当時の青年団協議会のメンバーで、全国青年大会一般女子バレーボール競技に出場するチームが結成され、全国大会出場を支援したことにより体育協会結成の機運が高まり、昭和 42 年 8 月に岬町体育協会が発足された。

その後、昭和 46 年にはスキー教室を、昭和 61 年にはファミリーマラソン大会を開始し、現在も継続している。

体育協会加盟数もバドミントン連盟、テニス協会、リズム体操協会、バレーボール協会、ソフトボール連盟、バスケットボール連盟、柔道連盟、スキー連盟、ボクシング連盟、陸上協会、少林寺拳法協会、野球連盟、ゲートボール連盟の現在 13 団体で構成され、約 400 人規模で構成されている。

また、ボランティアとして泉州国際市民マラソンの運営に協力し、岬町だけでなく、泉南地域のスポーツ振興にも協力している。

近年では大阪府総合体育体大会の泉南地区大会の野球で 1 回、ソフトボールでは男女通じて 5 回優勝し平成 26 年には中央大会に出場しソフトボールで 3 位入賞を果たした。平成 19 年には文部科学省から「生涯スポーツ優良団体」を受賞された。

平成 29 年 8 月 1 日には岬町体育協会として 50 周年を迎え、更なる飛躍が期待される。



第 70 回大阪府総合体育大会（一般女子ソフトボール）



第 70 回大阪府総合体育大会（一般男子 2 部ソフトボール）

種目別加盟団体

ソフトボール／野球／テニス／バレーボール／リズム体操／バドミントン／柔道／スキー／陸上／少林寺拳法／ボクシング／ゲートボール／バスケットボール

大阪府体育連合歴代役員

(会長、副会長、理事長)

年度	会長	副会長	理事長
S22~27	毛利 一郎		
S28~36	久野 晴雄		
S37~38	岡本 義雄	村上平一郎 岩井 邦利	吉田猪一郎 舘野 進
S39~40	岡本 義雄	村上平一郎 舘野 進	吉田猪一郎
S41~42	岡本 義雄	舘野 進 吉田猪一郎	山本 義照
S43~44	岡本 義雄	舘野 進 吉田猪一郎 山村 富造	山本 義照
S45~46	山村 富造	舘野 進 吉田猪一郎 村田登美男 吉田 恒二	山本 義照
S47~48	中沢末太郎	尾崎 弘明 吉田猪一郎 村田登美男 武田 虎貞	堀端 蕪
S49~50	井上 一成	尾崎 弘明 吉田猪一郎 村田登美男 武田 虎貞	荻原 行夫
S51~52	井上 一成	尾崎 弘明 吉田猪一郎 村田登美男 武田 虎貞	荻原 行夫
S53~54	井上 一成	長野 元泰 吉田猪一郎 村田登美男 武田 虎貞	寛 久之
S55~56	井上 一成	長野 元泰 吉田猪一郎 村田登美男 西岡 国光 井上 信也	寛 久之
S57~58	井上 信也	長野 元泰 吉田猪一郎 村田登美男 西岡 国光 斯波 禮一 林田 昭喜	寛 久之
S59~60	井上 信也	林田 昭喜 吉田猪一郎 村田登美男 西岡 国光 斯波 禮一	浅田 正徳
S61~62	井上 信也	林田 昭喜 吉田猪一郎 村田登美男 西岡 国光 斯波 禮一	浅田 正徳
S63~H1	森本 稔	高橋 廣 吉田猪一郎 村田登美男 西岡 国光 高橋 尚史	浅田 正徳
H2~3	森本 稔	小久保昇治 吉田猪一郎 村田登美男 辻村 俊市 高橋 尚史	浅田 正徳
H4~5	森本 稔	橋爪 静夫 吉田猪一郎 大友 康亘 辻村 俊市 高橋 尚史	浅田 正徳
H6~7	森本 稔	橋爪 静夫 吉田猪一郎 大友 康亘 中田三次郎 高橋 尚史 高岡 寛	浅田 正徳
H8~9	森本 稔	石黒 典男 吉田猪一郎 大友 康亘 横尾 一彦 高岡 寛	浅田 正徳 石田 岩男
H10~11	森本 稔	吉田 武 吉田猪一郎 大友 康亘 横尾 一彦 高岡 寛	石田 岩男
H12~13	森本 稔	吉田 武 大友 康亘 田口 守隆 横尾 一彦 高岡 寛 上田 俊次	西岡 優則
H14~15	森本 稔	上田 俊次 大友 康亘 田口 守隆 横山 忠信 高岡 寛 井上 哲夫	西岡 優則 雪本 保次
	寺田 為三	高山 智正 上垣 正純	
	山本 末男		
H16~17	中司 宏	井上 哲夫 大友 康亘 高山 智正 三屋喜三郎 上垣 正純 老田 準司	吉仲 要雄 高木 晴久
H18~19	中司 宏	老田 準司 大友 康亘 江藤 富男 中澤 剛 水野 和夫	木口 佳一
H20~21	倉田 薫	森川 薫 辻本 儔 大西 直行 中尾 俊治	杉本 逸視
H22~23	倉田 薫	森川 薫 戸山 隆明 神保 昭人 北川憲一郎	杉本 逸視
	向井 通彦	森川 薫 戸山 隆明 神保 昭人 北川憲一郎	杉本 逸視
H24~25	向井 通彦	信田 邦彦 佐野 脩 高山 智正 真野 正道	真野 宜夫
	森山 一正	信田 邦彦 佐野 脩 高山 智正 真野 正道	真野 宜夫
H26~27	森山 一正	大野 壽一 田中 順治 荒木 剛 植山 勝秀	藤川 郁夫
	田中 誠太	大野 壽一 田中 順治 西野 健 植山 勝秀	藤川 郁夫
H28~29	田中 誠太	中村 信行 秋山 悦子 田畑 直次 田中 実	古本 富也

平成28・29年度大阪府体育連合役員

(平成28年8月3日現在)順不同

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
会長	田中 誠太	副会長	田中 実	理事	前田 長昭	理事	一色 正仁	理事	山本 光一
副会長	中村 信行	理事長	古本 富也	理事	小山 登	理事	荒木 清	理事	藤川 郁夫
副会長	秋山 悦子	理事	上西 康弘	理事	楓 仁孝	理事	南昌 則	監事	横尾 一彦
副会長	田畑 直次	理事	羽東 孝	理事	藤原 準	理事	上原 忠	監事	至田 勝紀

被表彰者一覽

表 彰 状

20回(41年功勞者)

山本 義照(枚方)	奥野 宗尾(東大阪)	葭仲 恒三(柏原)
吉田 猪一郎(堺)	中尾 行雄(泉大津)	向井 勘四郎(泉佐野)
木戸 浩(泉南)		

21回(42年功勞者)

安井 旭(豊中)	松井 松市(池田)	勢家 卓(箕面)
井上 孟司(吹田)	石原 潔(茨木)	森 広義男(高槻)
中場 政一(守口)	西岡 重光(門真)	森本 正一(寝屋川)
小島 勉(枚方)	上村 三郎(大東)	小野田 重勝(東大阪)
中谷 俊雄(八尾)	矢倉 正美(富田林)	北野 良治(河内長野)
宮田 仁(堺)	西田 実(泉大津)	本田 利三郎(貝塚)
増田 実彦(泉佐野)	市野 春弘(泉南)	

22回(43年功勞者)

馬淵 利雄(豊中)	源 昌(池田)	青木 卯年男(寝屋川)
中井 栄五郎(枚方)	池田 信治(八尾)	長辻 年夫(松原)
杉山 三郎(富田林)	宮浦 善一(河内長野)	西村 庄司(堺)
福田 弥太郎(泉大津)	藤原 房蔵(岸和田)	中西 義雄(貝塚)
田村 照夫(泉佐野)	金子 義信(泉南)	

23回(44年功勞者)

村田 登美男(池田)	安井 敏治(吹田)	辻村 俊市(枚方)
吉川 敏一(寝屋川)	尾方 勝躬(八尾)	竹内 喜一郎(東大阪)
岡本 博(松原)	松本 末吉(富田林)	片山 繁松(貝塚)
浅井 清雄(岸和田)	原田 正克(泉大津)	藤原 一男(和泉)
福田 惣次(堺)	納谷 三二(泉佐野)	向井 正義(泉南)

24回(45年功勞者)

雲川 侑(枚方)	森 弘(東大阪)	柴田 英一(八尾)
高萩 正美(松原)	楠井 徳三郎(堺)	山下 良一(泉大津)
島尾 薫(泉南)	吉岡 好一(貝塚)	神藤 昭(泉佐野)
武田 良蔵(岸和田)		

25回(46年功勞者)

松井 弘之(池田)	佐合 芳之(八尾)	沢 由太郎(柏原)
戸山 隆明(東大阪)	神田 宗政(富田林)	山本 茂(泉大津)
堀畑 善之佑(堺)	秋山 俊雄(泉佐野)	木岡 在三郎(岸和田)
荒木 源一(貝塚)		

26回(47年功勞者)

瀬藤 隆(豊中)	本田 良稻(枚方)	竹中 佑吉(柏原)
柴田 日文(八尾)	手島 右平(東大阪)	寺岡 一郎(松原)
樺沢 寛次(泉大津)	森 奈那子(堺)	北条 時孝(岸和田)
島野 義光(貝塚)	横山 正一(泉佐野)	東野 安雄(泉南)

27回(48年功勞者)

折田 英一(豊中)	高木 恒(池田)	奥田 治雄(枚方)
石村 武司(四條畷)	吉木 正之(東大阪)	井上 愿彦(八尾)
川崎 一市(柏原)	原田 元一(富田林)	西浜 勇治(堺)
田中 三治(高石)	小西 寅吉(岸和田)	河野 博行(貝塚)
田畑 利一(泉佐野)		

28回(49年功勞者)

岩井 喜伴(豊中)	東山 正一(池田)	水方 豊(豊能)
鳥飼 清吉(吹田)	曾我部 清(枚方)	河副 武雄(東大阪)
中西 正(八尾)	福本 正明(柏原)	井上 隆(松原)
林 晋(河内長野)	長谷川 稔(堺)	芦田 宣興(泉大津)
西野 肇(高石)	田村 保夫(岸和田)	菊野 輝次(貝塚)
鍛冶 精一(泉佐野)	中西 勝(泉南)	

29回(50年功勞者)

久本 知一(豊中)	西川 宣之(池田)	大川 宏(吹田)
平田 政二(摂津)	竜野 登(東大阪)	余田 尚正(八尾)
木村 勝太郎(富田林)	菅 憲一(羽曳野)	池尻 広(高石)
矢島 誠治(堺)	藤本 勝人(岸和田)	桐山 富夫(貝塚)

30回(51年功勞者)

東 勇治(豊中)	上田 新一(箕面)	安井 善次(高槻)
熊野 弥寿彦(茨木)	宇都宮 士(守口)	松本 善一(枚方)
三藤 隼男(八尾)	早川 雅章(柏原)	谷口 二郎(富田林)
三浦 茂男(河内長野)	木村 悦造(堺)	栗山 甲子郎(高石)
城野 堅次(泉佐野)	金子 義信(泉南)	

31回(52年功勞者)

谷口 真澄(豊中)	桑村 三十三(豊中)	菱田 実(吹田)
中道 茂(四條畷)	田口 隆(東大阪)	田中 富美江(八尾)
塚本 京子(美原)	深尾 悦郎(狭山)	加藤 順一(堺)
北野 敬四郎(堺)	松吉 宏昌(岸和田)	能美 務(貝塚)

32回(53年功勞者)

江口 節信(豊中)	河合 陽一(豊中)	堀川 豊美(池田)
藤田 正吾(高槻)	藤沢 元雄(茨木)	前迫 平一郎(枚方)
浅野 利彦(門真)	大瀬 邦夫(東大阪)	国尾 一嘉(八尾)
今西 末三(羽曳野)	床田 治郎(藤井寺)	西蔦 昌宏(堺)
中尾 信子(堺)	渡辺 嵩康(高石)	芝野 晃吉(泉佐野)

33回(54年功勞者)

木下 実(池田)	池田 好宏(豊中)	渡辺 康雄(豊中)
福田 誠次郎(吹田)	益川 真(島本)	竹井 睦英(寝屋川)
向井 肇晴(交野)	嶋野 耕三郎(八尾)	大沢 秀寿(八尾)
西野 健(富田林)	隆崎 義明(藤井寺)	千原 治一(堺)
島 安照(高石)	山本 昌実(和泉)	枝松 慎雄(岸和田)
塔筋 覚(貝塚)		

34回(55年功勞者)

小川 光子(豊中)	木村 正治(豊中)	宮田 雄右(豊中)
奥野 実(摂津)	鈴木 敏正(茨木)	田中 久之(枚方)
橋本 三郎(東大阪)	酒井 明夫(東大阪)	沢 由太郎(柏原)
吉村 久平(太子)	波多野 勲(藤井寺)	間宮 幹雄(堺)
山中 貞雄(堺)	坂上 竹一(和泉)	土山 政爾(泉佐野)

35回(56年功勞者)

横田 武(豊中)	片山 勝彰(豊中)	谷田 幸雄(箕面)
中川 千代蔵(吹田)	佐々木 慶哉(高槻)	井上 敦雄(守口)
佐藤 純一(四條畷)	三宅 晃(東大阪)	安藤 隆夫(東大阪)
赤峰 フミコ(東大阪)	中沢 剛(羽曳野)	若林 明(富田林)
正木 弘(堺)	高橋 一徳(高石)	山岡 澄(泉大津)
米田 恵(岸和田)	新川 寛(泉南)	

36回(57年功勞者)

松田 儒雄(豊中)	村田 和之(池田)	中井 保(豊能)
織 元久(高槻)	片山 勝治(茨木)	大嶋 忠司(枚方)
高橋 正志(門真)	川阪 勉(東大阪)	重松 利章(八尾)
大沢 秀壽(八尾)	林 晋(河内長野)	後藤 一(河南)
立田 弘(堺)	長島 秀明(堺)	弥園 久明(貝塚)

37回(58年功勞者)

西谷 一郎(豊中)	大北 敏行(豊中)	稲野 豊(箕面)
森津 昌博(吹田)	岡本 博雅(島本)	亀井 勉(四條畷)
池田 幸一(交野)	黒田 勝之(東大阪)	隅谷 博(八尾)
松岡 博隆(松原)	小路 鉄雄(太子)	宮本 正治(狭山)
中尾 泰三(堺)	高取 弘史(和泉)	長井 信太郎(泉大津)
神藤 文雄(泉佐野)	室井 禎之(阪南)	

38回(59年功勞者)

松本 正美(池田)	池田 紗千子(箕面)	吉岡 範一(豊中)
藤田 悦子(摂津)	松田 兆平(高槻)	永禮 泰博(茨木)
桑原 守(守口)	横山 忠信(大東)	村尾 達雄(寝屋川)
赤峰 純彌太(東大阪)	村井 広美(東大阪)	小川 勇(柏原)
辻野 純子(藤井寺)	森田 静江(藤井寺)	本田 正昭(堺)
荒木 剛(高石)	山本 留吉(忠岡)	北住 正一郎(岸和田)
池下 義孝(岬)		

39回(60年功勞者)

直海 尚文(豊中)	林 健蔵(池田)	石原 鍊(箕面)
大橋 和夫(吹田)	橋本 貞(茨木)	松田 孝子(摂津)
川崎 阪人(枚方)	当山 和明(門真)	三村 孝三(四條畷)
安田 齐治(東大阪)	上山 魏(八尾)	土師 信一(松原)
黒見 哲(富田林)	林 明美(羽曳野)	井上 昭司(千早赤坂)
東野 宏(堺)	高島 利明(堺)	定 義夫(和泉)
山村 純三(貝塚)	松原 篤(泉佐野)	中野 伊三郎(泉南)

40回(61年功勞者)

杉本 憲治(豊中)	小牧 和夫(池田)	池上 廣(高槻)
竹内 義顕(吹田)	千葉 善吾(摂津)	江藤 富男(守口)
中川 義夫(寝屋川)	根岸 伸行(交野)	平尾 攻(東大阪)
西田 道一(東大阪)	牧田 富子(柏原)	菅野 敬三(河内長野)
緒方 宏子(藤井寺)	木根 烈(美原)	山崎 和春(堺)
酒井 鉄夫(泉大津)	坊 修(忠岡)	武田 利治(岸和田)
野中 敏治(貝塚)	辻 寿一(阪南)	

41回(62年功勞者)

丹野 雅吉(豊中)	大野 壽一(箕面)	大柿 健(茨木)
明石 俊弘(吹田)	横井 和代(島本)	前川 清一(枚方)
立藤 豊之(大東)	影本 博信(四條畷)	井上 孝彦(東大阪)
藤江 弘地(八尾)	高村 文一(松原)	山本 修一(富田林)
魚住 須美子(富田林)	富田 三郎(美原)	廣瀬 隆之(堺)
住吉 山修(和泉)	渡辺 一(泉大津)	向井 俊行(泉南)
米野 重部(泉佐野)		

42回(63年功勞者)

堀田 收(豊中)	東谷 壽(池田)	池永 正一(箕面)
本間 淳栄(高槻)	正野 素行(茨木)	大歳 昭一(摂津)
西尾 清(寝屋川)	辻本 儔(門真)	横尾 一彦(交野)
山尾 勝(東大阪)	小笠原 弘子(東大阪)	横尾 克己(柏原)
山本 直樹(富田林)	加藤 勝己(羽曳野)	森谷 勲(美原)
佐野 重治郎(堺)	堀畑 好秀(堺)	吉山 哲生(高石)
土橋 光助(岸和田)	和田 哲男(貝塚)	佐藤 芳博(熊取)

43回(平成元年功勞者)

松本 邦彦(豊中)	村田 有広(池田)	平井 泰(高槻)
中山 次夫(吹田)	田村 征紀(島本)	田中 慶造(守口)
東 信男(枚方)	中川 松枝(大東)	田幡 徹(東大阪)
梅田 穂(八尾)	勝目 巧(松原)	岡井 三夫(河内長野)
深田 幸子(大阪狭山)	今井 直美(堺)	細見 和彦(泉大津)
杉原 三美(忠岡)	西村 平治(岸和田)	平野 雄司(貝塚)
原 義三(泉佐野)		

44回(2年功勞者)

中村 弘(豊中)	高辻 九十五(池田)	池田 恭子(箕面)
山本 弘幸(高槻)	岡本 雅宏(茨木)	宮田 實(摂津)
茂原 初美(寝屋川)	野々瀬 啓治(門真)	川島 澄夫(四條畷)
筒井 正克(東大阪)	西野 幸子(東大阪)	池田 義二(柏原)
堀井 太造(富田林)	中田 全亮(大阪狭山)	寺中 右近(河南)
中島 啓三(堺)	神山 昌介(和泉)	山下 浩司(高石)
宮本 英雄(岸和田)	竹中 孫四郎(泉南)	辻 彰三(岬)

45回(3年功労者)

古田 刺 男(池田)	古久保 美智恵(豊中)	奥村 祐子(箕面)
高田 麗子(吹田)	岡井 武雄(摂津)	大橋 勝(島本)
滝田 孝子(枚方)	別宮 正敏(大東)	森本 泰光(交野)
木ノ本 忠義(東大阪)	桑野 功(東大阪)	逸見 正剛(八尾)
中島 昭一郎(富田林)	松井 力(羽曳野)	上田 敏夫(太子)
佐藤 佐伊太郎(堺)	福井 達夫(堺)	島袋 保弘(忠岡)
斯波 昭宣(貝塚)	藤林 正(泉佐野)	坂田 英信(熊取)

46回(4年功労者)

杉本 章夫(池田)	島上 勝彦(豊中)	大町 能博(豊中)
高橋 正(高槻)	大垣 誠三(茨木)	三浦 義行(島本)
笹山 輝和(寝屋川)	池崎 洋子(門真)	木谷 誠一(四條畷)
高橋 洋二(東大阪)	平田 正司(八尾)	松尾 孝義(柏原)
田中 幸子(河内長野)	森本 忠男(松原)	岡本 勇(千早赤阪)
葉井 優子(堺)	高木 幹子(泉大津)	福永 勇(和泉)
西村 精(岸和田)	大西 直行(泉南)	鈴木 和夫(岬)

47回(5年功労者)

齋藤 純男(豊中)	清水 茂夫(池田)	田治 襄(箕面)
大川 省三(吹田)	中村 孝(高槻)	山北 光彦(茨木)
土井 啓司(摂津)	弘田 僚佐(守口)	服部 寛治(枚方)
長谷川 清(寝屋川)	伊藤 美枝子(大東)	原 毅(交野)
清水 泰之(東大阪)	松川 喜次(東大阪)	阿部 久明(柏原)
戸田 泰次(富田林)	杉本 左門(藤井寺)	千々岩 優人(美原)
岡橋 文治(堺)	岩見 泰蔵(堺)	木野 欽司(泉大津)
藤原 年章(高石)	和田 善三(忠岡)	上野 秀雄(貝塚)
澤 義次(泉佐野)	北村 謙二(阪南)	

48回(6年功労者)

藤田 満子(豊中)	宮本 忠範(池田)	小島 敏彦(箕面)
山口 雪枝(吹田)	角谷 康治(高槻)	上田 富雄(茨木)
森 繁(摂津)	北牧 利夫(島本)	柴田 恵美子(守口)
泉 忠男(門真)	井上 徹(寝屋川)	宮階 里志(大東)
橋本 修一(四條畷)	中谷 靖二(東大阪)	片山 修治(東大阪)
山口 博一(八尾)	入谷 正敏(柏原)	黒田 廣司(羽曳野)
木見谷 晃一(河内長野)	梅本 典男(河南)	井澤 研治(堺)
高尾 繁樹(堺)	恵山 文孝(和泉)	武井 久子(高石)
勝元 祥就(忠岡)	小渕 正人(岸和田)	上中 勝造(泉南)
松本 恵美子(岬)		

49回(7年功労者)

松本 末子(豊中)	富田 安廣(豊中)	池田 繁子(池田)
吉本 弘(箕面)	北野 昇(吹田)	廣瀬 隆一(高槻)
長江 正章(茨木)	阪口 裕文(摂津)	近江 邦彦(島本)
北田 長二郎(守口)	大西 貞彦(枚方)	中川 寛(寝屋川)
松井 幸雄(大東)	星野 敏和(交野)	立木 治(東大阪)
西村 龍太郎(東大阪)	藤原 堅三(八尾)	角畑 茂治(柏原)
平田 光保(富田林)	梶谷 健二(藤井寺)	植野 秀一(千早赤阪)

池本博司(堺)	寺西輝雄(堺)	小竹喜久夫(泉大津)
馬場崎義春(和泉)	戸堂博之(高石)	重久幸夫(貝塚)
北浦文明(泉佐野)	神保昭人(阪南)	

50回(8年功勞者)

荒川一郎(豊中)	柿本哲夫(豊中)	四方光市(池田)
川上雄司(箕面)	松田良雄(吹田)	佐多眞人(高槻)
木下幸子(茨木)	大谷春雄(摂津)	木寺謹一(島本)
菊池正臣(守口)	田縁芳美(枚方)	土居毅(大東)
高木良弘(門真)	西山稔(四條畷)	木村紀代美(東大阪)
澤内均(東大阪)	藤井克造(八尾)	小川忠昭(八尾)
寺田貴美子(柏原)	水平伸三(羽曳野)	森下靖範(大阪狭山)
北野一彦(美原)	仲井義治(堺)	宮崎明良(泉大津)
山本勝(和泉)	泰慶治(貝塚)	東野三千男(泉南)
田中豊一(熊取)		

51回(9年功勞者)

奥村市藏(池田)	財間常文(箕面)	名田伍郎(豊中)
前道淳子(豊中)	今井寛(摂津)	岸田喜八郎(高槻)
高浜保裕(吹田)	森島道夫(茨木)	木本義博(枚方)
佐々木禮子(四條畷)	谷口和洋(門真)	藤原明弘(守口)
法邑孝子(大東)	細野勇(交野)	明石道夫(柏原)
梅上豊(東大阪)	柏山芳孝(八尾)	倉地孝(八尾)
黒木登美子(東大阪)	高橋公子(河内長野)	田中稔(松原)
橋本安富(河南)	米地和子(美原)	梶本和幸(泉大津)
権野功至郎(高石)	中村豊一(堺)	西田末好(和泉)
宇野榮郎(貝塚)	畑中辰馬(阪南)	三方茂(泉佐野)

52回(10年功勞者)

木村武志(箕面)	中腰昭一(豊中)	野村晴夫(豊中)
松村一三(池田)	富田真司(島本)	秦野美根子(高槻)
久間秀一(摂津)	松岡猛(吹田)	宮本芙士夫(茨木)
磯部光三(寝屋川)	比江島正竹(門真)	真先昭(枚方)
宮野次夫(四條畷)	山本明(守口)	和田節代(交野)
小川幹之(八尾)	河原潤二(東大阪)	藤田恵輔(柏原)
堀博幸(八尾)	横田勢二(東大阪)	香川修(松原)
仲矢達(藤井寺)	狭間美智雄(羽曳野)	梅山倉次郎(泉大津)
北野利彦(高石)	吉村豊和(堺)	北岡和明(泉南)
野仁美(田尻)	室田光重(岸和田)	

53回(11年功勞者)

大戸昭幸(箕面)	佐谷睦(池田)	巽正司(豊中)
播昌弘(豊中)	奥田市藏(高槻)	小久保貴三(島本)
田中芳郎(摂津)	森中美紀(吹田)	山田賢治(茨木)
上田金一郎(守口)	大木敏則(門真)	立花守(交野)
中川信雄(枚方)	中本芳之(寝屋川)	星野泰治(大東)
紀野賢次(八尾)	薦本隆司(八尾)	東條キヨミ(東大阪)
福塚正二(柏原)	山本春美(東大阪)	金谷健二(河内長野)
田畑直次(大阪狭山)	福井悠二(富田林)	森下正廣(河内長野)

麻野道男(忠岡)	河田義昭(泉大津)	徳本猛(堺)
嶋勝(阪南)	田畑等(貝塚)	升田昭(泉佐野)

54回(12年功勞者)

遠藤俊晃(豊能)	柏固郎(箕面)	三代俊明(池田)
基山重徳(豊中)	大友康亘(茨木)	田畑悦三(島本)
田村芳雄(高槻)	三好孝(摂津)	森脇豊(吹田)
市川久宣(大東)	鈴木勝博(四條畷)	寺村宏(守口)
中西一夫(枚方)	原田ミサ子(寝屋川)	廣森美智一(門真)
嵐豊三(東大阪)	和泉正信(八尾)	市口偕三郎(東大阪)
三野勝伯(八尾)	広瀬進(柏原)	岡本勉(河南)
高山憲次(太子)	仲埜哲史(羽曳野)	平井文徳(松原)
木野清利(泉大津)	橋本幸太郎(堺)	鈴木克爾(岸和田)
藤田逸(泉南)	南喜作(岬)	

55回(13年功勞者)

井上吉男(豊中)	外池孝義(豊中)	佐々木久人(池田)
中井馨(箕面)	井川保雄(吹田)	池上賢(高槻)
村中正明(茨木)	渥美元屯(摂津)	吉田晋(島本)
伊藤永敏(守口)	松本輝幸(枚方)	西村肇(大東)
井上治久(門真)	米田孝(四條畷)	井戸和司(交野)
末藤進(東大阪)	藤岡治男(東大阪)	奥村信夫(八尾)
千田文一(八尾)	塩崎幸子(柏原)	上西雅利(藤井寺)
平田一雄(藤井寺)	松本学(美原)	磯谷範明(千早赤阪)
東好顕(堺)	杉下榮治(泉大津)	山崎修(貝塚)
河村暢彦(泉佐野)	森幸次郎(阪南)	

56回(14年功勞者)

桶本滋(豊中)	加藤英雄(池田)	青敬祐(箕面)
丸山丈司(豊能)	山本友彦(吹田)	初代元夫(高槻)
久後勝亮(茨木)	蛭原暎滋(島本)	戸梶直幸(枚方)
友本忠雄(寝屋川)	丸釦千代子(大東)	宮前隆之(門真)
皿澤隆(四條畷)	大西壽宗(交野)	西本信雄(東大阪)
森本圭(東大阪)	辻芳雄(八尾)	松井佐知子(八尾)
菅原みち子(柏原)	鈴木健次(富田林)	山口真由美(河内長野)
岡本典雄(松原)	萩原正典(大阪狭山)	門元良雄(堺)
金正光三郎(泉大津)	脇山昭(和泉)	川崎忠信(忠岡)
世利博得(岸和田)	梶本典暉(泉南)	山下明男(熊取)

57回(15年功勞者)

坂本清二(豊中)	飯田一彦(池田)	伊藤順子(箕面)
今川俊三(豊能)	清野昌俊(吹田)	高倉暁(摂津)
山田富幸(高槻)	中尾勉(茨木)	篠田光延(島本)
脇田祐子(守口)	佐野修(枚方)	谷川敏(寝屋川)
川西常司(大東)	小坂薫(四條畷)	田中英男(交野)
安藤清一(東大阪)	山畑阿威磨(東大阪)	佐藤茂(八尾)
森川勝(八尾)	森本充子(柏原)	松倉将博(羽曳野)
大塩孝次(藤井寺)	宮平正道(藤井寺)	一ノ瀬有喜子(河南)
上野十次郎(堺)	永田孝司(泉大津)	古井浩平(和泉)

里内 明(忠岡) 南村 明男(貝塚) 岡本 宏之(泉佐野)
 中川 一行(阪南)

58回(16年)

功勞者

北口 香代子(豊中)	内藤 勝(池田)	高嶋 亨(箕面)
泉 清(能勢)	山本 正夫(高槻)	上田 俊二(茨木)
森田 勇(島本)	森川 優(摂津)	澤井 正尚(吹田)
植田 一哉(門真)	三宅 勝雄(四條畷)	進士 四郎(枚方)
播口 真佐子(寝屋川)	前田 敏夫(守口)	和田 登美子(大東)
田中 順治(八尾)	加藤 広和(八尾)	土岐 敦(東大阪)
丸尾 尚代(東大阪)	安尾 京子(柏原)	北山 典代(松原)
石垣 勉(大阪狭山)	山田 逸雄(富田林)	松山 千和子(美原)
西村 功(堺)	立石 武弘(和泉)	伊藤 正皓(高石)
木野 和子(泉大津)	前田 紀昭(忠岡)	秋山 克憲(岸和田)
立野 幸一(田尻)	山内 美和子(泉南)	

優秀指導者

玉城 吉治(豊中)	三宅 正起(池田)	榎本 勝彦(吹田)
大村 正広(茨木)	松山 昭男(高槻)	守屋 寿文(大東)
小寺 征四郎(枚方)	村上 祐司(門真)	小川 忠昭(八尾)
西野 幸子(東大阪)	河崎 正子(羽曳野)	林 俊光(河南)
松浦 督(堺)	松田 けえ子(和泉)	山本 留吉(忠岡)
桜井 正章(岸和田)	日高 一夫(貝塚)	

59回(17年)

功勞者

堀部 純司(豊中)	新井 哲志(池田)	畑井 弘(箕面)
河原 亜土(豊能)	亀田 博雅(吹田)	神門 明(高槻)
三木 昭(茨木)	泉 徳子(摂津)	貝塚 節子(枚方)
山村 里美(寝屋川)	山辺 史子(大東)	四辻 英己(門真)
太甫 加代子(四條畷)	小林 卓頌(交野)	小原 恭一(東大阪)
西嶋 隆太(東大阪)	森 利光(八尾)	西峯 義人(八尾)
青木 孝(柏原)	本庄 千恵子(富田林)	漁野 隼治(河内長野)
藤元 正和(大阪狭山)	倉石 富夫(松原)	泉谷 明美(堺)
藤原 昇(泉大津)	坂口 晴則(和泉)	歌野 治(和泉)
山野 喜弘(高石)	倉木 嗣夫(貝塚)	西出 修(泉佐野)
大西 末夫(阪南)		

優秀指導者

久高 友博(豊中)	中島 康則(箕面)	高島 雄作(高槻)
三宅 利昭(摂津)	高井 正子(枚方)	西尾 清(寝屋川)
中川 忠彦(大東)	赤峰 純弥太(東大阪)	白木 勝彦(八尾)
高田 巳喜夫(羽曳野)	志智 喜代子(河南)	小田 健一(堺)
野尻 昭雄(泉大津)	浅野 喜代(高石)	葛城 俊作(泉佐野)
山下 明男(熊取)		

60回(18年)

功勞者

片山 茂(豊中)	延谷 竹昭(池田)	澤竹 孝(箕面)
櫻木 秀巳(吹田)	大田 純子(高槻)	三宅 征二郎(茨木)
久保川 正啓(摂津)	福山 史朗(島本)	百々 和宏(守口)
昆田 峯三(枚方)	秋山 克悟(寝屋川)	牛道 タキ子(四條畷)
柿木 敬志(大東)	島田 喜次(交野)	山下 文夫(東大阪)
川上 敏實(東大阪)	出田 一男(八尾)	高原 一郎(八尾)
平田 勝久(柏原)	大塚 洋(富田林)	大國 博(藤井寺)
山下 嘉孝(大阪狭山)	尾谷 行雄(千早赤阪)	茨田 勇(堺)
穴戸 誠一(堺)	高田 賢一(泉大津)	倉 修二(和泉)
谷 恵子(高石)	松端 孝元(岸和田)	竹中 茂弘(泉南)
松田 正三(岬)		

優秀指導者

近藤 嶋 恵(豊中)	眞下 照雄(池田)	三宅 紘一(吹田)
宮本 英士夫(茨木)	今井 寛(摂津)	見座 宏(枚方)
福田 照正(寝屋川)	西山 稔(四條畷)	松尾 光憲(東大阪)
大橋 光子(八尾)	加藤 稔(河内長野)	木本 月子(羽曳野)
高田 絹江(堺)	鶴田 光男(泉大津)	松川 邦江(和泉)
中脇 一雄(泉南)	植田 隆司(田尻)	

61回(19年)

功勞者

小林 達雄(豊中)	山田 里司(池田)	佐藤 ノブコ(箕面)
福西 正明(能勢)	川崎 英夫(吹田)	平山 和子(高槻)
笈田 欣治(茨木)	前田 千明(摂津)	古莊 敬子(守口)
西邨 定実(枚方)	森田 文子(寝屋川)	秋山 悦子(大東)
阪本 武郎(四條畷)	大矢 三良(交野)	松澤 ふみ子(東大阪)
横山 邦夫(東大阪)	時野 勝美(八尾)	田村 繁(八尾)
上田 龍男(柏原)	秦 武紀(富田林)	夏見 昌央(河内長野)
植田 喜代一(河南)	徳丸 幸夫(千早赤阪)	道廣 泰介(堺)
保田 正人(堺)	吉田 幸子(泉大津)	古賀 政隆(和泉)
山口 博司(高石)	嶋田 陽子(貝塚)	西村 光代(泉佐野)
森下 寛治郎(阪南)		

優秀指導者

岡田 恵美子(豊中)	多田 博登(箕面)	上之原 勲(吹田)
黒田 芳男(高槻)	三枝 孝雄(枚方)	北野 義正(寝屋川)
江口 文明(大東)	安藤 清一(東大阪)	小川 幹之(八尾)
草川 圭緯子(羽曳野)	松本 洋和(河南)	中島 啓三(堺)
大山 真寿美(堺)	大橋 敏宏(和泉)	松下 博(阪南)
榎本 幸枝(岬)		

62回(20年)

功勞者

石田 岩夫(豊中)	新留 巧三(豊中)	塩山 登(池田)
切通 弘(箕面)	大同 俊子(吹田)	北田 耕之(高槻)
加藤 良郎(茨木)	増田 努(摂津)	村上 毅(島本)

浦垣正(守口)	高井正子(枚方)	吉岡博(寝屋川)
奥村豐子(大東)	青谷重機(門真)	二宮桃代(四條畷)
良元英河(東大阪)	永井裕章(東大阪)	阿波重夫(八尾)
椎葉教光(八尾)	雲川幸男(柏原)	楠本多ミ子(藤井寺)
三好次男(松原)	浅野雅史(河南)	池田義枝(堺)
福光祥成(堺)	西川昭彦(泉大津)	森俊二(和泉)
竹内弘(高石)	横田力(岸和田)	城知宏(泉南)
樋口修治(熊取)		

優秀指導者

梅垣節子(豊中)	河原宏(池田)	小西浩(摂津)
大畑孝一(枚方)	宮原茂利(枚方)	沼貴男(寝屋川)
筒井正克(東大阪)	辻芳雄(八尾)	渡辺高好(大阪狭山)
田畑直次(大阪狭山)	河村浩志郎(堺)	山本もとよ(泉大津)
白井秀樹(高石)	渡士定次(岸和田)	平野雄司(貝塚)

63回(21年)

功労者

貫田一見(豊中)	垣田稔(池田)	常井紀代子(箕面)
三口直子(豊能)	信田邦彦(吹田)	木村修(茨木)
阿部智(摂津)	石橋茂明(枚方)	小泉健治(寝屋川)
長瀬敏雄(大東)	有家定利(門真)	小寺勝(四條畷)
北原征雄(交野)	西田昭二(東大阪)	西田道友(東大阪)
内田邦夫(八尾)	川崎徹(八尾)	山崎智司(柏原)
田原貞子(河内長野)	中村博明(藤井寺)	森本正毅(大阪狭山)
野上智夫(松原)	小畑全代(堺)	松島大平(堺)
里見崇(泉大津)	清水吉彦(和泉)	吉田邦彦(高石)
寺田伸司(貝塚)	大勢彰子(泉佐野)	東田吉弘(阪南)

優秀指導者

伊木高男(豊中)	岸本伊清(箕面)	石井忠臣(吹田)
荒木哲(茨木)	小幡正明(枚方)	中川拓士(寝屋川)
服部和也(門真)	大村伊戸江(東大阪)	百瀬正康(八尾)
吉本栄治(藤井寺)	日高泰隆(堺)	徳井日出美(泉大津)
桶谷和子(泉佐野)	鈴木和生(熊取)	

64回(22年)

功労者

渡部祥之(豊中)	浅野全(池田)	杉本和義(箕面)
河野行雄(豊能)	大槻豊一(吹田)	山岡碓太郎(高槻)
中村亀雄(茨木)	藤目政宏(島本)	森田憲一(守口)
宮本弘(枚方)	卯野勝久(寝屋川)	友行美由紀(大東)
稲田紀一(門真)	梅木了(交野)	澤村紀子(東大阪)
原正和(東大阪)	野田秀樹(八尾)	濱田清二(八尾)
田中秀昭(柏原)	岡田安司(富田林)	松田美信(河内長野)
佐藤節子(松原)	木下初男(大阪狭山)	泉谷徹(堺)
春田和夫(堺)	小谷誠一(泉大津)	権出正次(和泉)
奥田保夫(高石)	中筋由彦(岸和田)	南口太光子(泉南)
山田和明(田尻)		

優秀指導者

溝部 義人(豊中)	小川 康彦(池田)	田中 淳治(高槻)
貝塚 節子(枚方)	武田 文則(大東)	瀬戸 保峙(東大阪)
紀野 賢次(八尾)	猪砂 正弘(羽曳野)	平井 文徳(松原)
徳本 猛(堺)	山本 由佳(堺)	裏山 和男(和泉)
阿波屋 藤吉(泉南)	仲村 渠末博(田尻)	

65回(23年)**功労者**

野元 裕正(豊中)	南 喜範(池田)	加藤 教恵(箕面)
今川 俊三(豊能)	植野 俊昭(吹田)	村上 政行(高槻)
高尾 末男(茨木)	山本 俊夫(島本)	川口 幸孝(守口)
奥野 彦文(枚方)	幡野 幸夫(寝屋川)	加藤 敏明(大東)
高氏 香子(門真)	高土 幸男(四條畷)	並川 和憲(東大阪)
野々村 礼二(東大阪)	富沢 健次(八尾)	長田 正治(八尾)
俵積田 幸次(柏原)	笹原 良貞(富田林)	酒井 正博(大阪狭山)
貴志 勝之(堺)	服部 徹(堺)	松岡 義隆(泉大津)
吉村 恵美子(和泉)	小谷 恵美子(高石)	高瀬 治(貝塚)
平本 公蔵(泉佐野)	平田 修(阪南)	

優秀指導者

栗本 雅司(豊中)	射場 大輔(箕面)	嘉藤 文代(吹田)
生川 文夫(茨木)	吉川 明伸(枚方)	須藤 明(寝屋川)
徳永 博文(門真)	吉村 俊二(東大阪)	明石 道夫(柏原)
松岡 博隆(松原)	東 好顕(堺)	辻阪 洋考(堺)
飯森 朋恵(和泉)	中川 一行(阪南)	北澤 みちよ(岬)

66回(24年)**功労者**

寺田 富哉(豊中)	湯浅 博(池田)	宮本 香代美(箕面)
美谷 一哉(能勢)	立田 宏(吹田)	田中 徳治(茨木)
野村 政彦(高槻)	鳥濱 義邦(門真)	服部 寛治(枚方)
徳本 奈也(寝屋川)	岩見 芳美(大東)	立花 守(交野)
堀 悦子(四條畷)	市川 廣己(東大阪)	吉田 真佐美(八尾)
山崎 浩史(八尾)	佐野 智子(柏原)	望月 光子(河内長野)
和田 二郎(藤井寺)	玉井 敬二(河南)	木田 雅章(堺)
金森 勝次(忠岡)	平松 朗(泉大津)	松永 美津子(和泉)
小浦 増弘(泉南)	大松 政夫(岸和田)	茂野 眞知子(岬)

優秀指導者

森田 正幸(豊中)	高山 知之(池田)	松田 健(吹田)
池奥 早智子(高槻)	宮原 茂利(枚方)	佐藤 博(大東)
喜多口 廣治(四條畷)	柏山 芳孝(八尾)	山本 春美(東大阪)
富山 訓行(藤井寺)	田口 広幸(和泉)	野尻 悦子(泉大津)
南野 広行(堺)	中村 和彦(岸和田)	西本 孝也(貝塚)

67回(25年)**功勞者**

大久保 順一(豊中)	三宅 正起(池田)	中原 忍(箕面)
守屋 賀美子(豊能)	平山 利道(吹田)	徳田 憲隆(摂津)
岡上 充仁(高槻)	生川 文夫(茨木)	川上 智子(島本)
和田 重一(守口)	上 蘭 修一(枚方)	小林 勉(寝屋川)
星野 泰治(大東)	増田 三郎(交野)	松尾 和明(四條畷)
地主 好一(東大阪)	松尾 光憲(東大阪)	東山 正幸(八尾)
安井 敏雄(八尾)	植田 芳幸(柏原)	西端 一泰(河内長野)
村田 一彦(藤井寺)	中田 早紀(大阪狭山)	西出 功(河南)
橋本 等(堺)	岸田 次郎(高石)	丸山 薫(泉大津)
小西 憲二(貝塚)	西坂 和弥(泉佐野)	川崎 昭夫(阪南)

優秀指導者

山本 惠信(豊中)	大西 秀明(箕面)	間島 洋二郎(島本)
雨崎 勝(守口)	岡本 富男(門真)	柏原 せつ子(交野)
時野 勝美(八尾)	榭谷 數雄(柏原)	中村 園子(大阪狭山)
藤井 満(和泉)	西田 秀雄(泉大津)	西尾 正義(堺)
矢野 伸次(泉佐野)	中村 博(熊取)	

68回(26年)**功勞者**

山田 吉康(池田)	池田 順子(箕面)	島 伸行(豊中)
小林 光宏(能勢)	石井 忠臣(吹田)	前馬 晋策(摂津)
長澤 代(高槻)	小山 和重(茨木)	田辺 有(島本)
河岸 康夫(四條畷)	徳丸 忠孝(枚方)	加藤 春治(門真)
有地 太一郎(大東)	青山 香織(交野)	吉金 英明(東大阪)
西田 勝秀(東大阪)	上平 精香(八尾)	中矢 國雄(八尾)
土肥 正美(柏原)	大江 洋之(羽曳野)	吉本 栄治(藤井寺)
植田 璋(松原)	林 俊光(河南)	林 敏雄(堺)
源 好(和泉)	濱田 律子(泉大津)	小川 靖衛(岸和田)
庵原 朝純(泉南)	清原 猛志(熊取)	

優秀指導者

森山 一弘(豊中)	土井 秀和(池田)	久永 幸広(高槻)
津村 勝政(吹田)	西田 みゆき(枚方)	生田 健一(枚方)
坂東 五十路(寝屋川)	藤原 堅三(八尾)	千葉 公康(東大阪)
吉村 哲治(羽曳野)	椎野 明美(和泉)	中岸 俊樹(泉大津)
当山 哲司(堺)	藤原 嘉伸(泉南)	中島 芙美子(田尻)

69回(27年)**功勞者**

山田 完司(豊中)	洲本 歩(池田)	吉澤 光彦(箕面)
木寺 喜義(豊能)	橋本 健吾(吹田)	瀧井 喜代美(高槻)
森脇 護(茨木)	山下 雅章(守口)	辰巳 春美(寝屋川)
宮崎 葛雄(大東)	加藤 純司(門真)	塚田 三保(四條畷)
魚住 之宏(交野)	大村 伊戸江(東大阪)	千葉 公康(東大阪)
金丸 富貴雄(八尾)	鍋島 圭太(八尾)	松井 嘉代子(柏原)
大川 晴路(富田林)	秋山 照美(河内長野)	坂本 潤一(堺)
中野 義照(泉大津)	中村 進太朗(和泉)	福本 博文(貝塚)
清水 猛(泉佐野)	北野 吉廣(阪南)	

優秀指導者

曾我英明(豊中)	齊藤優子(箕面)	杉山昭信(高槻)
高橋晃(摂津)	木谷晴美(島本)	吉富啓文(守口)
豊田隆彦(四條畷)	木村幸子(交野)	末藤進(東大阪)
宮井孝志(柏原)	芦原香(大阪狭山)	北井登美夫(堺)
太田サヨ子(岬)		

70回(28年)

功労者

永峰満(豊中)	三次玉季(池田)	沖明博(箕面)
田中邦夫(吹田)	林田庄一(高槻)	長田佳久(茨木)
原口俊一(摂津)	村行護(枚方)	朝崎米吉(寝屋川)
土屋勝重(門真)	中口恵未子(交野)	宗平助二(東大阪)
瀬戸保峙(東大阪)	三尾比佐司(八尾)	滝口ちづ子(八尾)
森永孝(柏原)	菊池誠(大阪狭山)	奥山彰広(河南)
佐藤美知雄(堺)	水谷昇(和泉)	井上源次(岸和田)
藤原嘉伸(泉南)	大門謙一郎(田尻)	

優秀指導者

小河原栄子(豊中)	佐々木久人(池田)	櫛淵修一(吹田)
山地毅(茨木)	小山かよ(摂津)	濱田良彦(枚方)
坂根博一(寝屋川)	清水憲治(門真)	永井裕章(東大阪)
佐藤茂(八尾)	寺内一馬(藤井寺)	葛田隆夫(河南)
南口健一(堺)	梶本和幸(泉大津)	渡邊黎子(岸和田)
丸谷達雄(貝塚)		

感謝状

20回(41年)

笥 久之(豊中)	富士井 勘一(池田)	松村 弘(高槻)
赤塚 武(高槻)	大垣 誠三(茨木)	桜井 米次郎(四條畷)
富永 忠雄(守口)	稲田 実(枚方)	辻本 清次郎(寝屋川)
長田 勇(大東)	戸山 隆明(東大阪)	坂上 勇(八尾)
岡本 繁(八尾)	武田 虎貞(柏原)	坂井 邦一(松原)
西田 梅雄(松原)	久野 晴雄(堺)	山本 恒二(堺)
播野 林太郎(堺)	森内 桂三	佐藤 要三(泉大津)
毛利 一郎(岸和田)	阪下 賢弥(岸和田)	柏本 明次(貝塚)
向井 勘四郎(泉佐野)	向井 勇(泉南)	河合 正次
増田 卯治郎		

24回(45年)

岡本 義雄(貝塚)

26回(47年)

山村 富造(枚方)

28回(49年)

中沢 米太郎(岸和田)

30回(51年)

渡辺 太治郎(豊中)	樋口 嘉章(豊中)	丹羽 孝夫(豊中)
岩田 庄作(豊中)	堀川 一三(池田)	大城 茂(吹田)
明智 優(吹田)	田淵 三郎(吹田)	木上 哲郎(高槻)
中島 建三(高槻)	本間 淳栄(高槻)	松田 兆平(高槻)
上田 治雄(茨木)	池 久典(摂津)	稲館 順蔵(島本)
室田 吉郎(枚方)	真先 昭(枚方)	長山 泰政(枚方)
日垣 光男(枚方)	長谷川 清(寝屋川)	長尾 昭男(寝屋川)
清水 昭範(寝屋川)	東 圭三(門真)	白井 徹範(門真)
辻本 侍(門真)	浅田 正徳(東大阪)	河野 正義(東大阪)
長田 良輔(東大阪)	西村 弘道(東大阪)	西園 実(東大阪)
楠 茂之(八尾)	平井 道弘(八尾)	辻平 昇(八尾)
安尾 寿(柏原)	若林 明(富田林)	田中 九平治(河内長野)
辻本 護(羽曳野)	阪井 俊郎(藤井寺)	田中 芳雄(太子)
松田 邦三(河南)	三並 博之(狹山)	甫足 勝敏(美原)
山尾 博(千早赤阪)	泉谷 教信(堺)	名越 定(堺)
楠田 正義(堺)	加藤 義政(堺)	吉田 栄二郎(堺)
吉田 正之(高石)	幸 弘(岸和田)	南 順蔵(貝塚)
河内谷 由春(泉佐野)	藤岡 条子(泉南)	白銀 茂夫(府教委)
井出 武和(府教委)	松本 茂(府教委)	下村 雄蔵(府教委)
岩野 次郎(府教委)	館野 進(府教委)	松下 滋(府教委)
大阪都市体育連合 一	山村 勲(豊中)	平山 博司(守口)
	萩原 行夫(堺)	太田 操(東大阪)
	堀端 巍(堺)	

37回(58年)

長野 元泰(府教委)

40回(61年)

知事感謝状

馬 渕 利雄(豊中)	安井 旭(豊中)	笥 久之(豊中)
村田 登美男(池田)	鳥飼 清吉(吹田)	福田 誠次郎(吹田)
大城 茂(吹田)	藤田 正吾(高槻)	佐々木 慶哉(高槻)

石原 潔(茨木)	井上 敦雄(守口)	竹内 喜一郎(東大阪)
手嶋 右平(東大阪)	河副 武雄(東大阪)	太田 操(東大阪)
国尾 一嘉(八尾)	大澤 秀寿(八尾)	長辻 俊夫(松原)
澤 由太郎(柏原)	吉田 猪一郎(堺)	西浜 勇治(堺)
矢島 誠治(堺)	播野 林太郎(堺)	山中 貞雄(堺)
吉田 栄二郎(堺)	西田 實(泉大津)	福田 彌太郎(泉大津)
原田 正克(泉大津)	坂上 竹一(和泉)	田中 三治(高石)
小西 寅吉(岸和田)	枝松 慎雄(岸和田)	北住 正一郎(岸和田)
本田 利三郎(貝塚)	中西 義雄(貝塚)	島野 義光(貝塚)
河野 博行(貝塚)	菊野 輝次(貝塚)	神藤 文雄(泉佐野)
横山 正一(泉佐野)	城野 堅次(泉佐野)	

大阪府教育委員会感謝状

桑村 三十三(豊中)	谷口 真澄(豊中)	江口 節信(豊中)
松井 松市(池田)	石原 鍊(箕面)	稲野 豊(箕面)
田淵 三郎(吹田)	明智 優(吹田)	松田 兆平(高槻)
織元 久(高槻)	熊野 弥寿彦(茨木)	奥野 実(摂津)
奥田 治雄(枚方)	曾我部 清(枚方)	辻村 俊市(枚方)
森本 正一(寝屋川)	村尾 達雄(寝屋川)	竹井 睦英(寝屋川)
清水 昭典(寝屋川)	臼井 徹範(門真)	石村 武司(四條畷)
池田 幸一(交野)	戸山 隆明(東大阪)	龍野 登(東大阪)
大瀬 邦夫(東大阪)	橋本 三郎(東大阪)	川阪 勉(東大阪)
重松 利章(東大阪)	柴田 英一(八尾)	三藤 隼男(八尾)
中谷 俊雄(八尾)	柴田 日文(八尾)	井上 愿彦(八尾)
川崎 一市(柏原)	松岡 博隆(松原)	高萩 正美(松原)
黒見 哲(富田林)	中沢 剛(羽曳野)	今西 末三(羽曳野)
床田 治郎(藤井寺)	塚本 京子(美原)	堀端 巍(堺)
長谷川 稔(堺)	森奈 那子(堺)	千原 治一(堺)
正木 弘(堺)	加藤 順一(堺)	長島 秀明(堺)
萩原 行夫(堺)	立田 弘(堺)	山下 良一(泉大津)
山本 茂(泉大津)	長井 信太郎(泉大津)	高取 弘志(和泉)
定 義夫(和泉)	島 安照(高石)	山本 留吉(忠岡)
藤原 房藏(岸和田)	浅井 清雄(岸和田)	武田 寅藏(岸和田)
片山 繁松(貝塚)	吉岡 好一(貝塚)	桐山 富夫(貝塚)
弥園 久明(貝塚)	山村 純三(貝塚)	秋山 俊雄(泉佐野)
納谷 三二(泉佐野)	鍛冶 精一(泉佐野)	神藤 昭(泉佐野)
金子 義信(泉南)	向井 正義(泉南)	東野 安雄(泉南)
新川 実(泉南)	中野 伊三郎(泉南)	

大阪府体育連合会長感謝状

村上 信夫(豊中)	中務 秀夫(豊中)	前田 治雄(豊中)
上島 良一(豊中)	池永 正一(箕面)	下野 寅雄(箕面)
藤田 清(池田)	要 昭次(池田)	西川 八郎(吹田)
村上 整(吹田)	川島 彦助(吹田)	名出 汨路(吹田)
外山 義雄(吹田)	納 豊一(吹田)	西塚 三郎(高槻)
細羽 由三(高槻)	山本 正夫(高槻)	熊本 文子(高槻)
脇田 晴夫(摂津)	森 茂(摂津)	森脇 泰光(守口)
出村 武美雄(枚方)	瀧田 孝子(枚方)	池崎 洋子(門真)
岸 弘(四條畷)	虫本 英夫(交野)	藤伊 義貞(交野)
阿部 悟(交野)	松原 久美(交野)	北野 光一(東大阪)
片野 喜代和(東大阪)	浜田 幸一(東大阪)	谷口 潔(東大阪)
藤田 彪(東大阪)	坂上 勇(八尾)	大倉 健一(八尾)
中矢 国雄(八尾)	香川 澄一(柏原)	田中 稔(松原)
藤岡 長洋(富田林)	山本 登(富田林)	中川 憲治(河内長野)
中 次夫(堺)	藤川 巖(堺)	福井 達夫(堺)
藤沢 優憲(堺)	廣井 新平(堺)	中道 美智男(堺)

柴田 森三郎(堺)	高山 昭(泉大津)	野尻 貞雄(泉大津)
松尾 孝明(和泉)	大植 末一(和泉)	柴垣 留三郎(和泉)
西田 末好(和泉)	阿部 美佐子(和泉)	音田 勇(和泉)
荒木 剛(高石)	田仲 康男(高石)	野村 秀幸(高石)
藤原 俊夫(高石)	大久保 利和(高石)	今井 二郎(忠岡)
前田 英夫(忠岡)	波多間 謙一(岸和田)	宮城 好宏(岸和田)
坂部 馨(岸和田)	川口 湊(岸和田)	綱 春己(岸和田)
井上 さよ子(貝塚)	北野 峯子(貝塚)	浅野 正虎(貝塚)
崑田 陽子(貝塚)	笹谷 勘一(貝塚)	明智 誠一(泉佐野)
上林 誓誠(泉南)	向井 良三(泉南)	

50回(平成8年)

知事感謝状

樋口 嘉章(豊中)	桑村 三十三(豊中)	東谷 壽(池田)
松井 松市(池田)	稲野 豊(箕面)	奥村 祐子(箕面)
明石 俊弘(吹田)	竹内 義顕(吹田)	松田 兆平(高槻)
細羽 由三(高槻)	平井 泰(高槻)	熊野 弥寿彦(茨木)
大垣 誠三(茨木)	辻村 俊市(枚方)	川崎 阪人(枚方)
奥田 治雄(枚方)	前川 清一(枚方)	田中 久之(枚方)
松本 善一(枚方)	村尾 達雄(寝屋川)	清水 昭典(寝屋川)
竹井 睦英(寝屋川)	臼井 徹範(門真)	石村 武司(四條畷)
池田 幸一(交野)	奥野 宗尾(東大阪)	戸山 隆明(東大阪)
西村 龍太郎(東大阪)	龍野 登(東大阪)	橋本 三郎(東大阪)
川阪 勉(東大阪)	大瀬 邦夫(東大阪)	柴田 英一(八尾)
三藤 隼男(八尾)	葭仲 恒三(柏原)	川崎 一市(柏原)
戸田 泰次(富田林)	堀井 太造(富田林)	黒見 哲(富田林)
田中 九平治(河内長野)	林 晋(河内長野)	今西 末三(羽曳野)
中澤 剛(羽曳野)	高萩 正美(松原)	松田 邦三(河南)
東野 宏(堺)	佐藤 佐伊太郎(堺)	千原 治一(堺)
森 奈那子(堺)	萩原 行夫(堺)	長島 秀明(堺)
長井 信太郎(泉大津)	高山 智正(泉大津)	定 義夫(和泉)
高取 弘史(和泉)	山本 留吉(忠岡)	杉原 三美(忠岡)
今井 二郎(忠岡)	武田 利治(岸和田)	川口 湊(岸和田)
吉岡 好一(貝塚)	弥園 久明(貝塚)	山村 純三(貝塚)
野中 敏治(貝塚)	笹谷 勘一(貝塚)	斯波 昭宣(貝塚)
上野 秀雄(貝塚)	向井 正義(泉南)	中野 伊三郎(泉南)
新川 実(泉南)		

大阪府教育委員会感謝状

前田 治雄(豊中)	初山 彰一(豊中)	池田 好宏(豊中)
吉岡 範一(豊中)	杉本 憲治(豊中)	片山 勝彰(豊中)
高木 恒(池田)	堀川 豊美(池田)	谷田 幸雄(箕面)
吉本 弘(箕面)	外山 義雄(吹田)	大川 宏(吹田)
山本 弘幸(高槻)	中村 孝(高槻)	角谷 康治(高槻)
山本 正夫(高槻)	岡本 雅宏(茨木)	永禮 泰博(茨木)
大柿 健(茨木)	正野 素行(茨木)	千葉 善吾(摂津)
大歳 昭一(摂津)	北牧 利夫(島本)	宇都宮 士(守口)
江藤 富男(守口)	森脇 泰光(守口)	弘田 僚佐(守口)
柴田 恵美子(守口)	真先 昭(枚方)	大西 貞彦(枚方)
大嶋 忠司(枚方)	瀧田 孝子(枚方)	横山 忠信(大東)
辻本 儔(門真)	野々瀬 啓治(門真)	池崎 洋子(門真)
森本 泰光(交野)	原 毅(交野)	浅田 正徳(東大阪)
木ノ本 忠義(東大阪)	井上 孝彦(東大阪)	立木 治(東大阪)
安田 齐治(東大阪)	片山 修治(東大阪)	村井 広美(東大阪)
酒井 明夫(東大阪)	田口 隆(東大阪)	清水 泰之(東大阪)
安藤 隆夫(東大阪)	中谷 靖二(東大阪)	山口 博一(八尾)

中西正(八尾)	竹中佑吉(柏原)	入谷正敏(柏原)
山本直樹(富田林)	平田光保(富田林)	若林明(富田林)
西野健(富田林)	田中幸子(河内長野)	菅野敬三(河内長野)
松井力(羽曳野)	黒田廣司(羽曳野)	勝目巧(松原)
杉本左門(藤井寺)	中田全亮(大阪狭山)	加藤義政(堺)
廣井新平(堺)	藤沢優憲(堺)	西尾昌宏(堺)
中尾泰三(堺)	井澤研治(堺)	中尾信子(堺)
高尾繁樹(堺)	北野敬四郎(堺)	今井直美(堺)
名越定(堺)	渡邊一(泉大津)	酒井鉄夫(泉大津)
神山昌介(和泉)	松尾孝明(和泉)	音田勇(和泉)
阿部美佐子(和泉)	大植末一(和泉)	西田末好(和泉)
惠山文孝(和泉)	武井久子(高石)	島袋保弘(和泉)
西村精(岸和田)	松吉宏昌(岸和田)	塔筋覺(貝塚)
和田哲男(貝塚)	平野雄司(貝塚)	重久幸夫(貝塚)
畠田陽子(貝塚)	南順藏(貝塚)	米野重部(泉佐野)
土山政爾(泉佐野)	原義三(泉佐野)	向井俊行(泉南)
向井良三(泉南)	上中勝造(泉南)	大西直行(泉南)
辻寿一(阪南)	池下義孝(岬)	

大阪府体育連合会長感謝状

岡澤直正(豊中)	荒木修(豊中)	小野博史(豊中)
桶本滋(豊中)	上阪淳(池田)	中嶋進(池田)
小阪忠美(箕面)	高田克己(箕面)	浜儀孝(箕面)
高橋清衛(吹田)	井川保雄(吹田)	森脇豊(吹田)
白木芳子(吹田)	平松明子(吹田)	中居昭一(吹田)
清野昌俊(吹田)	松田健(吹田)	吉田芳一(吹田)
松岡猛(吹田)	立田宏(吹田)	北川宏二(高槻)
北田耕之(高槻)	稲田正夫(高槻)	清原捷二(高槻)
山本正春(高槻)	関根公子(高槻)	谷口清(高槻)
片本義光(高槻)	宮脇寛明(高槻)	岡市正(茨木)
陶山良夫(茨木)	大友康亘(茨木)	高橋隆(摂津)
近木保文(摂津)	三浦義行(島本)	田中伸和(守口)
奈良崎好明(守口)	下川淳(守口)	西村美保子(守口)
垂木幸子(守口)	立入一子(守口)	仲山精司(守口)
大島敏美(守口)	中田泰正(守口)	岸本キヨ子(守口)
稲富茂秋(守口)	田中稔(守口)	平松四三男(守口)
藤井外二(守口)	若林勲(枚方)	木南勲(枚方)
宮川勝也(枚方)	在木邦男(枚方)	小森泰弘(枚方)
長池末喜(枚方)	三枝孝雄(枚方)	播本興明(枚方)
森岡秀夫(枚方)	佐藤旻三(枚方)	国分俊一(枚方)
松本輝幸(枚方)	齐藤良三(枚方)	小寺征四郎(枚方)
本郷公子(枚方)	貝塚節子(枚方)	福田久恵(枚方)
福山俊雄(枚方)	高井正子(枚方)	仲郁子(枚方)
戎井政彦(枚方)	土屋建夫(枚方)	土山三暢(枚方)
池田文哉(枚方)	岡田定男(枚方)	中川信雄(枚方)
山下紀夫(枚方)	木本義博(枚方)	津田義雄(枚方)
大江宏(枚方)	進士四郎(枚方)	黒川晃好(枚方)
小山茂子(枚方)	長谷川茂(枚方)	長尾章子(枚方)
居関貞雄(枚方)	谷川敏(寝屋川)	光野博(大東)
久保省吾(大東)	加藤俊雄(大東)	辻積(門真)
宇都勝己(門真)	梁川武(門真)	山本艶子(交野)
滝下重一(交野)	福井得司(交野)	梅木了(交野)
吉村太一(交野)	山下文夫(東大阪)	西尾隆雄(東大阪)
船原尚(東大阪)	角谷隆志(東大阪)	常磐武雄(東大阪)
宮崎清(東大阪)	守屋寿文(東大阪)	畑中伸一(東大阪)
中都悦子(東大阪)	芳澤生浩(東大阪)	武内昇(東大阪)

西田 昭二(東大阪)	田上 高一(東大阪)	岸裏 浩平(東大阪)
中 蔦 憲三(東大阪)	黒木 登美子(東大阪)	松沢 ふみ子(東大阪)
岩木 七右衛門(東大阪)	良元 英河(東大阪)	堀 博幸(八尾)
出田 一男(八尾)	小川 幹之(八尾)	松井 国雄(柏原)
伊藤 春栄(柏原)	藤元 誉子(河内長野)	大坪 照雄(河内長野)
日笠 淳子(河内長野)	西川 弘子(河内長野)	秋山 紀久子(河内長野)
福井 保之(河内長野)	松尾 行常(松原)	坪田 信道(河南)
中山 勇(河南)	長尾 勝児(河南)	谷 隼二(千早赤坂)
林 利喜雄(堺)	嶋田 美継(堺)	藤本 弘(堺)
島 昭二(堺)	笹井 正彦(堺)	油野 鍵蔵(堺)
加用 嫩(堺)	万代 忠美(堺)	泉谷 明美(堺)
村里 弘信(堺)	福光 祥成(堺)	大南 武(堺)
渡辺 修(堺)	高羽 邦子(堺)	島津 八郎(堺)
吉川 均(堺)	和田 博昭(堺)	前田 貞夫(堺)
前田 寿福(堺)	小松 宏(堺)	大仲 義一(堺)
杉下 栄治(泉大津)	堀 康三(泉大津)	大内 陸男(和泉)
郡山 義一(和泉)	土井 行男(和泉)	那賀 信也(和泉)
杉本 武(和泉)	原田 武彦(和泉)	竹中 英雄(和泉)
矢野 夕工子(和泉)	田中 尚子(和泉)	中野 明(和泉)
北野 敬典(和泉)	赤松 保夫(和泉)	山本 茂樹(和泉)
岸本 素江(和泉)	藤井 朗(和泉)	小田原 齊(忠岡)
坊 脩(和泉)	金本 春雄(岸和田)	笠川 侃(岸和田)
富塚 博(岸和田)	渡邊 黎子(岸和田)	谷口 武司(岸和田)
森下 俊雄(岸和田)	西川 克己(岸和田)	林田 克郎(貝塚)
南 守(貝塚)	岸野 朝夫(貝塚)	長井 常一(貝塚)
伴 友明(貝塚)	濱田 彌(貝塚)	倉木 嗣夫(貝塚)
寺田 伸司(貝塚)	吉村 和雄(貝塚)	池田 博明(貝塚)
早野 武(貝塚)	福本 博文(貝塚)	西原 廣(貝塚)
北川 明(貝塚)	久村 恒喜(貝塚)	草留 忠男(貝塚)
重田 忠(貝塚)	操野 勝(貝塚)	安枝 好松(貝塚)
西上 恵(貝塚)	宮林 英夫(貝塚)	普久原 朝盛(貝塚)
西山 幸子(貝塚)	田村 富貴子(貝塚)	山本 純平(貝塚)
柴田 宗寿(貝塚)	道口 源一(貝塚)	細川 正義(泉佐野)
月木 滋夫(泉佐野)	米埜 巳年雄(泉佐野)	彦野 洋子(泉南)
松原 義樹(泉南)	小浦 増弘(泉南)	南口 太光子(泉南)
根来 寛(阪南)	大西 末夫(阪南)	中川 一行(阪南)
埜下 寛治郎(阪南)	富松 勝三(熊取)	蒔田 和良(熊取)
道工 晴久(岬)		

60回(平成18年)

知事感謝状

片山 勝彰(豊中)	堀川 豊美(池田)	大川 宏(吹田)
岸田 喜八郎(高槻)	久後 勝亮(茨木)	千葉 善吾(摂津)
小久保 貴三(島本)	高井 正子(枚方)	貝塚 節子(枚方)
清水 昭典(寝屋川)	立藤 豊之(大東)	辻本 儔(門真)
原 毅(交野)	井上 孝彦(東大阪)	木ノ本 忠義(東大阪)
森川 勝(八尾)	西野 健(富田林)	松井 力(羽曳野)
松岡 博隆(松原)	梶谷 健二(藤井寺)	中田 全亮(大阪狭山)
坪田 信道(河南)	谷 準二(千早赤坂)	加藤 義政(堺)
高尾 繁樹(堺)	酒井 鉄夫(泉大津)	西田 末好(和泉)
荒木 剛(高石)	島袋 保弘(忠岡)	松吉 宏昌(岸和田)
嵩田 陽子(貝塚)	原 義三(泉佐野)	大西 直行(泉南)
根来 寛(阪南)	辻 彰三(岬)	

大阪府教育委員会感謝状

小川 光子(豊中)	藤田 満子(豊中)	古久保 美智恵(豊中)
-----------	-----------	-------------

奥村市藏(池田)	古田刺男(池田)	立田宏(吹田)
松岡猛(吹田)	森脇豊(吹田)	稲田正夫(高槻)
関根公子(高槻)	廣瀬隆一(高槻)	大友康亘(茨木)
片山勝治(茨木)	高倉暁(摂津)	久間秀一(摂津)
木南勲(枚方)	小寺征四郎(枚方)	松本輝幸(枚方)
茂原初美(寝屋川)	市川久宣(大東)	比江島正竹(門真)
宮前隆之(門真)	川島澄夫(四條畷)	木谷誠一(四條畷)
橋本修一(四條畷)	梅木了(交野)	吉村太一(交野)
赤峰純弥太(東大阪)	土岐敦(東大阪)	西本信雄(東大阪)
小川忠昭(八尾)	西峯義人(八尾)	堀博幸(八尾)
塩崎幸子(柏原)	松尾孝義(柏原)	福井悠二(富田林)
山本修一(富田林)	金谷健二(河内長野)	木見谷晃一(河内長野)
狭間美智雄(羽曳野)	松倉将博(羽曳野)	香川修(松原)
平井文徳(松原)	仲矢達(藤井寺)	平田一雄(藤井寺)
田畑直次(大阪狭山)	森下靖範(大阪狭山)	中山勇(河南)
上野十次郎(堺)	島昭二(堺)	西村功(堺)
金正光三郎(泉大津)	細見和彦(泉大津)	馬場崎義春(和泉)
矢野夕エ子(和泉)	権野功至郎(高石)	渡辺嵩康(高石)
麻野道男(忠岡)	谷口武司(岸和田)	秦慶治(岸和田)
渡邊黎子(岸和田)	宇野榮郎(貝塚)	倉木嗣夫(貝塚)
岡本宏之(泉佐野)	澤義次(泉佐野)	南口太光子(泉南)
東野三千男(泉南)	北村謙二(阪南)	神保昭人(阪南)
松本恵美子(岬)		

大阪府体育連合会長感謝状

石井利雄(豊中)	北野信義(豊中)	中井潤弥(豊中)
古田澄子(豊中)	垣田稔(池田)	澤竹良輔(池田)
白須歳機(箕面)	田中豊(箕面)	常井紀代子(箕面)
中村条弘(箕面)	松本忠章(箕面)	米山豊(箕面)
神田勇(吹田)	大同俊子(吹田)	田辺豊一郎(吹田)
松浦卓也(吹田)	池奥早智子(高槻)	川村和雄(高槻)
北脇助三郎(高槻)	木村美司(高槻)	伊東勉(茨木)
田島吉九仁(茨木)	出口征二(茨木)	天谷燁義(摂津)
寺坂広子(摂津)	増本健太郎(摂津)	池田久仁衣(枚方)
植田政勝(枚方)	西邨定実(枚方)	宮本弘(枚方)
山岡てつみ(枚方)	大江秀一(寝屋川)	志方潔(寝屋川)
島田俊雄(寝屋川)	和田金美(寝屋川)	岡田正夫(門真)
田口豊(門真)	佐藤温子(四條畷)	高土幸男(四條畷)
山添定明(四條畷)	木村幸子(交野)	坂本義昭(交野)
松田日佐子(交野)	戎谷光生(東大阪)	高橋周一(東大阪)
涇口信行(東大阪)	西田道友(東大阪)	新居正(八尾)
池田晏也(八尾)	平野昭裕(八尾)	山崎浩史(八尾)
幸田賢次(柏原)	河野義佑(河内長野)	高橋典治(河内長野)
津村弘(河内長野)	東さか江(羽曳野)	村山孝美(羽曳野)
森田鐵雄(羽曳野)	中田早紀(大阪狭山)	古川雄二(河南)
和田茂(河南)	福留敏郎(千早赤阪)	木久和則(堺)
服部徹(堺)	花谷勝夫(堺)	春田和夫(堺)
泉元久美子(泉大津)	高寺壽(泉大津)	河合勇(和泉)
廣瀬聡夫(和泉)	藤本正義(和泉)	伊藤英治(高石)
北又進(高石)	小谷恵美子(高石)	大松政夫(岸和田)
留河績(岸和田)	中筋由彦(岸和田)	中村和彦(岸和田)
奥井潔(貝塚)	西崙照隆(貝塚)	大勢彰子(泉佐野)
桶谷和子(泉佐野)	平本公藏(泉佐野)	山田和明(田尻)
川邊里司(岬)	辻口幸人(岬)	

70回(平成28年)

大阪府知事感謝状

古久保 美智恵(豊中)	塩山 登(池田)	大野 壽一(箕面)
信田 邦彦(吹田)	川村 和雄(高槻)	笈田 欣治(茨木)
高倉 暁(摂津)	山本 明(守口)	西邨 定実(枚方)
松本 輝幸(枚方)	長尾 昭男(寝屋川)	長瀬 敏雄(大東)
橋本 修一(四條畷)	横尾 一彦(交野)	藤岡 治男(東大阪)
末藤 進(東大阪)	田中 順治(八尾)	伊藤 春栄(柏原)
山田 逸雄(富田林)	仲矢 達(藤井寺)	森下 靖範(大阪狭山)
植田 喜代一(河南)	服部 徹(堺)	福光 祥成(堺)
渡邊 一(泉大津)	神山 昌介(和泉)	権野 功至郎(高石)
室田 光重(岸和田)	寺田 伸司(貝塚)	米埜 巳年雄(泉佐野)
北岡 和明(泉南)	中川 一行(阪南)	南 喜作(岬)

大阪府教育委員会感謝状

北野 信義(豊中)	富田 安廣(豊中)	中井 潤弥(豊中)
杉本章 夫(池田)	松村 一三(池田)	切通 弘(箕面)
宮本 香代美(箕面)	立田 宏(吹田)	石井 忠臣(吹田)
植野 俊昭(吹田)	北田 耕之(高槻)	大田 純子(高槻)
北助三郎(高槻)	宮田 實(摂津)	前田 千明(摂津)
山下 雅章(守口)	寺村 宏(守口)	宮本 弘(枚方)
山岡 てつみ(枚方)	植田 政勝(枚方)	井上 徹(寝屋川)
北野 義正(寝屋川)	磯部 光三(寝屋川)	奥村 豊子(大東)
岩見 芳美(大東)	岡田 正夫(門真)	西山 稔(四條畷)
和田 節代(交野)	島田 喜次(交野)	筒井 正克(東大阪)
松澤 ふみ子(東大阪)	市口 偕三郎(東大阪)	小川 幹之(八尾)
千田 文一(八尾)	田村 繁(八尾)	青木 孝(柏原)
福塚 正二(柏原)	秦 武紀(富田林)	笹原 良貞(富田林)
楠本 多ミ子(藤井寺)	宮平 正道(藤井寺)	酒井 正博(大阪狭山)
一ノ瀬 有喜子(河南)	木田 雅章(堺)	中村 豊一(堺)
坂本 潤一(堺)	高寺 壽(泉大津)	小谷 恵美子(高石)
伊藤 英治(高石)	松端 孝元(岸和田)	横田 力(岸和田)
高瀬 治(貝塚)	久村 恒喜(貝塚)	西出 修(泉佐野)
西村 光代(泉佐野)	藤田 逸(泉南)	森下 寛治郎(阪南)
平田 修(阪南)	立野 幸一(田尻)	北澤 みちよ(岬)

大阪府体育連合会長感謝状

松原 重雄(豊中)	阪本 正直(豊中)	森田 美千代(豊中)
岩田 泰博(豊中)	島田 周示(池田)	川西 二郎(池田)
高田 和典(池田)	今中 弘臣(箕面)	柏原 十久子(箕面)
山内 和志(箕面)	高木 弘昭(吹田)	六反園 武士(吹田)
大原 吾朗(吹田)	長江 忠彦(吹田)	古澤 敏(高槻)
松村 和夫(高槻)	古閑 末弘(高槻)	金子 龍美(高槻)
宮田 嘉夫(摂津)	小田 美佐子(摂津)	竹田 浩昭(摂津)
市川 五郎(守口)	久保 元治(守口)	田島 俊信(守口)
伊藤 和雄(枚方)	志賀 勝(枚方)	堀 隆志(枚方)
吉村 敏治(枚方)	松川 泰男(枚方)	吉田 敏朗(寝屋川)
武富 隆士(大東)	廣谷 富三(大東)	潮 広子(大東)
田中 登(門真)	岡本 富男(門真)	堀 悦子(四條畷)
太甫 加代子(四條畷)	村田 加津男(交野)	山田 豊司(交野)
酒谷 知治(交野)	角田 英昭(東大阪)	亀井 正美(東大阪)
山田 稔(東大阪)	龍見 泰子(八尾)	東山 幸子(八尾)
嶋村 和己(八尾)	山田 清昭(八尾)	至田 勝亮(柏原)
吉村 保男(柏原)	片岡 茂(柏原)	松村 千佳代(富田林)
安松 輝明(河内長野)	井上 幸吉(河内長野)	丸尾 千夜子(藤井寺)
辻 美穂子(藤井寺)	藤林 邦子(藤井寺)	田辺 慎一(大阪狭山)

香川	忠良(大阪狭山)	淺尾	修(河南)	梅川	彰(河南)
中辻	幹二(堺)	岸本	正毅(堺)	宮崎	明良(泉大津)
裏山	和男(和泉)	中山	道夫(和泉)	田口	廣幸(和泉)
斉喜	昭彦(岸和田)	阪口	康博(岸和田)	坂口	昌男(岸和田)
立花	正和(貝塚)	中林	清二(貝塚)	田中	光雄(貝塚)
澤谷	廣三(泉佐野)	置田	進(泉佐野)	稻垣	勉(泉佐野)
大谷	京子(泉南)	辻	幸一(泉南)	箕浦	芳久(阪南)
豊田	浩一(阪南)	岡	国臣(阪南)	今井	厚郎(田尻)
杉谷	友久(岬)	和田	實(岬)		



資 料

大阪府総合体育大会優勝市町村一覧

大阪府総合体育大会は、本連合創立の昭和22年から開催されている大阪でも屈指の歴史を持つ大会です。わが国ではじめてのアンツーカー競技場であり、当時唯一の公認競技場でもあった、南海・中モズ競技場を主会場に、8月、第1回大会の幕が開きました。
その後、同競技場から服部緑地競技場に、さらには府内ブロックの持ち回り開催といった会場地の変遷をはじめ、開催規模も第1回目の4種目5種別から、今では13種目32種別（第70回：平成28年度）にまで大きくなりました。

種目 回数	総合	陸上競技 (第1～53回)	すもう (第1～26回)	軟式野球 (第1回～)	ソフトボール (第1回～)	柔道 (第4回～)	バレーボール (第4回～)	軟式庭球 (第4回～) ソフトテニス (第46回～)
第1回 (S22年)	泉南郡	男・泉南郡 女・泉南郡	三島郡	男・中河内郡	女・貝塚市			
第2回 (S23年)	泉南郡	男・泉南郡 女・泉南郡	中河内郡	泉北郡	泉北郡			
第3回 (S24年)	泉南郡	総合・泉南郡	泉南郡	吹田市	豊能郡			
第4回 (S25年)	吹田市	総合・泉南郡	布施市 高槻市	堺市	岸和田市	岸和田市	男・豊中市	男・布施市 女・池田市
第5回 (S26年)	大阪市 大阪市 大阪市	堺市 吹田市 泉北郡	堺市	吹田市	大阪市	貝塚市	大阪市	男・堺市 女・池田市
第6回 (S27年)	堺市 堺市 堺市	貝塚市 吹田市 泉北郡	泉南市	八尾市	中河内郡	岸和田市	男・八尾市 女・貝塚市	男・豊中市 女・池田市
第7回 (S28年)	布施市 貝塚市 北河内郡	貝塚市 貝塚市 泉南郡	富田林市	八尾市	北河内郡	貝塚市	男・吹田市 女・貝塚市	男・豊中市 女・池田市
第8回 (S29年)	貝塚市 貝塚市 貝塚市	貝塚市 貝塚市 貝塚市	泉佐野市	(中止)	(降雨中止)	岸和田市	(降雨中止)	(降雨中止)
第9回 (S30年)	貝塚市 貝塚市 貝塚市	貝塚市 貝塚市 貝塚市	泉佐野市	寝屋川市	富田林市	岸和田市	男・守口市 女・貝塚市	男・高槻市 女・岸和田市
第10回 (S31年)	堺市 堺市 泉佐野市	泉南郡 泉南郡 茨木市	岸和田市	高槻市 高槻市	八尾市	堺市	男・布施市 女・大東市	男・堺市 女・岸和田市
第11回 (S32年)	堺市 堺市 堺市	貝塚市 泉南郡 布施市	泉佐野市	布施市	泉南郡	守口市	男・守口市 女・貝塚市	男・枚方市 女・泉佐野市
第12回 (S33年)	堺市 堺市 高槻市	貝塚市 貝塚市 茨木市	泉佐野市	高槻市 高槻市 津市	堺市/泉南郡/泉大津市/岸和田市/八尾市/高槻市/大東市/泉佐野市	守口市	男・高槻市 女・高槻市	男・豊中市 女・泉大津市
第13回 (S34年)	堺市 堺市 貝塚市	貝塚市 貝塚市 吹田市	泉佐野市	富田林市	貝塚市	守口市	男・高槻市 女・貝塚市	男・豊中市 女・泉大津市
第14回 (S35年)	堺市 堺市 堺市	貝塚市 泉南郡 貝塚市	柏原市	八尾市	高槻市	富田林市	男・高槻市 女・茨木市	男・堺市 女・泉大津市

卓球 (第4回～)	剣道 (第11回～)	水泳 (第18～25回)	バドミントン (第21回～)	バスケットボール (第22回～)	サッカー (第23回～)	ハンドボール (第33～35回)	テニス (第33回～)	弓道 (第33回～)
男・泉北郡市 女・布施市								
男・大阪市内 女・吹田市								
男・守口市 女・高槻市								
男・高槻市 女・布施市								
男・堺市 女・高槻市								
男・堺市 女・高槻市								
男・貝塚市 女・大東市								
男・堺市 女・大東市	堺市							
男・堺市 女・高槻市	堺市							
男・堺市 女・高槻市	和泉市							
男・八尾市 女・枚方市	和泉市							

種目 回数	総 合	陸上競技 (第1～53回)	す も う (第1～26回)	軟式野球 (第1回～)	ソフトボール (第1回～)	柔 道 (第4回～)	バレーボール (第4回～)	軟式庭球 (第4回～) ソフトテニス (第46回～)
第15回 (S36年)	(中 止)							
第16回 (S37年)	貝塚市 ・高槻市 ・貝塚市	貝塚市 ・高槻市 ・布施市	柏原市	枚方市	泉佐野市	守口市	男女・大東市 ・守口市	男女・堺市 ・貝塚市
第17回 (S38年)	堺市 ・高槻市	堺市 ・布施市	堺市	岸和田市	八尾市	守口市	男女・高槻市 ・堺市	男女・高槻市 ・岸和田市
第18回 (S39年)	堺市 ・貝塚市	吹田市 ・豊中市 ・布施市	柏原市	吹田市	貝塚市	守口市	男女・高槻市 ・茨木市	男女・豊中市 ・岸和田市
第19回 (S40年)	堺市 ・八尾市	男女・池田市 ・布施市	柏原市	枚岡市	貝塚市	堺市	男女・堺市 ・堺市	男女・堺市 ・岸和田市
第20回 (S41年)	堺市 ・堺市	男女・寝屋川市 ・岸和田市	岸和田市	富田林市	堺市	堺市	男女・大東市 ・茨木市	男女・吹田市 ・岸和田市
第21回 (S42年)	東大阪市 ・堺市 ・高槻市	男女・堺市 ・東大阪市	堺市	泉佐野市	高槻市	豊中市	男女・大東市 ・茨木市	男女・泉大津市 ・岸和田市
第22回 (S43年)	東大阪市 ・東大阪市	男女・東大阪市 ・東大阪市	堺市	高石市	箕面市	堺市	男女・枚方市 ・茨木市	男女・東大阪市 ・岸和田市
第23回 (S44年)	東大阪市 ・東大阪市 ・高槻市	男女・堺市 ・堺市	岸和田市	決勝～ 降雨中止	決勝～ 降雨中止	豊中市	準降 降雨中止	男女・東大阪市 ・泉佐野市
第24回 (S45年)	堺市 ・東大阪市	男女・岸和田市 ・岸和田市	才一 和田市	柏原市	八尾市	吹田市	男女・八尾市 ・茨木市	男女・堺市 ・堺市
第25回 (S46年)	堺市 ・東大阪市	男女・岸和田市 ・東大阪市	才一 和田市	準降 降雨中止	準降 降雨中止	吹田市	男女・泉南郡 ・堺市	男女・寝屋川市 ・堺市
第26回 (S47年)	堺市 ・東大阪市 ・堺市	男女・岸和田市 ・東大阪市	才一 和田市	東大阪市	堺市	堺市	男女・高石市 ・高槻市	男女・寝屋川市 ・堺市
第27回 (S48年)	東大阪市 ・東大阪市	男女・枚方市 ・吹田市の ジュニアの部 オープン種目に		東大阪市	高槻市	吹田市	男女・東大阪市 ・八尾市	男女・堺市 ・東大阪市
第28回 (S49年)	東大阪市 ・東大阪市	男女・岸和田市 ・東大阪市		東大阪市	東大阪市	堺市	男女・泉南郡 ・八尾市	男女・東大阪市 ・堺市
第29回 (S50年)	堺市 ・東大阪市	男女・東大阪市 ・東大阪市		茨木市	堺市	堺市	男女・東大阪市 ・堺市	男女・東大阪市 ・東大阪市
第30回 (S51年)	堺市 ・堺市	男女・岸和田市 ・東大阪市		泉佐野市	八尾市	堺市	男女・茨木市 ・堺市	男女・東大阪市 ・寝屋川市
第31回 (S52年)	堺市 ・堺市	男女・堺市 ・吹田市		八尾市	高槻市	吹田市	男女・茨木市 ・真門市	男女・高槻市 ・高槻市
第32回 (S53年)	堺市 ・堺市	男女・堺市 ・吹田市		和泉市	池田市	堺市	男女・茨木市 ・真門市	男女・高槻市 ・堺市

卓球 (第4回～)	剣道 (第11回～)	水泳 (第18～25回)	バドミントン (第21回～)	バスケットボール (第22回～)	サッカー (第23回～)	ハンドボール (第33～35回)	テニス (第33回～)	弓道 (第33回～)
男・八尾市 女・高槻市	河内長野市							
男・堺市 女・高槻市	貝塚市							
男・堺市 女・高槻市	守口市	オープン市						
男・布施市 女・高槻市	堺市	オープン市						
男・布施市 女・高槻市	枚方市	男・豊中市 女・豊中市						
男・東大阪市 女・高槻市	貝塚市	男・東大阪市 女・東大阪市	オープン市 男・東大阪市 女・高槻市					
男・東大阪市 女・東大阪市	枚方市	男・東大阪市 女・東大阪市	男・東大阪市 女・豊中市	オープン市 男・八尾市 女・岸和田市				
男・堺市 女・高槻市	貝塚市	オープン市 男・吹田市 女・吹田市	男・東大阪市 女・豊中市	オープン市 男・岸和田市 女・岸和田市	オープン市			
男・東大阪市 女・堺市	貝塚市	オープン市 男・高石市 女・岸和田市	男・東大阪市 女・東大阪市	男・枚方市 女・岸和田市	八尾市			
男・東大阪市 女・松原市	堺市	オープン市 男・高石市 女・岸和田市	男・東大阪市 女・枚方市	男・堺市 女・枚方市	岸和田市			
男・堺市 女・松原市	門真市		男・東大阪市 女・東大阪市	男・堺市 女・岸和田市	高石市			
男・八尾市 女・東大阪市	高石市		男・東大阪市 女・豊中市	男・堺市 女・堺市	堺市			
男・東大阪市 女・堺市	東大阪市		男・東大阪市 女・高槻市	男・堺市 女・堺市	岸和田市			
男・東大阪市 女・高槻市	堺市		男・東大阪市 女・高槻市	男・八尾市 女・堺市	堺市			
男・東大阪市 女・高槻市	豊中市		男・東大阪市 女・高槻市	男・堺市 女・堺市	堺市			
男・八尾市 女・堺市	門真市		男・東大阪市 女・箕面市	男・堺市 女・堺市	岸和田市			
男・東大阪市 女・高槻市	堺市		男・東大阪市 女・東大阪市	男・堺市 女・堺市	堺市			

種目 回数	総合	陸上競技 (第1～53回)	すもう (第1～26回)	軟式野球 (第1回～)	ソフトボール (第1回～)	柔道 (第4回～)	バレーボール (第4回～)	軟式庭球 (第4回～) ソフトテニス (第46回～)
第33回 (S54年)	堺市・高槻市 男女	大阪・東大阪・東大市		豊中市	堺市・豊中市 男女	堺市	茨木市・門真市	堺市・高槻市 男女
第34回 (S55年)	堺市・八尾市 男女	大阪・堺市		四條畷市	(降雨中止)	豊中市	茨木市・貝塚市 男女	(降雨中止)
第35回 (S56年)	堺市・堺市 男女	大阪・堺市		守口市	堺市・大阪東市 男女	堺市	茨木市・貝塚市 男女	堺市・枚方市 男女
第36回 (S57年)	高槻市・高槻市 男女	大阪・堺市		泉大津市	堺市・高槻市 男女	箕面市	茨木市・茨木市 男女	堺市・堺市 男女
第37回 (S58年)	堺市・堺市 男女	大阪・東大阪市		八尾市	堺市・和泉市 男女	枚方市	茨木市・堺市 男女	堺市・堺市 男女
第38回 (S59年)	堺市・堺市 男女	大阪・堺市		岬町	堺市・南町 男女	枚方市	守口市・茨木市 男女	和泉市・吹田市 男女
第39回 (S60年)	高槻市・高槻市 男女	大阪・堺市		阪南町	堺市・豊中市 男女	枚方市	一真市・門真市 男女	吹田市・寝屋川市 男女
第40回 (S61年)	堺市・堺市 男女	大阪・堺市		豊中市	堺市・高槻市 男女	枚方市	藤井寺市・茨木市 男女	八尾市・堺市 男女
第41回 (S62年)	堺市・堺市 男女	大阪・堺市		男・高石市	堺市・豊中市 男女	堺市	茨木市・吹田市 男女	高槻市・堺市 男女
第42回 (S63年)	高槻市・大阪中 男女	大阪・堺市		男・八尾市 男・八尾市	堺市・松原市 男女	松原市	寝屋川市・吹田市 男女	吹田市・高槻市 男女
第43回 (H1年)	男・女 総決 合成	女・成 績せず	(台風の影響により中止)	男・一回戦の実	女・吹田中 女・吹田中	男・一回戦の実	女・吹田中 女・吹田中	女・吹田中 女・吹田中
第44回 (H2年)	堺市・堺市 男女	大阪・堺市		男・阪南町 男・豊中市	堺市・大阪東市 男女	堺市	枚方市・茨木市 男女	吹田市・枚方市 男女
第45回 (H3年)	豊中市・豊中市 男女	大阪・東大阪市		男・茨木市 女・高槻市	堺市・吹田中 男女	堺市	豊中市・吹田中 男女	寝屋川市・堺市 男女
第46回 (H4年)	堺市・堺市 男女	大阪・東大阪市		男・富田林市 男・和泉市	堺市・河内長野市 男女	堺市	吹田中・門真市 男女	枚方市・高槻市 男女
第47回 (H5年)	堺市・茨木市 男女	大阪・東大阪市		男・池田市 男・高槻市	堺市・豊中市 男女	堺市	茨木市・茨木市 男女	枚方市・堺市 男女
第48回 (H6年)	高槻市・豊中市 男女	堺市・貝塚市		男・茨木市 男・高槻市	堺市・茨木市 男女	吹田大市	豊中市・吹田中 男女	吹田市・松原市 男女
第49回 (H7年)	高槻市・大阪東 男女	堺市・和泉市		男・大阪東市 男・枚方市	堺市・高槻市 男女	豊中市	茨木市・和泉市 男女	吹田市・高槻市 男女
第50回 (H8年)	高槻市・吹田 男女	堺市・吹田市		男・守口市 男・豊中市	堺市・高槻市 男女	東大阪市	茨木市・吹田中 男女	枚方市・吹田市 男女

卓球 (第4回～)	剣道 (第11回～)	水泳 (第18～25回)	バドミントン (第21回～)	バスケットボール (第22回～)	サッカー (第23回～)	ハンドボール (第33～35回)	テニス (第33回～)	弓道 (第33回～)
男・東大阪市 女・高槻市	茨木市		男・東大阪市 女・吹田市	男・八尾市 女・堺市	堺市	オリーブ ・堺中 ・豊中市	男・高石市 女・豊中市	岸和田市
男・岸和田市 女・堺市	八尾市		男・高槻市 女・大東市	男・八尾市 女・岸和田市	岸和田市	オリーブ ・堺 ・堺市	男・高石市 女・箕面市	八尾市
男・東大阪市 女・堺市	茨木市		男・高槻市 女・大東市	男・八尾市 女・堺市	貝塚市	オリーブ ・堺中 ・豊中市	男・高石市 女・高槻市	泉佐野市
男・東大阪市 女・茨木市	吹田市		男・高槻市 女・箕面市	男・松原市 女・池田市	池田市		男・高石市 女・高槻市	豊中市
男・東大阪市 女・八尾市	四條畷市		男・八尾市 女・東大阪市	男・堺市 女・堺市	貝塚市		男・高槻市 女・堺市	岸和田市
男・高槻市 女・高槻市	堺市		男・交野市 女・箕面市	男・豊中市 女・堺市	貝塚市		男・高槻市 女・吹田市	高槻市
男・東大阪市 女・高槻市	豊中市		男・豊中市 女・東大阪市	男・堺市 女・堺市	高槻市		男・高石市 女・吹田市	岸和田市
男・東大阪市 女・八尾市	堺市		男・茨木市 女・東大阪市	男・堺市 女・堺市	枚方市		男・堺市 女・吹田市	岸和田市
男・八尾市 女・八尾市 女・枚方市 女・高槻市	岸和田市		男・交野市 女・東大阪市	男・堺市 女・豊中市	吹田市		男・高石市 女・堺市	岸和田市
男・東大阪市 女・茨木市 女・枚方市 女・高槻市	高槻市		男・高槻市 女・東大阪市	男・茨木市 女・堺市	堺市		男・高石市 女・吹田市	岸和田市
(台風の影響により中止)	門真市		男・高槻市 女・東大阪市	(台風の影響により中止)	男・1回戦のみ実施		(台風の影響により中止)	(台風の影響により中止)
男・八尾市 女・豊中市 女・枚方市 女・高槻市	堺市		男・八尾市 女・高槻市	男・堺市 女・堺市	岸和田市		男・堺市 女・和泉市	八尾市
男・寝屋川市 女・八尾市 女・寝屋川市 女・枚方市	堺市		男・守口市 女・高槻市 女・吹田市	男・豊中市 女・豊中市	枚方市		男・八尾市 女・堺市	八尾市
男・松原市 女・豊中市 男・枚方市 女・枚方市	吹田市		男・茨木市 女・東大阪市 女・吹田市	男・茨木市 女・堺市	豊中市		男・高槻市 女・堺市	泉佐野市
男・堺市 女・八尾市 男・枚方市 女・枚方市	豊中市		男・枚方市 女・高槻市 女・吹田市	男・茨木市 女・堺市	豊中市		男・高石市 女・高槻市	豊中市
男・柏原市 女・枚方市 男・東大阪市 女・高槻市	堺市		男・東大阪市 女・東大阪市 女・豊中市	男・松原市 女・堺市	摂津市		男・箕面市 女・枚方市	吹田市
男・守口市 女・枚方市 男・泉大津市 女・高槻市	堺市		男・柏原市 女・高槻市 女・高槻市	男・枚方市 女・豊中市	豊中市		男・守口市 女・枚方市	吹田市
男・東大阪市 女・八尾市 男・寝屋川市 女・高槻市	堺市		男・茨木市 女・高槻市 女・吹田市	男・松原市 女・堺市	茨木市		男・高石市 女・和泉市	岸和田市

種目 回数	総合	陸上競技 (第1～53回)	すもう (第1～26回)	軟式野球 (第1回～)	ソフトボール (第1回～)	柔道 (第4回～)	バレーボール (第4回～)	軟式庭球 (第4回～) ソフトテニス (第46回～)
第51回 (H9年)	なみはや国体開催のため中央大会は実施せず							
第52回 (H10年)	豊中市 ・中吹田 ・豊中 ・堺市			男・和泉市 男2・吹田市	男・豊中市 女・高槻市 女2・豊中市	堺市	男・茨木市 女・大東市 女2・吹田市	男・寝屋川市 女・吹田市
第53回 (H11年)	堺市 ・東大阪 ・大阪	枚方市		男・箕面市 男2・守口市	男・摂津市 女・箕面市 女2・吹田市	豊中市	男・茨木市 女・大東市 女2・寝屋川市	男・寝屋川市 女・吹田市
第54回 (H12年)	豊中市 ・中吹田 ・豊中			男・和泉市 男2・吹田市	男・豊中市 女・箕面市 女2・摂津市	堺市	男・茨木市 女・堺市 女2・島本町	男・東大阪市 女・枚方市
第55回 (H13年)	豊中市 ・吹田 ・豊中			男・松原市 男2・茨木市	男・高槻市 女・箕面市 女2・吹田市	豊中市	男・茨木市 女・大東市 女2・寝屋川市	男・東大阪市 女・富田林市
第56回 (H14年)	豊中市 ・中吹田 ・豊中			男・門真市 男2・枚方市	男・豊中市 女・箕面市 女2・東大阪市	豊中市	男・茨木市 女・貝塚市 女2・吹田市	男・吹田市 女・枚方市
第57回 (H15年)	高槻市 ・豊中 ・高槻			男・高槻市 男2・茨木市	男・豊中市 女・高槻市 女2・高槻市	豊中市	男・茨木市 女・貝塚市 女2・東大阪市	男・吹田市 女・吹田市
第58回 (H16年)	堺市 ・八尾 ・堺			男・高槻市 男2・四條畷市	男・和泉市 女・寝屋川市 女2・八尾市	豊中市	男・茨木市 女・貝塚市 女2・東大阪市	男・枚方市 女・枚方市
第59回 (H17年)	堺市 ・堺 ・堺			男・高槻市 男2・富田林市	男・八尾市 女・河内長野市 女2・堺市	堺市	男・茨木市 女・吹田市 女2・柏原市	男・枚方市 女・枚方市
第60回 (H18年)	吹田市 ・吹田 ・吹田			男・堺市 男2・枚方市	男・泉南 女・東大阪市 女2・堺市	枚方市	男・守口市 女・高槻市 女2・吹田市	男・枚方市 女・枚方市
第61回 (H19年)	豊中市 ・中吹田 ・豊中			男・門真市 男2・富田林市	男・羽曳野市 女・枚方市 女2・河内長野市	堺市	男・吹田市 女・高槻市 女2・吹田市	男・枚方市 女・吹田市
第62回 (H20年)	豊中市 ・中八尾 ・豊中			男・箕面市 男2・四條畷市	男・八尾市 女・寝屋川市 女2・豊中市	豊中市	男・吹田市 女・守口市 女2・高槻市	男・吹田市 女・吹田市
第63回 (H21年)	堺市 ・堺 ・高槻			男・堺市 男2・交野市	男・藤井寺市 女・枚方市 女2・茨木市	堺市 ・オープン競技	男・吹田市 女・門真市 女2・茨木市	男・豊中市 女・箕面市
第64回 (H22年)	豊中市 ・中吹田 ・堺			男・八尾市 男2・八尾市	男・八尾市 女・枚方市 女2・豊中市	堺市 ・オープン競技	男・高槻市 女・守口市 女2・高槻市	男・堺市 女・枚方市
第65回 (H23年)	堺市 ・堺 ・豊中			男・八尾市 男2・阪南市	男・羽曳野市 女・高槻市 女2・堺市	堺市 ・岸和田市 ・オープン競技	男・吹田市 女・高槻市 女2・茨木市	男・吹田市 女・枚方市
第66回 (H24年)	堺市 ・堺 ・東大阪			男・高槻市 男2・堺市	男・松原市 女・吹田市 女2・高槻市	堺市 ・門真市 ・オープン競技	男・高槻市 女・守口市 女2・高槻市	男・吹田市 女・枚方市
第67回 (H25年)	堺市 ・堺 ・茨木			男・高槻市、八尾市、和泉市、島本町 男2・天候不順により中止	天候不順により中止	堺市 ・オープン競技	男・高槻市 女・高槻市 女2・高槻市	男・枚方市 女・枚方市
第68回 (H26年)	豊中市 ・中吹田 ・豊中			男・高槻市 男2・門真市	男・松原市 女・枚方市 女2・茨木市	堺市 ・泉佐野市 ・オープン競技	男・高槻市 女・守口市 女2・門真市	男・吹田市 女・寝屋川市
第69回 (H27年)	堺市 ・堺 ・堺			男・泉南 男2・和泉市	男・高槻市、大阪府、枚方市、堺市、豊中市 女・吹田市、豊中市	堺市 ・オープン競技	男・大東市 女・寝屋川市 女2・寝屋川市	男・吹田市 女・堺市
第70回 (H28年)								

卓球 (第4回～)	剣道 (第11回～)	水泳 (第18～25回)	バドミントン (第21回～)	バスケットボール (第22回～)	サッカー (第23回～)	ハンドボール (第33～35回)	テニス (第33回～)	弓道 (第33回～)
なみはや国体開催のため中央大会は実施せず								
男・東大阪市 女・枚方市 男2・東大阪 女2・八尾	交野市		男・八尾市 女・吹田市 男2・高槻 女2・豊中	男・茨木市 女・堺市	寝屋川市		男・和泉市 女・豊中	吹田市
男・松原市 女・八尾市 男2・東大阪 女2・八尾	箕面市		男・柏原市 女・東大阪 男2・茨木 女2・豊中	男・堺市 女・茨木	豊中市		男・八尾市 女・豊中	八尾市
男・松原市 女・枚方市 男2・枚方市 女2・寝屋川	豊中市		男・八尾市 女・東大阪 男2・東大阪 女2・箕面	男・茨木市 女・茨木	門真市		男・河内長野市 女・吹田	吹田市
男・堺市 女・寝屋川 男2・守口 女2・茨木	高槻市		男・柏原市 女・箕面 男2・茨木 女2・河内長野	男・堺市 女・堺	高槻市		男・八尾市 女・茨木	岸和田市
男・堺市 女・八尾市 男2・守口 女2・河内長野	箕面市		男・東大阪 女・東大阪 男2・東大阪 女2・交野	男・枚方市 女・枚方	八尾市		男・堺市 女・吹田	男・吹田市 女・吹田
男・豊中市 女・八尾市 男2・枚方 女2・東大阪	堺市		男・岸和田市 女・箕面市 男2・箕面市 女2・東大阪	男・堺市 女・堺	高槻市		男・堺市 女・豊中	男・吹田市 女・高槻
男・八尾市 女・八尾市 男2・守口 女2・守口	大東市		男・守口市 女・守口市 男2・茨木 女2・東大阪	男・堺市 女・堺	枚方市		男・八尾市 女・堺	男・八尾市 女・豊中
男・堺市 女・八尾市 男2・守口 女2・守口	高石市		男・柏原市 女・東大阪 男2・茨木 女2・東大阪	男・堺市 女・堺	高槻市		男・八尾市 女・高石	男・豊中市 女・吹田
男・堺市 女・八尾市 男2・守口 女2・守口	堺市		男・高槻市 女・東大阪 男2・茨木 女2・東大阪	男・堺市 女・八尾	東大阪市		男・八尾市 女・吹田	男・吹田市 女・吹田
男・寝屋川市 女・八尾市 男2・寝屋川 女2・岸和田	和泉市		男・東大阪 女・東大阪 男2・茨木 女2・東大阪	男・堺市 女・堺	豊中市		男・堺市 女・枚方	男・豊中市 女・岸和田
男・東大阪 女・高槻市 男2・守口 女2・八尾	堺市		男・東大阪 女・東大阪 男2・茨木 女2・豊中	男・東大阪市 女・泉佐野	東大阪市		男・柏原市 女・吹田	男・豊中市 女・吹田
男・堺市 女・八尾市 男2・東大阪 女2・枚方	堺市		男・高槻市 女・箕面市 男2・堺市 女2・東大阪	男・堺市 女・堺	池田市		男・箕面市 女・堺	男・豊中市 女・高槻
男・堺市 女・八尾市 男2・門真 女2・東大阪	豊中市		男・豊中市 女・大東市 男2・茨木 女2・東大阪	男・吹田市 女・八尾	東大阪市		男・八尾市 女・堺	男・豊中市 女・豊中
男・東大阪 女・八尾市 男2・八尾 女2・高槻	高槻市		男・八尾市 女・豊中市 男2・豊中市 女2・東大阪	男・吹田市 女・八尾	東大阪市		男・枚方市 女・柏原	男・豊中市 女・八尾
男・東大阪 女・八尾市 男2・堺市 女2・高槻	枚方市		男・豊中市 女・豊中市 男2・豊中市 女2・東大阪	男・東大阪市 女・吹田	東大阪市		男・八尾市 女・柏原	男・豊中市 女・枚方
男・東大阪 女・八尾市 男2・門真 女2・茨木	枚方市		男・豊中市 女・枚方市 男2・天候不順により中止 女2・天候不順により中止	男・枚方市 女・八尾	天候不順により中止		天候不順により中止	男・岸和田市 女・枚方市
男・東大阪 女・八尾市 男2・吹田 女2・高槻	堺市		男・豊中市 女・豊中市 男2・茨木 女2・東大阪	男・東大阪市 女・八尾	八尾市		男・堺市 女・高槻	男・豊中市 女・吹田
男・堺市 女・河内長野市 男2・守口 女2・吹田	門真市		男・豊中市 女・吹田 男2・吹田 女2・豊中	男・吹田市 女・八尾	東大阪市		男・吹田市 女・豊中	男・岸和田市 女・岸和田

駅伝競走大会の歴史

大阪府市町村対抗駅伝競走大会は、本連合創立5年目の昭和26年3月21日、「大阪府下青年郡市対抗駅伝競技大会」の名称で第1回大会が行われました。開催初期は一般公道での競技会で、沿道から大きな声援があったと当時の新聞記事に出ています。その後、幾度かのコース変更を経て、現在の姿となりました。

今では、大阪府市町村対抗駅伝競走大会として大規模な大会となり、ランナーの心から心にその伝統と敢闘精神のタスキは今も受け継がれています。

1 大会の変遷

回	コース	競技距離(参加チーム数)				備考
		一般男子	一般女子	ジュニア男子	ジュニア女子	
1	泉佐野市～大和川大橋 間	不詳 (不詳)				S.26.3.21開催
2	布施市～新大阪新聞社 間	不詳 (不詳)				S.27.1.27
3	高槻市～守口市 間	不詳 (不詳)				S.28.2.22
4	泉佐野市(泉佐野市警前) ～堺市(堺市役所前) 間	27.7K (23)				S.29.2.28
5	泉佐野市(南海泉佐野駅下り) ～堺市(大浜中学校) 間	22.3K (不詳)				S30.2.20
6	〃	22.3K (30)				S.31.2.26
7	〃	22.3K (29)				S.32.2.24
8	泉佐野市(南海泉佐野駅下り) ～堺市(堺市役所前) 間	27.7K (33)				S.33.2.23
9	泉佐野市(第二中学校前) ～堺市(大浜) 間	22.5K (26)				S.34.2.15
10	〃	22.5K (30)				S.35.2.28
11	〃	22.5K (29)				S.36.2.26
12	〃	22.5K (37)				S.37.2.25
13	堺市(金岡公園 ～金剛駅下り間 折り返し)	27.4K (29)				S.38.2.24
14	〃	27.4K (30)				S.39.2.23
15	堺市(府立大学前 ～河内長野駅下り間折り返し)	25.2K (29)				S.40.2.28
16	〃	25.2K (29)				S.41.2.21
17	大阪市長居陸上競技場 ランプウェイ・周回コース	24.1K (30)				S.42.2.26
18	〃	24.1K (33)				S.43.2.25
19	〃	24.1K (30)				S.44.2.23
20	〃	24.1K (32)				S45.2.22

回	コース	競技距離(参加チーム数)				備考
		一般男子	一般女子	ジュニア男子	ジュニア女子	
21	大阪市長居陸上競技場 ランプウェイ・周回コース	24.1K (30)				S.46.2.28
22	〃	24.1K (27)				S.47.2.27
23	〃	24.1K (25)				S.48.2.25
24	〃	24.1K (24)				S.49.2.24
25	〃	24.1K (21)				S.50.2.23
26	〃	24.1K (21)	第26回大会から、「大阪市町村対抗駅伝競走 大会」と名称変更			S.51.2.29
27	〃	24.1K (25)				S.52.2.27
28	〃	24.1K (23)				S.53.2.26
29	〃	24.1K (21)				S.54.2.25
30	〃	24.1K (24)				S.55.2.25
31	〃	24.1K (23)				S.56.2.22
32	大阪市長居陸上競技場・周回コース	24.2K (24)		24.8K (21)		S.57.2.28 ジュニアの部創設
33	〃	24.2K (31)		24.8K (21)		S.58.2.27
34	〃	24.2K (26)		24.8K (22)		S.59.2.26
35	〃	24.2K (25)		24.8K (28)		S.60.2.24
36	〃	24.2K (26)		24.8K (24)		S.61.2.23
37	〃	24.2K (26)		24.8K (21)		S.62.2.22
38	〃	24.2K (20)		24.8K (22)		S.63.2.28
39	〃	24.2K (27)		24.8K (22)		H.1.2.26
40	〃	24.2K (25)	14.6K (13)	24.8K (19)		H.2.2.25 一般女子の部創設
41	〃	24.2K (24)	14.6K (15)	24.8K (20)		H.3.2.24
42	〃	24.2K (27)	14.6K (17)	24.8K (22)		H.4.2.23
43	大阪市長居陸上競技場・周回コースのみ	21.2K (25)	12.8K (12)	21.2K (22)		H.5.2.28

回	コース	競技距離(参加チーム数)				備考
		一般男子	一般女子	ジュニア男子	ジュニア女子	
44	大阪市長居第2陸上競技場・周回コース	23.6K (23)	14.2K (7)	24.1K (20)		H.6.2.27
45	〃	23.6K (24)	14.2K (10)	24.1K (19)		H.7.2.26
46	大阪市長居陸上競技場・周回コースのみ	21.2K (21)	12.8K (10)	21.2K (21)	11.2K (19)	H.8.2.25 ジュニア女子の部創設
47	大阪市長居第2陸上競技場・周回コース	23.6K (22)	14.2K (8)	23.1K (22)	13.2K (20)	H.9.2.23
48	〃	23.6K (21)	14.2K (11)	23.1K (26)	13.2K (25)	H.10.2.22
49	〃	23.6K (12)	14.2K (6)	23.1K (26)	13.2K (25)	H.11.2.21
50	〃	23.70K (12)	11.25K (6)	23.18K (26)	13.25K (25)	H.12.2.20
51	〃	23.70K (16)	11.25K (8)	23.18K (28)	13.25K (29)	H.13.2.11
52	万博記念陸上競技場・万博公園 周回コース	26.60K (14)	13.20K (7)	22.8K (23)	13.2K (25)	H.15.2.9
53	〃	26.60K (11)	13.20K (6)	22.8K (24)	13.2K (25)	H.16.2.8
54	〃	24.10K (13)	15.90K (8)	27.6K (24)	15.9K (27)	H.17.2.13
55	服部緑地陸上競技場・服部緑地公園 周回コース	22.8K (11)	12.8K (8)	22.70K (25)	12.80K (25)	H.18.2.12
56	〃	25.6K (14)	14.0K (9)	29.4K (25)	14.0K (25)	H.19.2.11
57	〃	25.6K (17)	14.0K (9)	24.2K (20)	14.0K (25)	H.20.2.10降雪により中止
58	〃	24.4K (15)	13.9K (9)	24.6K (23)	13.9K (25)	H.21.2.8
59	〃	24.4K (13)	13.9K (10)	24.6K (25)	17.4K (27)	H.22.2.7
60	〃	24.4K (16)	13.9K (10)	24.6K (25)	17.4K (25)	H.23.2.13
61	〃	21.2K (14)	17.8K (10)	21.2K (26)	17.8K (25)	H.24.2.12
62	服部緑地「集いの原っぱ」・服部緑地公園 周回コース	18.4K (14)	15.4K (10)	18.4K (27)	15.4K (25)	H.25.2.10
63	服部緑地陸上競技場・服部緑地公園 周回コース	21.2K (14)	17.8K (10)	21.2K (32)	17.8K (30)	H.26.2.9
64	〃	21.2K (13)	17.8K (11)	21.2K (31)	17.8K (31)	H.27.2.8
65	〃	21.2K (12)	17.8K (10)	21.2K (31)	17.8K (27)	H.28.2.14

※各回大会(当時)の実施種別区分は、現在の実施区分で区分した。

2 大会記録

(1) 一般男子の部 (第32回大会から一般の部、第40回大会から現行種別名称)

○第1～3大会《一般公道》

【大会記録】(不詳)

○第4・8回大会《一般公道：泉佐野市(泉佐野駅下り)～堺市(堺市役所)間 競技距離27.7K》

【大会記録】第8回大会 貝塚市Aチーム 1時間31分00秒

○第5～7回大会《一般公道：泉佐野市(泉佐野駅下り)～堺市(大浜中学校)間 競技距離22.3K》

【大会記録】第7回 貝塚市チーム 1時間12分25秒

○第9～12回大会《一般公道：泉佐野市(第二中学校)～堺市(大浜)間 競技距離22.5K》

【大会記録】第12回大会 貝塚市チーム 1時間11分24秒

○第13・14回大会《一般公道：堺市(金岡公園)～富田林市(金剛駅下り)間折り返し 競技距離27.4K》

【大会記録】第13回大会 貝塚チーム 1時間17分28秒

○第15・16回大会《一般公道：堺市(府立大学前)～河内長野市(河内長野駅下り)間折り返し 競技距離25.2K》

【大会記録】第15回大会 堺市Aチーム 1時間17分42秒

○第17～31回大会《大阪市長居陸上競技場ランプウェイ・周回コース 競技距離24.1K》

【大会記録】第27回大会 和泉市チーム 1時間15分05秒

○第32～42回大会《大阪市長居陸上競技場・周回コース 競技距離24.2K》

【大会記録】第35回大会 高槻市Aチーム 1時間11分52秒

○第43・46回大会《大阪市長居陸上競技場周回コースのみ 競技距離21.2K》

【大会記録】第46回大会 枚方市Aチーム 1時間05分43秒

○第44・45・47～49回大会《大阪市長居第2陸上競技場・周回コース 競技距離23.6K》

【大会記録】第49回大会 高槻市Aチーム 1時間13分24秒

○第50・51回大会《大阪市長居第2陸上競技場・周回コース 競技距離23.7K》

【大会記録】第51回大会 堺市チーム 1時間13分23秒

○第52・53回大会《万博記念陸上競技場・万博公園周回コース 競技距離26.6K》

【大会記録】第52回大会 和泉市Aチーム 1時間21分22秒

○第54回大会《万博記念陸上競技場・万博公園周回コース 競技距離24.1K》

【大会記録】第54回大会 和泉市チーム 1時間15分07秒

○第55回大会《服部緑地陸上競技場・服部緑地公園周回コース 競技距離22.8K》

【大会記録】第55回大会 和泉市チーム 1時間11分46秒

○第56回大会《服部緑地陸上競技場・服部緑地公園周回コース 競技距離25.6K》

【大会記録】第56回大会 枚方市チーム 1時間20分23秒

○第58回～第60回大会《服部緑地陸上競技場・服部緑地公園周回コース 競技距離24.4K》

【大会記録】第59回大会 和泉市Aチーム 1時間15分39秒

○第61回・第63回～第65回大会《服部緑地陸上競技場・服部緑地公園周回コース 競技距離21.2K》

【大会記録】第64回大会 和泉市Aチーム 1時間07分36秒

○第 62 回大会《服部緑地「集いの原っぱ」・服部緑地周回コース 競技距離 18.4K》

【大会記録】第 62 回大会 和泉市 A チーム 56 分 53 秒

(2) 一般女子の部 (第 40 回大会から創設)

○第 40～42 回大会《大阪市長居陸上競技場・周回コース 競技距離 14.6K》

【大会記録】第 40 回大会 吹田市 A チーム 55 分 19 秒

○第 43・46 回大会《大阪市長居陸上競技場・周回コースのみ 競技距離 12.8K》

【大会記録】第 46 回大会 吹田市 A チーム 46 分 05 秒

○第 44・45・47～49 回大会《大阪市長居第 2 陸上競技場・周回コース 競技距離 14.2K》

【大会記録】第 48 回大会 吹田市 A チーム 51 分 32 秒

○第 50・51 回大会《大阪市長居第 2 陸上競技場・周回コース 競技距離 14.25K》

【大会記録】第 51 回大会 吹田市 A チーム 53 分 41 秒

○第 52・53 回大会《万博記念陸上競技場・万博公園周回コース 競技距離 13.2K》

【大会記録】第 52 回大会 吹田市 A チーム 48 分 50 秒

○第 54 回大会《万博記念陸上競技場・万博公園周回コース 競技距離 15.9K》

【大会記録】第 54 回大会 吹田市 A チーム 1 時間 01 分 31 秒

○第 55 回大会《服部緑地陸上競技場・服部緑地公園周回コース 競技距離 12.7K》

【大会記録】第 55 回大会 和泉市チーム 50 分 21 秒

○第 56 回大会《服部緑地陸上競技場・服部緑地公園周回コース 競技距離 14.0K》

【大会記録】第 56 回大会 吹田市 A チーム 55 分 46 秒

○第 58 回～第 60 回大会《服部緑地陸上競技場・服部緑地公園周回コース 競技距離 13.9K》

【大会記録】第 59 回大会 吹田市 A チーム 53 分 26 秒

○第 61 回・第 63 回～第 65 回大会《服部緑地陸上競技場・服部緑地公園周回コース 競技距離 17.8K》

【大会記録】第 61 回大会 吹田市 A チーム 1 時間 10 分 14 秒

○第 62 回大会《服部緑地「集いの原っぱ」・服部緑地公園周回コース 競技距離 15.4K》

【大会記録】第 62 回大会 吹田市 A チーム 59 分 15 秒

(3) ジュニア男子の部 (第 32 回大会からジュニアの部として創設、第 46 回大会から現行種別名称)

○第 32～42 回大会《大阪市長居陸上競技場・周回コース 競技距離 24.8K》

【大会記録】第 40 回大会 吹田市チーム 1 時間 18 分 27 秒

○第 43・46 回大会《大阪市長居陸上競技場・周回コースのみ 競技距離 21.2K》

【大会記録】第 46 回大会 東大阪市チーム 1 時間 08 分 57 秒

○第 47～49 回大会《大阪市長居第 2 陸上競技場・周回コース 競技距離 23.1K》

【大会記録】第 47 回大会 堺市チーム 1 時間 14 分 25 秒

第 48 回大会 堺市チーム " (同タイム)

○第 50・51 回大会《大阪市長居第 2 陸上競技場・周回コース 競技距離 23.18K》

【大会記録】第 50 回大会 吹田市 A チーム 1 時間 15 分 02 秒

○第 52・53 回大会《万博記念陸上競技場・万博公園周回コース 競技距離 22.8K》

【大会記録】第 53 回大会 茨木市 A チーム 1 時間 11 分 43 秒

○第 54 回大会《万博記念陸上競技場・万博公園周回コース 競技距離 27.6K》

- 【大会記録】第54回大会 茨木市Aチーム 1時間30分00秒
- 第55回大会《服部緑地陸上競技場・服部緑地公園周回コース 競技距離22.7K》
- 【大会記録】第55回大会 茨木市Aチーム 1時間13分54秒
- 第56回大会《服部緑地陸上競技場・服部緑地周回コース 競技距離29.4K》
- 【大会記録】第56回大会 茨木市Aチーム 1時間36分53秒
- 第58回～第60回大会《服部緑地陸上競技場・服部緑地周回コース 競技距離24.6K》
- 【大会記録】第60回大会 泉大津市Aチーム 1時間18分32秒
- 第61回・第63回～第65回大会《服部緑地陸上競技場・服部緑地周回コース 競技距離21.2K》
- 【大会記録】第64回大会 茨木市Aチーム 1時間07分33秒
- 第62回大会《服部緑地「集いの原っぱ」・服部緑地周回コース 競技距離18.4K》
- 【大会記録】第62回大会 泉大津市Aチーム 58分00秒

(4) ジュニア女子の部 (第46回大会から創設)

- 第46回大会《大阪市長居陸上競技場・周回コースのみ 競技距離11.2K》
- 【大会記録】第46回大会 吹田市Aチーム 40分21秒
- 第47～49回大会《大阪市長居第2陸上競技場・周回コース 競技距離13.2K》
- 【大会記録】第48回大会 吹田市Aチーム 47分37秒
- 第50・51回大会《大阪市長居第2陸上競技場・周回コース 競技距離13.25K》
- 【大会記録】第51回大会 富田林市チーム 47分40秒
- 第52・53回大会《万博記念陸上競技場・万博公園周回コース 競技距離13.2K》
- 【大会記録】第52回大会 吹田市チーム 46分42秒
- 第54回大会《万博記念陸上競技場・万博公園周回コース 競技距離15.9K》
- 【大会記録】第54回大会 富田林市チーム 58分09秒
- 第55回大会《服部緑地陸上競技場・服部緑地公園周回コース 競技距離12.8K》
- 【大会記録】第55回大会 豊中市Aチーム 46分02秒
- 第56回大会《服部緑地陸上競技場・服部緑地周回コース 競技距離14.0K》
- 【大会記録】第56回大会 泉大津市Aチーム 52分53秒
- 第58回大会《服部緑地陸上競技場・服部緑地周回コース 競技距離13.9K》
- 【大会記録】第58回大会 豊中市Aチーム 50分52秒
- 第59・60回大会《服部緑地陸上競技場・服部緑地周回コース 競技距離17.4K》
- 【大会記録】第60回大会 堺市Aチーム 1時間01分35秒
- 第61回・第63回～第65回大会《服部緑地陸上競技場・服部緑地周回コース 競技距離17.8K》
- 【大会記録】第61回大会 和泉市Aチーム 1時間03分09秒
- 第62回大会《服部緑地「集いの原っぱ」・服部緑地周回コース 競技距離15.4K》
- 【大会記録】第62回大会 堺市Aチーム 54分33秒

3 大会成績

(1) 一般男子の部

回	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	備考
1	(成績不詳)						種別なし
2	(成績不詳)						
3	(成績不詳)						
4	吹田市A	布施市	北河内郡	岸和田市	豊能郡	三島郡	
	1° 31' 24"	1° 32' 59"	1° 33' 25"	1° 33' 33"	1° 34' 16"	1° 34' 19"	
5	布施市	貝塚市	吹田市	北河内郡	豊中市	堺市	
	1° 13' 45"	1° 14' 15"	1° 14' 24"	1° 15' 26"	1° 16' 24"	1° 16' 30"	
6	貝塚市	吹田市	北河内郡	南河内郡	布施市	泉南郡	
	1° 13' 15"	1° 15' 15"	1° 16' 29"	1° 16' 55"	1° 17' 36"	1° 18' 26"	
7	貝塚市	布施市	泉南郡	岸和田市	堺市	南河内郡	
	1° 12' 25"	1° 14' 02"	1° 15' 39"	1° 15' 39"	1° 16' 21"	1° 16' 42"	
8	貝塚市A	吹田市A	堺市A	八尾市	泉南郡A	守口市A	
	1° 31' 00"	1° 32' 00"	1° 32' 23"	1° 33' 52"	1° 34' 19"	1° 34' 40"	
9	貝塚市A	貝塚市B	北河内郡	岸和田市	吹田市	八尾市	
	1° 13' 27"	1° 14' 19"	1° 16' 40"	1° 17' 00"	1° 17' 09"	1° 17' 09"	
10	貝塚市A	豊中市	和泉市	大東市	岸和田市	布施市	
	1° 13' 12"	1° 14' 16"	1° 14' 41"	1° 16' 04"	1° 16' 08"	1° 16' 24"	
11	大東市	吹田市C	堺市A	泉南郡A	吹田市B	八尾市	
	1° 11' 57"	1° 12' 32"	1° 12' 52"	1° 13' 01"	1° 13' 24"	1° 13' 47"	
12	貝塚市	岸和田市	高槻市B	吹田市A	堺市A	泉南郡	
	1° 11' 24"	1° 12' 31"	1° 13' 27"	1° 13' 49"	1° 14' 15"	1° 14' 28"	
13	貝塚市	吹田市A	守口市	堺市	大東市A	豊中市A	
	1° 17' 28"	1° 20' 19"	1° 20' 24"	1° 21' 01"	1° 21' 08"	1° 21' 13"	
14	貝塚市	堺市A	守口市	吹田市A	大東市	和泉市A	
	1° 19' 36"	1° 21' 24"	1° 22' 20"	1° 22' 20"	1° 22' 59"	1° 23' 08"	
15	堺市A	貝塚市	和泉市	吹田市A	池田市	豊中市A	
	1° 17' 42"	1° 18' 06"	1° 19' 30"	1° 19' 54"	1° 20' 04"	1° 20' 12"	
16	貝塚市	堺市A	池田市	吹田市A	豊中市A	茨木市A	
	1° 17' 45"	1° 18' 43"	1° 19' 10"	1° 19' 28"	1° 20' 24"	1° 21' 16"	
17	堺市A	和泉市A	和泉市B	池田市	茨木市A	茨木市C	
	1° 17' 28"	1° 18' 23"	1° 18' 33"	1° 18' 48"	1° 18' 54"	1° 20' 07"	
18	和泉市A	堺市A	門真市A	茨木市B	池田市A	守口市A	
	1° 15' 43"	1° 16' 23"	1° 17' 25"	1° 18' 01"	1° 18' 02"	1° 18' 20"	
19	和泉市A	東大阪市A	堺市A	池田市A	吹田市A	堺市B	
	1° 15' 23"	1° 16' 12"	1° 16' 22"	1° 16' 41"	1° 17' 46"	1° 18' 04"	
20	東大阪市	吹田市A	茨木市B	枚方市A	和泉市A	堺市A	
	1° 15' 08"	1° 15' 08"	1° 16' 05"	1° 16' 25"	1° 16' 27"	1° 17' 04"	
21	東大阪市	吹田市A	池田市	堺市A	寝屋川市A	守口市A	
	1° 15' 51"	1° 16' 31"	1° 16' 36"	1° 17' 30"	1° 17' 42"	1° 18' 00"	
22	吹田市A	池田市	守口市A	東大阪市	高槻市	泉大津市	
	1° 17' 16"	1° 17' 34"	1° 17' 55"	1° 18' 04"	1° 19' 15"	1° 19' 35"	
23	守口市	高槻市A	東大阪市	富田林市	枚方市	豊中市A	
	1° 17' 15"	1° 17' 34"	1° 17' 46"	1° 17' 49"	1° 17' 49"	1° 18' 21"	
24	吹田市	寝屋川市	枚方市	堺市	富田林市	豊中市	
	1° 15' 52"	1° 16' 15"	1° 16' 34"	1° 17' 12"	1° 17' 40"	1° 17' 57"	
25	枚方市	東大阪市	寝屋川市	豊中市	吹田市	和泉市	
	1° 16' 59"	1° 17' 14"	1° 17' 18"	1° 17' 26"	1° 17' 36"	1° 17' 43"	
26	枚方市	吹田市	堺市	豊中市	高石市	寝屋川市	
	1° 16' 12"	1° 17' 52"	1° 18' 14"	1° 18' 17"	1° 18' 31"	1° 18' 44"	
27	和泉市	枚方市	堺市A	吹田市A	豊中市	高石市	
	1° 15' 05"	1° 15' 16"	1° 16' 44"	1° 17' 22"	1° 17' 16"	1° 17' 46"	
28	枚方市A	堺市A	八尾市A	和泉市	豊中市	高石市	
	1° 15' 25"	1° 16' 43"	1° 16' 55"	1° 17' 45"	1° 18' 17"	1° 18' 20"	
29	枚方市A	八尾市A	堺市A	吹田市A	和泉市	高槻市A	
	1° 16' 23"	1° 17' 18"	1° 17' 22"	1° 18' 13"	1° 18' 28"	1° 18' 34"	

回	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	備 考
30	高槻市A	八尾市A	堺市A	枚方市A	寝屋川市	豊中市	
	1° 16' 14"	1° 16' 34"	1° 16' 50"	1° 17' 14"	1° 19' 21"	1° 19' 38"	
31	和泉市A	高槻市A	寝屋川市	堺市A	八尾市A	枚方市A	
	1° 15' 44"	1° 15' 56"	1° 16' 32"	1° 16' 50"	1° 17' 08"	1° 17' 31"	
32	堺市A	高槻市A	和泉市A	枚方市	寝屋川市	吹田市A	種別名：一般の部
	1° 12' 54"	1° 13' 08"	1° 15' 34"	1° 15' 48"	1° 15' 57"	1° 16' 00"	
33	高槻市A	吹田市A	堺市A	高槻市B	寝屋川市	枚方市A	
	1° 12' 48"	1° 15' 38"	1° 15' 49"	1° 15' 51"	1° 16' 03"	1° 16' 25"	
34	堺市A	池田市	高槻市A	八尾市	豊中市	高槻市B	
	1° 13' 30"	1° 13' 52"	1° 14' 02"	1° 16' 43"	1° 17' 46"	1° 17' 57"	
35	高槻市A	池田市	堺市A	枚方市A	吹田市A	高槻市B	
	1° 11' 52"	1° 13' 07"	1° 14' 41"	1° 15' 50"	1° 16' 35"	1° 16' 53"	
36	高槻市A	堺市A	岸和田市	枚方市	豊中市	高槻市B	
	1° 13' 07"	1° 15' 28"	1° 16' 49"	1° 17' 26"	1° 17' 29"	1° 17' 32"	
37	高槻市A	堺市A	枚方市	岸和田市	豊中市	高石市	
	1° 13' 05"	1° 14' 48"	1° 15' 54"	1° 17' 03"	1° 17' 06"	1° 17' 12"	
38	堺市A	高石市	門真市A	堺市B	豊中市	枚方市	
	1° 14' 43"	1° 16' 23"	1° 17' 16"	1° 17' 29"	1° 17' 46"	1° 17' 55"	
39	枚方市	堺市A	和泉市A	岸和田市	豊中市A	吹田市A	
	1° 15' 11"	1° 16' 47"	1° 17' 02"	1° 18' 04"	1° 18' 06"	1° 19' 11"	
40	堺市A	和泉市B	高槻市A	枚方市	泉佐野市	豊中市	種別名：一般男子の部
	1° 13' 34"	1° 14' 26"	1° 15' 59"	1° 16' 26"	1° 17' 04"	1° 18' 07"	
41	和泉市	枚方市	高槻市	泉佐野市	堺市A	豊中市	
	1° 16' 14"	1° 17' 48"	1° 18' 01"	1° 19' 22"	1° 19' 25"	1° 19' 52"	
42	堺市A	枚方市	和泉市A	高槻市A	泉佐野市	和泉市B	
	1° 14' 55"	1° 16' 17"	1° 16' 41"	1° 17' 22"	1° 19' 37"	1° 19' 43"	
43	高槻市A	堺市	枚方市	和泉市A	豊中市	吹田市A	
	1° 05' 59"	1° 06' 09"	1° 07' 15"	1° 07' 56"	1° 08' 03"	1° 08' 35"	
44	枚方市A	堺市	高槻市A	吹田市A	和泉市	豊中市	
	1° 13' 31"	1° 13' 53"	1° 14' 38"	1° 15' 31"	1° 15' 36"	1° 16' 51"	
45	堺市	吹田市A	枚方市A	和泉市A	高槻市A	東大阪市	
	1° 14' 24"	1° 15' 12"	1° 16' 41"	1° 17' 29"	1° 18' 10"	1° 18' 53"	
46	枚方市A	和泉市A	吹田市A	貝塚市	高槻市A	八尾市	
	1° 05' 43"	1° 06' 42"	1° 06' 44"	1° 07' 29"	1° 08' 18"	1° 09' 57"	
47	枚方市A	和泉市A	高槻市A	吹田市A	豊中市	高槻市B	
	1° 14' 00"	1° 14' 47"	1° 15' 32"	1° 15' 35"	1° 17' 14"	1° 18' 26"	
48	高槻市A	堺市	枚方市A	泉佐野市	吹田市A	東大阪市	
	1° 14' 14"	1° 15' 06"	1° 16' 12"	1° 17' 34"	1° 17' 39"	1° 18' 27"	
49	高槻市A	枚方市	高槻市B	豊中市A	吹田市A	八尾市	
	1° 13' 24"	1° 16' 07"	1° 17' 13"	1° 18' 47"	1° 19' 44"	1° 20' 36"	
50	高槻市A	和泉市A	羽曳野市	枚方市	吹田市A	高槻市B	
	1° 13' 57"	1° 14' 33"	1° 17' 33"	1° 17' 47"	1° 18' 57"	1° 20' 12"	
51	堺市	高槻市A	枚方市A	羽曳野市	吹田市A	豊中市	
	1° 13' 23"	1° 15' 40"	1° 16' 25"	1° 17' 17"	1° 17' 18"	1° 20' 50"	
52	和泉市A	和泉市B	吹田市A	貝塚市A	枚方市A	高槻市A	
	1° 21' 22"	1° 24' 31"	1° 27' 24"	1° 27' 31"	1° 28' 19"	1° 29' 39"	
53	高槻市A	和泉市	枚方市	吹田市A	東大阪市	岸和田市	
	1° 25' 11"	1° 25' 54"	1° 26' 48"	1° 28' 05"	1° 29' 17"	1° 31' 10"	
54	和泉市	枚方市	高槻市A	吹田市A	東大阪市	羽曳野市	
	1° 15' 07"	1° 16' 56"	1° 17' 19"	1° 19' 16"	1° 19' 28"	1° 19' 45"	
55	和泉市	枚方市	高槻市A	吹田市A	岸和田市	東大阪市	
	1° 11' 46"	1° 15' 28"	1° 16' 51"	1° 17' 00"	1° 17' 14"	1° 18' 54"	
56	枚方市	和泉市	吹田市A	羽曳野市	高槻市A	岸和田市	
	1° 20' 23"	1° 21' 36"	1° 23' 03"	1° 23' 38"	1° 24' 00"	1° 29' 04"	
57	降雪により中止						
58	高槻市A	吹田市A	和泉市A	豊中市A	茨木市A	東大阪市A	
	1° 18' 34"	1° 18' 55"	1° 19' 01"	1° 20' 48"	1° 21' 09"	1° 21' 57"	
59	和泉市A	吹田市A	高槻市A	枚方市A	豊中市A	茨木市A	
	1° 15' 39"	1° 19' 34"	1° 20' 55"	1° 21' 18"	1° 22' 31"	1° 23' 24"	
60	和泉市A	豊中市A	高槻市A	枚方市A	吹田市A	東大阪市A	
	1° 17' 21"	1° 19' 25"	1° 21' 03"	1° 22' 07"	1° 22' 20"	1° 23' 05"	

回	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	備考
61	和泉市A	吹田市A	枚方市A	茨木市A	高槻市A	八尾市A	
	1° 06' 02"	1° 06' 57"	1° 09' 48"	1° 10' 02"	1° 11' 07"	1° 11' 18"	
62	和泉市A	高槻市A	枚方市A	吹田市A	東大阪市A	貝塚市A	
	56' 53"	59' 12"	59' 13"	59' 57"	1° 01' 30"	1° 02' 08"	
63	和泉市A	枚方市A	茨木市A	吹田市A	東大阪市A	高槻市A	
	1° 07' 43"	1° 10' 55"	1° 11' 13"	1° 11' 45"	1° 12' 19"	1° 12' 22"	
64	和泉市A	貝塚市A	枚方市A	高槻市A	東大阪市A	吹田市A	
	1° 07' 36"	1° 08' 50"	1° 10' 28"	1° 11' 12"	1° 11' 34"	1° 12' 10"	
65	和泉市A	高槻市A	枚方市A	貝塚市A	吹田市A	東大阪市A	
	1° 07' 40"	1° 09' 49"	1° 11' 28"	1° 12' 07"	1° 12' 19"	1° 12' 42"	

(2) 一般女子の部
(第40回大会から創設)

回	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	備考
40	吹田市A	和泉市	豊中市	枚方市A	吹田市B	松原市	種別名:一般女子の部
	55' 19"	56' 47"	56' 58"	58' 35"	59' 51"	1° 01' 20"	
41	吹田市A	豊中市A	和泉市	枚方市A	堺市	吹田市B	
	56' 02"	56' 22"	56' 35"	58' 14"	59' 48"	1° 00' 21"	
42	吹田市A	堺市B	豊中市	吹田市B	和泉市	堺市A	
	55' 44"	58' 18"	58' 19"	58' 30"	58' 52"	59' 35"	
43	吹田市A	和泉市	堺市	高槻市	吹田市B	豊中市	
	47' 51"	49' 02"	49' 15"	49' 31"	50' 38"	50' 41"	
44	吹田市A	堺市	高槻市	和泉市	河内長野市	吹田市B	
	52' 10"	53' 55"	54' 14"	54' 25"	56' 44"	57' 26"	
45	和泉市	吹田市A	吹田市B	泉佐野市	枚方市A	河内長野市	
	53' 18"	54' 18"	57' 41"	57' 57"	58' 20"	58' 49"	
46	吹田市A	和泉市	吹田市B	堺市	枚方市A	河内長野市	
	46' 05"	48' 27"	49' 15"	50' 40"	51' 09"	52' 06"	
47	吹田市A	和泉市	吹田市B	堺市	高槻市	枚方市	
	51' 58"	54' 40"	56' 54"	58' 51"	59' 48"	1° 00' 04"	
48	吹田市A	和泉市	豊中市A	堺市	枚方市A	東大阪市	
	51' 32"	52' 43"	54' 01"	55' 55"	55' 56"	56' 33"	
49	吹田市A	吹田市B	高槻市	東大阪市	枚方市	豊中市	
	53' 32"	57' 37"	58' 59"	59' 25"	1° 00' 24"	1° 04' 31"	
50	吹田市A	東大阪市	豊中市	高槻市A	枚方市	吹田市B	
	53' 32"	54' 56"	55' 00"	56' 28"	58' 32"	58' 55"	
51	吹田市A	枚方市A	吹田市B	堺市	高槻市	東大阪市	
	53' 41"	55' 15"	56' 47"	57' 12"	57' 37"	58' 50"	
52	吹田市A	東大阪市A	高槻市A	吹田市B	枚方市A	堺市A	
	48' 50"	49' 42"	50' 41"	51' 52"	52' 37"	55' 06"	
53	東大阪市A	吹田市A	吹田市B	高槻市	枚方市	東大阪市B	
	49' 04"	49' 19"	53' 19"	54' 17"	54' 30"	58' 21"	
54	吹田市A	東大阪市A	豊中市	貝塚市	枚方市	高槻市	
	1° 01' 31"	1° 03' 09"	1° 03' 58"	1° 04' 40"	1° 05' 18"	1° 06' 34"	
55	吹田市A	東大阪市A	豊中市	岸和田市	高槻市	吹田市B	
	50' 21"	51' 46"	51' 59"	53' 51"	53' 53"	53' 54"	
56	吹田市A	羽曳野市	東大阪市A	高槻市	枚方市	岸和田市	
	55' 46"	56' 35"	57' 32"	59' 16"	59' 41"	1° 00' 40"	
57	降雪により中止						
58	吹田市A	豊中市A	東大阪市A	枚方市A	八尾市A	吹田市B	
	52' 55"	56' 31"	57' 03'	57' 46"	58' 27"	58' 51"	
59	吹田市A	豊中市A	東大阪市A	高槻市A	吹田市B	豊中市B	
	52' 26"	54' 41"	55' 18"	57' 32"	57' 44"	59' 01"	
60	吹田市A	東大阪市A	豊中市A	堺市A	高槻市A	吹田市B	
	52' 46"	53' 46"	54' 53"	55' 10"	56' 22"	58' 22"	
61	吹田市A	堺市A	東大阪市A	吹田市A	高槻市A	東大阪B	
	1° 10' 14"	1° 10' 44"	1° 11' 35"	1° 14' 10"	1° 14' 53"	1° 22' 01"	
62	吹田市A	堺市A	東大阪市A	高槻市A	茨木市A	枚方市A	
	59' 15"	1° 00' 34"	1° 01' 21"	1° 02' 03"	1° 03' 58"	1° 05' 24"	
63	堺市A	吹田市A	東大阪市A	枚方市A	高槻市A	和泉市A	
	1° 12' 32"	1° 13' 14"	1° 13' 29"	1° 14' 27"	1° 15' 12"	1° 16' 39"	
64	吹田市A	高槻市A	東大阪市A	枚方市A	和泉市A	堺市A	
	1° 12' 23"	1° 13' 30"	1° 14' 43"	1° 15' 54"	1° 17' 27"	1° 17' 58"	
65	吹田市A	枚方市A	東大阪市A	吹田市B	高槻市A	堺市A	
	1° 12' 19"	1° 12' 48"	1° 13' 59"	1° 14' 28"	1° 15' 26"	1° 15' 35"	

(3) ジュニア男子の部
(第32回大会から創設)

回	1位	2位	3位	4位	5位	6位	備考
32	堺市 1° 20' 06"	東大阪市 1° 20' 17"	島本町 1° 21' 06"	吹田市 1° 23' 12"	貝塚市 1° 23' 20"	羽曳野市 1° 23' 37"	種別名:ジュニアの部
33	東大阪市 1° 19' 59"	堺市 1° 20' 20"	門真市 1° 21' 03"	吹田市 1° 21' 18"	枚方市 1° 21' 20"	豊中市 1° 22' 06"	
34	堺市 1° 20' 40"	吹田市 1° 21' 11"	門真市 1° 21' 20"	東大阪市 1° 21' 21"	寝屋川市 1° 21' 55"	交野市 1° 21' 56"	
35	堺市 1° 20' 31"	島本町 1° 21' 00"	東大阪市 1° 22' 43"	松原市 1° 22' 17"	枚方市 1° 22' 40"	交野市 1° 22' 52"	
36	貝塚市 1° 20' 11"	枚方市 1° 20' 58"	東大阪市 1° 21' 24"	泉佐野市 1° 21' 50"	寝屋川市 1° 21' 51"	松原市 1° 22' 01"	
37	松原市 1° 18' 52"	寝屋川市 1° 18' 58"	吹田市 1° 19' 11"	堺市 1° 19' 44"	貝塚市 1° 19' 49"	枚方市 1° 20' 10"	
38	貝塚市 1° 19' 09"	枚方市 1° 20' 13"	東大阪市 1° 20' 35"	泉大津市 1° 20' 48"	松原市 1° 20' 52"	堺市 1° 21' 24"	
39	泉大津市 1° 20' 04"	貝塚市 1° 20' 27"	吹田市 1° 21' 00"	堺市 1° 21' 37"	東大阪市 1° 21' 38"	泉佐野市 1° 21' 57"	
40	吹田市 1° 18' 27"	堺市 1° 20' 01"	泉佐野市 1° 20' 29"	泉大津市 1° 20' 51"	東大阪市 1° 21' 33"	寝屋川市 1° 21' 35"	
41	吹田市 1° 20' 01"	和泉市 1° 21' 18"	枚方市 1° 21' 26"	東大阪市 1° 22' 09"	泉佐野市 1° 22' 21"	堺市 1° 22' 29"	
42	吹田市 1° 19' 29"	枚方市 1° 20' 19"	泉佐野市 1° 20' 36"	堺市 1° 22' 56"	茨木市 1° 23' 17"	寝屋川市 1° 23' 17"	
43	泉佐野市 1° 09' 22"	吹田市 1° 09' 33"	堺市 1° 09' 48"	泉大津市 1° 10' 13"	和泉市 1° 10' 28"	島本町 1° 10' 59"	
44	東大阪市 1° 18' 58"	吹田市 1° 19' 11"	島本町 1° 20' 20"	枚方市 1° 20' 24"	堺市 1° 20' 27"	泉佐野市 1° 20' 37"	
45	東大阪市 1° 19' 57"	吹田市 1° 21' 08"	寝屋川市 1° 21' 27"	泉佐野市 1° 21' 32"	堺市 1° 22' 25"	泉佐野市 1° 22' 27"	
46	東大阪市 1° 08' 57"	堺市 1° 09' 23"	寝屋川市 1° 10' 03"	泉佐野市 1° 10' 11"	泉大津市 1° 11' 08'	吹田市 1° 11' 20"	種別名:ジュニア男子の部
47	堺市 1° 14' 25"	泉佐野市A 1° 15' 10"	豊中市 1° 16' 32"	東大阪市 1° 17' 09"	泉大津市 1° 17' 11"	吹田市 1° 18' 01"	
48	堺市 1° 14' 25"	豊中市A 1° 14' 51"	吹田市A 1° 16' 12"	泉佐野市A 1° 16' 20"	和泉市 1° 16' 40"	泉大津市 1° 16' 48"	
49	吹田市 1° 15' 56"	茨木市A 1° 15' 57"	豊中市A 1° 16' 18"	富田林市 1° 16' 52"	東大阪市 1° 17' 12"	和泉市 1° 18' 12"	
50	吹田市A 1° 15' 02"	茨木市A 1° 15' 28"	豊中市A 1° 15' 52"	和泉市 1° 16' 44"	富田林市 1° 16' 56"	豊能町 1° 18' 01"	
51	豊中市A 1° 15' 50"	茨木市A 1° 16' 19"	和泉市A 1° 16' 38"	富田林市 1° 16' 45"	吹田市 1° 17' 26"	東大阪市 1° 18' 17"	
52	豊中市A 1° 11' 56"	和泉市A 1° 13' 46"	茨木市A 1° 15' 38"	河南町A 1° 17' 05"	和泉市B 1° 17' 06"	吹田市A 1° 17' 24"	
53	茨木市A 1° 11' 43"	和泉市A 1° 13' 29"	吹田市 1° 14' 04"	貝塚市A 1° 14' 35"	泉大津市A 1° 14' 59"	高槻市 1° 15' 20"	
54	茨木市A 1° 30' 00"	高槻市 1° 32' 27"	貝塚市A 1° 32' 42"	東大阪市 1° 33' 08"	枚方市 1° 33' 31"	茨木市B 1° 34' 06"	
55	茨木市A 1° 13' 54"	堺市 1° 14' 14"	枚方市 1° 14' 39"	吹田市 1° 15' 14"	東大阪市 1° 15' 22"	泉大津市A 1° 15' 35"	
56	茨木市A 1° 36' 53"	泉大津市A 1° 37' 57"	豊中市A 1° 38' 37"	吹田市 1° 39' 49"	貝塚市A 1° 39' 58"	枚方市 1° 40' 17"	
57	降雪により中止						
58	茨木市A 1° 20' 23"	豊中市A 1° 20' 58"	泉大津市A 1° 21' 07"	堺市A 1° 21' 22"	和泉市A 1° 22' 45"	貝塚市A 1° 23' 07"	
59	茨木市A 1° 20' 13"	堺市A 1° 20' 36"	泉大津市A 1° 20' 46"	東大阪市A 1° 21' 00"	豊中市A 1° 21' 11"	茨木市B 1° 23' 11"	
60	泉大津市A 1° 18' 32"	東大阪市A 1° 20' 28"	豊中市A 1° 21' 29"	茨木市A 1° 21' 33"	堺市A 1° 21' 38"	枚方市A 1° 22' 15"	
61	泉大津市A 1° 08' 14"	枚方市A 1° 09' 39"	堺市A 1° 10' 07"	東大阪市A 1° 10' 11"	茨木市A 1° 10' 15"	豊中市A 1° 10' 20"	
62	泉大津市A 58' 00"	豊中市A 58' 45"	泉大津市B 58' 47"	茨木市A 59' 29"	堺市A 1° 00' 38"	和泉市A 1° 00' 40"	
63	泉大津市A 1° 08' 31"	茨木市A 1° 09' 07"	豊中市A 1° 09' 36"	堺市B 1° 09' 48"	東大阪市A 1° 09' 49"	羽曳野市A 1° 10' 25"	
64	茨木市A 1° 07' 33"	枚方市A 1° 08' 15"	堺市A 1° 08' 17"	豊中市A 1° 08' 17"	茨木市B 1° 09' 08"	田尻町A 1° 10' 27"	
65	豊中市A 1° 09' 11"	枚方市A 1° 09' 16"	堺市A 1° 10' 14"	田尻町A 1° 10' 29"	和泉市A 1° 11' 12"	吹田市A 1° 12' 14"	

(4) ジュニア女子の部
(第46回大会から創設)

回	1位	2位	3位	4位	5位	6位	備考
46	吹田市A 40' 21"	堺市 40' 26"	泉佐野市 40' 29"	八尾市A 41' 05"	吹田市B 41' 39"	茨木市A 41' 55"	種別名:ジュニア女子の部
47	泉佐野市A 47' 50"	吹田市 48' 17"	泉大津市 49' 44"	泉佐野市B 50' 19"	枚方市 50' 26"	茨木市A 50' 55"	
48	吹田市A 47' 37"	泉佐野市A 48' 59"	東大阪市 49' 23"	岸和田市 49' 47"	豊中市A 50' 14"	茨木市A 50' 19"	
49	吹田市A 47' 56"	泉大津市B 49' 29"	泉大津市A 49' 49"	吹田市B 50' 04'	枚方市 50' 04"	堺市A 52' 09"	
50	吹田市A 48' 51"	泉大津市B 49' 22"	東大阪市 49' 34"	枚方市 49' 49"	泉佐野市A 49' 55'	富田林市 49' 55'	
51	富田林市 47' 40"	泉大津市A 48' 17"	豊中市A 48' 40"	泉佐野市A 49' 09"	堺市A 50' 10"	枚方市 50' 26"	
52	吹田市A 47' 32"	泉大津市A 48' 09"	豊中市A 48' 11"	和泉市A 48' 24"	堺市A 48' 51"	泉佐野市A 48' 52"	
53	吹田市 46' 42"	泉大津市A 47' 19"	豊中市A 48' 05"	泉佐野市A 48' 20"	島本町 48' 22"	枚方市 48' 53"	
54	富田林市 58' 09"	豊中市A 58' 47"	吹田市 58' 56"	和泉市A 59' 02"	堺市A 59' 44"	泉大津市A 59' 55"	
55	豊中市A 46' 02"	泉大津市A 46' 49"	和泉市A 47' 27"	吹田市 47' 46"	島本町 48' 17"	和泉市B 48' 22"	
56	泉大津市A 52' 53"	豊中市A 53' 45"	和泉市A 53' 48"	茨木市A 54' 00"	泉佐野市A 54' 06"	吹田市 54' 12"	
57	降雪により中止						
58	豊中市A 50' 52"	堺市A 51' 29"	和泉市A 52' 27"	茨木市A 52' 40"	吹田市A 53' 08"	堺市B 53' 23"	
59	豊中市A 1° 03' 04"	堺市A 1° 03' 12"	和泉市A 1° 03' 23"	茨木市A 1° 05' 25"	豊中市B 1° 05' 49"	東大阪市A 1° 06' 03"	
60	堺市A 1° 01' 35"	和泉市A 1° 02' 51"	茨木市A 1° 03' 34"	豊中市A 1° 04' 14"	吹田市A 1° 04' 40"	泉大津市A 1° 05' 42"	
61	和泉市A 1° 03' 09"	堺市A 1° 03' 21"	吹田市A 1° 04' 16"	茨木市A 1° 04' 27"	枚方市A 1° 05' 49"	岸和田市A 1° 06' 28"	
62	堺市A 54' 33"	茨木市A 55' 14"	和泉市A 55' 23"	羽曳野市A 56' 44"	豊中市A 57' 42"	枚方市A 57' 43"	
63	和泉市A 1° 03' 49"	茨木市A 1° 04' 03"	堺市A 1° 04' 55"	豊中市A 1° 05' 23"	枚方市A 1° 05' 41"	泉大津市A 1° 05' 41"	
64	堺市A 1° 03' 26"	和泉市A 1° 04' 21"	茨木市A 1° 04' 37"	泉大津市A 1° 04' 42"	豊中市A 1° 06' 14"	茨木市B 1° 06' 29"	
65	豊中市A 1° 05' 27"	堺市A 1° 05' 43"	泉大津市A 1° 5' 56"	枚方市A 1° 7' 43"	豊中市B 1° 7' 53"	羽曳野市A 1° 8' 14"	

大阪府青年大会の歴史

府総体では、第8回大会(昭和29年)で「青年の部」を設置し、全国青年大会大阪府予選会を兼ねた「第1回大阪府青年大会」を開催しました。その後、昭和35年に大阪府青年団協議会が設立され、第26回大会(昭和47年)まで同協議会と共催で大会を運営しました。

昭和48年、この青年の部は、大阪府青年団協議会主催の「大阪府青年大会スポーツの部予選会」に引き継がれ、現在に至っています。

両大会併催の歴史は、本連合の活動の中でも特筆すべき事項のひとつです。

大阪府青年大会総合及び種目別優勝市町村

種目 回数	総合	陸上競技	バレーボール	卓球	すも	う柔道	剣道	備考
第1回 (S29年)	(総合1位) 泉南郡	(総合2位) 吹田市	(総合3位) 岸和田市	(総合4位)	(総合5位)	(総合6位)		※1
第2回 (S30年)	(総合1位) 貝塚市	(総合2位) 泉南郡	(総合3位) 布施市	(総合4位) 吹田市	(総合5位) 茨木市	(総合6位) 守口市		※1
第3回 (S31年)	泉南郡	泉南郡 男・泉南郡 女・泉南郡	泉南郡	吹田市	南河内郡	岸和田市		
第4回 (S32年)	泉南郡	泉南郡 男・泉南郡 女・泉南郡	泉南郡	高槻市	泉南郡	貝塚市	布施市	
第5回 (S33年)	堺市	泉南郡 男・河内長野市 女・泉南郡	堺市	高槻市	堺市	泉佐野市	布施市	
第6回 (S34年)	貝塚市	泉佐野市 男・和泉市 女・富田林市	堺市	河内市	貝塚市	岸和田市	布施市	
第7回 (S35年)	貝塚市	貝塚市 男・貝塚市 女・河内長野市	堺市	泉大津市	泉南郡	貝塚市	岸和田市	
第8回 (S36年)	(中止)							
第9回 (S37年)	高槻市	守口市 男・豊中市 女・守口市	男・守口市 女・高槻市	八尾市	泉南郡	河内長野市	富田林市	
第10回 (S38年)	高槻市	高槻市 男・高槻市 女・泉佐野市	男・河内市 女・堺市	布施市	貝塚市	高槻市	富田林市	
第11回 (S39年)	高槻市	貝塚市 男・堺市 女・河内長野市	男・高槻市 女・堺市	高槻市	泉佐野市	守口市	高槻市	
第12回 (S40年)	貝塚市	男・八尾市 女・泉佐野市	男・柏原市 女・守口市	(空位)	貝塚市	堺市	貝塚市	※2
第13回 (S41年)	堺市		男・枚方市 女・堺市	池田市	岸和田市	(空位)	守口市	
第16回 (S42年)	岸和田市		男・堺市 女・泉南郡	枚方市	堺市	枚方市	岸和田市	※3
第17回 (S43年)	八尾市		男・優勝なし 女・泉南郡	池田市	八尾市	高槻市	貝塚市	
第18回 (S44年)	高槻市		男・高槻市 女・守口市	高槻市	岸和田市	吹田市	吹田市	
第19回 (S45年)	(総合1位) 堺市	(総合2位) 岸和田市	(総合3位) 守口市	(総合4位) 八尾市	(総合5位) 貝塚市	(総合6位) 池田市		※1
第20回 (S46年)	(総合1位) 堺市	(総合2位) 岸和田市	(総合3位) 八尾市	(総合4位) 貝塚市	(総合5位) 寝屋川市	(総合6位) 泉大津市		※1
第21回 (S47年)	(不詳)	男・(不詳) 女・(不詳)	堺市・岸和田市 貝塚市	寝屋川市	泉南市	守口市	門真市	

大阪府青年大会は、平成8年度時点で第45回を迎えています。

※1 第1・2・19・20回は、総合成績の第1位～6位を記載しています。

※2 第12回大会から、男女総合の成績は決定していません。

※3 現存する資料では、この大会から回数表記を全国青年大会の開催回数に切り替えています。

大阪府体育連合規約

第1章 名称及び事務所

第1条 この連合は大阪府体育連合という。

第2条 この連合の事務所を大阪府教育庁教育振興室保健体育課内に置く。

第2章 目的及び事業

第3条 この連合は府内各市町村の体育総合団体として相互の緊密な連絡協調を図り、府民体力の向上と健全な精神を養うことを目的とする。

第4条 この連合は前条の目的を達成するため次の事業を行なう。

- (1) 府民体力の向上に関する事業ならびに調査研究
- (2) 府内各市町村体育団体の連絡協調を図ること
- (3) 体育に関する施設の普及ならびにその指導
- (4) その他この連合の目的を達成するために必要な事業

第3章 組 織

第5条 この連合は府内各市町村単位に統轄された体育総合団体をもって組織する。

第6条 この連合に加盟を希望する団体は評議員会の決議を経て加盟することができる。

第7条 加盟団体が脱退しようとするときは評議員会の承認を受けなければならない。

第4章 役 員

第8条 この連合に次の役員を置く。

会 長	1名
副会長	若干名
理事長	1名
理 事	若干名
評議員	若干名
監 事	2名

第9条 会長は評議員会でこれを推挙する。

- 2 会長はこの連合を代表し会務を統轄し、かつ評議員会ならびに理事会の議長となる。
- 3 会長は就任と同時に理事となる。

第10条 副会長は評議員会の推薦により会長がこれを委嘱する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はその職務を代行する。
- 3 副会長は就任と同時に理事となる。

第11条 理事長は理事会において理事の互選で定める。

- 2 理事長は会長の命を受けてこの連合の会務を掌理する。

第12条 加盟団体は加盟団体ごとに1名の代表者を選出し、この連合の評議員となる。

- 2 評議員が会長、副会長、理事長、理事または監事に選出されたときは、その選出団体はさらにこれにかわる評議員を選出する。
 - 3 評議員は評議員会を組織し、その連合の会務を審議議決する。
- 第 13 条 理事は評議員会で評議員のうちから互選し、会長がこれを委嘱する。ただし、加盟団体選出評議員からの理事は 10 名以内とする。
- 2 会長は前項のほか、評議員会に諮ってこの連合に関係ある学識経験者から 5 名以内の理事を指名することができる。
 - 3 理事は理事会を組織し、この連合の会務を執行する。
- 第 14 条 監事は評議員会の決議により会長がこれを委嘱する。
- 2 監事はこの連合の財務を監査する。
 - 3 監事は評議員会に出席して意見をのべることができる。
- 第 15 条 この連合に顧問および参与若干名を置くことができる。
- 2 顧問はこの連合の功労者等のうちから理事会の推薦により会長がこれを委嘱する。
 - 3 参与はこの連合の加盟団体の会長ならびに関係者のうちから理事会が推薦した者につき会長がこれを委嘱する。
 - 4 顧問は会長の諮問に応じ、参与は理事会の諮問に応ずる。
- 第 16 条 役員の任期は 2 年とする。ただし、再任を妨げない。
- 2 理事に欠員を生じたときは補欠選挙を行なう。
 - 3 評議員に欠員が生じたときは当該加盟団体より補欠評議員を選出する。
 - 4 補欠役員の任期は前任者の残任期間とし、増員による役員の任期は他の役員の残任期間とする。
 - 5 役員は任期満了後も後任者が就任するまではなおその職務を行なう。

第 5 章 会 議

- 第 17 条 評議員会はこの規約に定める事項のほか、この連合の業務に関する重要事項で会長の付議した事項を決定する。
- 2 評議員会は会長が招集する。
 - 3 評議員の 3 分の 1 以上の請求があったときは会長は評議員会を招集しなければならない。
- 第 18 条 評議員会は評議員の 2 分の 1 以上出席しなければ開会することができない。
- 2 評議員会に出席できない評議員はその選出した加盟団体の役員をその代理人として出席させることができる。
- 第 19 条 評議員会の議事は出席評議員の過半数の決議できめ、可否同数のときは議長がこれを定める。
- 第 20 条 理事会は必要に応じて会長が招集する。
- 第 21 条 理事会は理事の 2 分の 1 以上出席しなければ会議を開き、議決することができない。
- 2 理事会の議事は出席理事の過半数の決議をもって定め、可否同数のときは議長がこれを定める。
 - 3 理事の代理は認めない。

第6章 専門委員会

第22条 この連合の行事を遂行するために必要あるときは各種の専門委員会を設置することができる。

2 専門委員会に関する事項は理事会で別に定める。

第7章 会 計

第23条 この連合の経費は次に掲げるもので支弁する。

- (1) 負担金
- (2) 寄付金
- (3) 補助金
- (4) その他

第24条 この連合の加盟団体の負担金の額および納入期日は評議員会の議を経て別に定める。
なお、納入された負担金は、返納しないものとする。

第25条 この連合の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

第26条 この連合の予算は毎会計年度開始前に評議員会の承認を受けるものとし、決算は毎会計年度終了後監事の監査を経たうえで評議員会に報告してその承認を得るものとする。

第8章 事 務 局

第27条 この連合の事務を処理するため事務局を設け、事務局にその他必要な職員を置く。

2 事務局に関する事項は理事会が別に定める。

第9章 規 約 の 変 更

第28条 この連合の規約は評議員の3分の2以上の同意を経て変更することができる。

附 則

第29条 この連合の規約は、昭和22年5月よりこれを施行する。

附 則

昭和22年5月制定

昭和35年5月23日一部改正

昭和41年4月22日一部改正

一部は昭和42年5月4日施行

昭和50年4月18日一部改正

昭和59年5月25日一部改正

平成16年6月24日一部改正

平成28年5月18日一部改正

大阪府体育連合表彰要領

- 1 大阪府体育連合及び大阪府総合体育大会（大阪府市町村対抗駅伝競走大会を含む）に関し、功労のあった者及び優秀な成績を収めた個人や団体を指導した者を本要領によって表彰する。
- 2 表彰者の決定は、大阪府体育連合に加盟の各市町村体育協会（連盟）又は、これに準ずる団体から推薦された者について、表彰委員会で審査した結果に基づき、大阪府体育連合会長（以下「会長」という。）がこれを行う。
- 3 表彰委員会は、委員長1名、委員若干名で構成し、大阪府体育連合理事会の議を経て会長がこれを委嘱する。
- 4 表彰委員会で審査する基準は、次のとおりとする。
 - (ア) 永年にわたり、大阪府体育連合の運営発展に多大の貢献をした者
 - (イ) 大阪府体育連合及び大阪府総合体育大会（大阪府市町村対抗駅伝競走大会を含む）の開催に関し、役員・選手その他関係者として引き続き10年以上の向上発展のために功労のあった者。ただし、単に名目的役職の地位にあった者、財政的援助をしたにすぎない者は含めない。
 - (ウ) 優秀な成績を収めた個人や団体を指導した者
- 5 表彰委員会の運営に関する細則は、必要に応じ別に定める。

附 則

平成16年6月1日一部改正

第 回大阪府総合体育大会実行委員会規約（年次大会）

第1章 総 則

（名 称）

第1条 この会は、第 回大阪府総合体育大会実行委員会（以下「本会」という。）という。

（目的及び事業）

第2条 本会は、大阪府総合体育大会（大阪府市町村対抗駅伝競走大会を含む。以下「大会」という。）の年次大会を開催するに当たり、大阪府体育連合の理事会の要請に基づき、大会要項等の諸準備を企画し、理事会に諮り、評議員会の議決を経て、大会開催事務及び円滑な実施運営を図ることを目的とする。

（組 織）

第3条 本会は、大阪府体育連合、大阪府教育委員会、市町村教育委員会及びその他関係者をもって組織する。

（事務所）

第4条 本会の事務所は、委員長の指定するところに置く。

第2章 役 員

（役 員）

第5条 本会に、次の役員をおく。

委員長 1名 副委員長 若干名 委 員 若干名 監 事 若干名

（役員を選出）

第6条 委員長は、委員の互選によって選出し、大阪府体育連合の会長が委嘱する。

2 副委員長は、委員の互選によって選出し、大阪府体育連合の会長が委嘱する。

3 委員は、大阪府体育連合の理事が、本会を組織する団体関係者及び学識経験者の中から推薦し、大阪府体育連合の会長が委嘱する。

4 監事は、大阪府体育連合の監事が当たる。

（役員の仕事）

第7条 委員長は、本会を代表し、会務を総理する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 委員は、本会の会務を審議し執行する。

4 監事は、会計を監査する。

(役員任期)

第8条 役員任期は、その年次大会に関する業務が完了するまでとする。

第3章 会 議

(会議の種類)

第9条 本会の会議は、委員会と専門部会に分ける。

- 2 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって構成する。
- 3 会議は、委員の過半数の出席で成立し、議事は、出席者の過半数で決定する。
- 4 部会は、委員が実施種目関係者の意見を聴取し、委員会への資料を作成するため、必要に応じて開くことができる。

(会議の招集)

第10条 委員会は委員長が、専門部会は、委員長の承認を得て委員が招集する。

第4章 事 務 局

(事務局)

第11条 本会の業務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局に、委員長の任命により、幹事及び事務局職員をおく。
- 3 事務局に必要な事項は、委員長が別に定める。

第5章 経 費

(経費)

第12条 本会の経費は、分担金及びその他の収入をもって充てる。

- 2 本会の会計は、本会の設立に始まり、解散によって終わる。
- 3 本会の事業終了後、分担金等の交付を受けた団体に対し、それぞれ決算報告をする。

第6章 補 則

(経費)

第13条 本会の解散後、大会の業務に関する事項は、大阪府体育連合の会長が行なう。

第14条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、大阪府体育連合の会長の同意を得て、委員長が決定する。

昭和41年7月6日 制 定

昭和50年5月 一部改定 (名称 年次)

第 回 大阪府総合体育大会実施要項

1. 趣 旨

本大会は、府内各地域のスポーツを振興して、その普及発展とアマチュアスポーツの精神の高揚をはかり、併せて府民の健康づくりと親睦に寄与しようとするものである。

2. 主 催

大阪府体育連合・大阪府教育委員会・(公財)大阪体育協会・各市町村体育協会(連盟)・堺市・高槻市・茨木市・河南町・松原市・豊中市・吹田市・摂津市・箕面市・守口市・各市町村教育委員会(堺市・高槻市・茨木市・河南町・松原市・豊中市・吹田市・摂津市・箕面市・守口市教委を除く)

3. 参加資格

- ・ 大会開催年度の大会参加申込み時点で、府内市町村に、居住または勤務している者であること。ただし、大学(専門・専修学校を含む。)に籍をおく者と全日制高校生を除く。
 - ※ 補足1:外国人にあつては、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち永住者(日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法に定める特別永住者を含む)
 - *永住者とは、外国人が永住許可を受け日本に永住している者(在留期間は無期限)
 - ※ 補足2:参加する者は「居住地を示す現住所」から出場するか「勤務地」から出場するかを選択することができる。ただし、二重登録は認めない。勤務については、近年の職種多様化に鑑み、派遣職員・アルバイト等も可とする。ただし、勤務地から出場する場合は、平成 年4月30日以前から本大会参加時まで引き続き当該地に勤務していなければならない。
- ・ アマチュア競技者であること。
- ・ 下記の種別競技に参加できる資格は、次のとおりとする。
 - ア. 一般の部 15歳以上の者であること。
 - イ. 一般男子2部 競技・種目ごとに定める。
 - ウ. 一般女子2部 競技・種目ごとに定める。
 - エ. ジュニアの部 競技・種目ごとに定める。
- ◎以上の年齢は、平成 年4月1日現在とする。
- ・ 各競技種目及び種別への出場は、1市町村につき1チームとする。
- ・ 各市町村体育協会(連盟)の長は、選手の参加資格に責任をもって、それぞれの長から推薦するものとする。
- ・ 地区大会の予選をへて中央大会に出場するチーム編成は、地区大会に登録した選手のみで編成すること。(予選種目については、地区大会申込みの際から中央大会申込書を使用すること。)
- ・ 中央大会において正当な理由なく棄権した場合は、当該種目にその市町村の次回大会への出場を停止する。
- ・ 総合閉会式終了後であっても、参加資格に違反が確認されたときは、そのチーム全員を失格とし、当該種目にその市町村の次回大会への出場を停止する。

4. 表 彰

- ・ 総合優勝(男子総合・女子総合も含む)の市町村にそれぞれ優勝旗(毎年持ち回り)を、8位までの市町村に賞状を授与する。
- ・ 中央大会の各種目の優勝市町村に優勝旗又は優勝杯(毎年持ち回り)を、第1位から第

3位までの市町村には賞状を授与する。

- ・ 各競技種目とも地区大会・中央大会を通じ3位までの入賞者に賞状を授与する。

5. 備 考

- ・ 試合中に参加者に事故が生じた場合は、主催者は応急処置を行うとともに、主催者が加入する傷害保険の範囲内で補償を行うが、それ以上の責任は一切負わない。
- ・ 選手は健康管理について十分留意すること。
- ・ 詳細については、各種目別細則で定める。
- ・ 大会の経費は、大阪府総合体育大会予算により割当支弁することを本体とする。

6. 地区大会・中央大会

地区大会

- ・ 主 管 第 〇 〇 回大阪府総合体育大会〇〇地区大会実行委員会を組織して実施する。
- ・ 実施方法

ア. 本大会の趣旨と中央大会要項に則り、地区の代表者を決定するための予選を行うとともに、地区の実情に則した種目も取り入れ趣旨の目的の達成に努めること。

イ. 期日は、中央大会申込期日に支障のないよう各地区で協議実施すること。

ウ. 地区理事は、各地区実行委員会で決定された実施要項（実施種目・種別・期日・会場・主管等）を、 月 日 ()までに、大阪府体育連合事務局に提出すること。

エ. 地区理事は、当該地区大会の結果報告を中央大会申込締切日までに、また、各種目ごとの収支決算書を取りまとめ、大会終了後1ヶ月以内に大阪府体育連合事務局に提出すること。

- [提出事項]
1. 各競技種目、各種別の参加者数、成績等（大会プログラムを含む）
 2. 中央大会に出場権を得たチームの登録用紙（要：責任者の確認印）
 3. 地区大会・中央大会参加一覧表
 4. 収支決算書（全種目取りまとめのうえ提出）

オ. 地区理事は、地区各市町村の中央大会への参加申込書を取りまとめ中央大会の項に記載の要領で府事務局に提出する。

中央大会

- ・ 主 管 第 〇 〇 回大阪府総合体育大会実行委員会
- ・ 期日及び会場 別紙一覧表のとおり
- ・ 実施方法

ア. 市町村対抗競技とし、国体の実施要項に準ずる。

イ. 選手の服装には、市町村名を必ず明記すること。

ウ. 参加申込時において、7市町村にみたくない競技種目は、オープン競技とする。ただし、地区大会の予選を行った競技種目については、この限りではない。

エ. 各種目別競技の実施方法は別記「各種目別実施細則」による。

オ. 3位決定戦は行わない。

カ. 大会当日の午前6時現在、台風等による暴風警報が発令されている場合は、全種目実施を中止する。その他天候等により実施が危ぶまれる時は、午前6時の時点で種目担当市町村が決定する。（問い合わせ先は、種目別実施細則に明記する。）

なお、大会予備日が中止になっても、あらたな予備日は設けないこととする。

- ・ 参加申込
 - ア. 参加申込は、地区大会で出場権を得たものも含めて所定の申込書により、各市町村体育協会（連盟）の長から、7月 日（ ）【必着】までに地区理事市町村事務局へ1部提出すること。
 地区理事は申込書を確認のうえ地区分を取りまとめ早急に府事務局に提出すること。
 - イ. 監督等が選手を兼ねるときは、選手欄にも記載すること。
 - ウ. 参加申込締切日以後の受付及び選手の変更は認めない。
 - エ. 申込時にA・Bゾーンを決めておくこと。（1地区から複数チームが出場する競技のみ）
- ・ 採 点
 - ア. 市町村ごとに計算する。
 - イ. 競技得点 1位8点・2位7点・3位6点・4位5点・5位4点・6位3点・7位2点・8位1点とし、以上を入賞とする。
 また、上記以外に地区大会及び中央大会に出場した競技ごとの市町村にそれぞれ参加点として各1点を与える。ただし、中央大会実施の種目・種別に限る。
 なお、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、その時点の順位をもって得点を与える。
 - ウ. 総合優勝市町村を決定するに当たり、得点の加算は歴年とする。
- ・ 事業報告
 - 各種目担当市町村は、当該中央大会の結果報告を、大会終了後早急に、また、収支決算書を、大会終了後1ヶ月以内に大阪府体育連合事務局に提出すること。

- [提出事項] 1. 各競技種目、各種別の参加者数、成績等（大会プログラムを含む）
 2. 当該種目収支決算書

- ・ 開閉会式等
 - ア. 総合開会式・中央大会抽選会

日 時	平成 年 8 月 日（ ）午後6時30分から
会 場	ホテルアウリーナ大阪
内 容	総合開会式・功労者及び優秀指導者表彰式・打合せ会・諸注意・抽選会他
参加者	来賓・大阪府体育連合功労者及び優秀指導者表彰受賞者・堺市・高槻市・茨木市・河南町・松原市・豊中市・吹田市・摂津市・箕面市・守口市・各市町村教育委員会（堺市・高槻市・茨木市・河南町・松原市・豊中市・吹田市・摂津市・箕面市・守口市教委を除く）・各市町村体育協会（連盟）・中央大会出場チーム監督又は代表者・実行委員会役員・各競技担当者等
 - イ. 各競技種目別開閉会式
 - 各競技種目担当部長において、時刻・方法を決定し競技種目別細則に明記すること。
 - ウ. 総合閉会式・種目別地区代表者会議

日 時	平成 年 10 月 日（ ）午後6時30分から
会 場	ホテルアウリーナ大阪「金剛の間」
内 容	総合閉会式・種目別地区代表者会議
参加者	堺市・高槻市・茨木市・河南町・松原市・豊中市・吹田市・摂津市・箕面市・守口市・各市町村教育委員会（堺市・高槻市・茨木市・河南町・松原市・豊中市・吹田市・摂津市・箕面市・守口市教委を除く）・各市町村体育協会（連盟）代表者・実行委員会役員・各市町村関係者等